



米穀資料第七號

米穀
罹災救助基金法中改正法律案
議事錄

(代寫勝)

農林省米穀部

始



發行所寄贈本

本編ハ第四十四回帝國議會ニ於テ米穀法案及罹災救助
基金法中改正法律案ノ議事速記録ヨリ其ノ要點ヲ抄録

セルモノニシテ尙第四十四回帝國議會ヨリ第四十六回

帝國議會ニ至ル米穀專賣法制定ニ關スル建議案ノ議事

概要ヲモ併セ蒐録セリ



昭和七年十一月



農林省米穀部

14.20-261.

目次

第一 米穀法案

一 衆議院

(一) 本會議……………一

(二) 特別委員會……………五

(三) 本會議……(第一讀會ノ續)……………四五

二 貴族院

(一) 本會議……………五三

(二) 特別委員會……………七二

(三) 本會議……(第一讀會ノ續)……………一三五

第二 罹災救助基金法中改正法律案

一 衆議院

(一) 本會議……………一四一

發行所書庫本



| | |
|------------------------|-----|
| (二) 特別委員會…………… | 一四三 |
| (三) 本會 議…(第一讀會ノ續)…………… | 一四五 |
| 二 貴族院 | |
| (一) 本會 議…………… | 一四六 |
| (二) 特別委員會…………… | 一四七 |
| (三) 本會 議…(第一讀會ノ續)…………… | 一七〇 |

第三建 議 案

| | |
|-----------------------|-----|
| 第四十四回帝國議會…………… | 一七一 |
| 一 米穀專賣法制定ニ關スル建議案…………… | 一七四 |
| 第四十五回帝國議會…………… | 一七四 |
| 一 米穀專賣法制定ニ關スル建議案…………… | 一七四 |
| 第四十六回帝國議會…………… | 一七五 |
| 一 米穀專賣法制定ニ關スル建議案…………… | 一七五 |

第四十四回帝國議會 (大正十年)

第一米 穀 法 案

一 衆議院
(一) 本會 議



○山本農相 近來我國食糧品ノ増殖ハ人口ノ増加ニ伴ハズ平年ニ於テ米ハ約二、三百萬石ノ不足ヲ生ズル状態ナリ、依テ昨年來臨時經濟調査會ニ諮問シテ其ノ答申ノ趣旨ニ基キ穀物ノ充實ヲ圖ルコトニ努メ、一方此ノ法案ヲ制定シテ先ツ需給ノ調節ヲ圖ラントス即チ豐作ニシテ米穀剩餘ノ時ニ之ヲ買取リテ貯藏シ供給不足ナル凶年ニ於テ之ヲ賣拂ヒ尙場合ニ依リテハ外米輸入ノ途ヲ立テ又ハ關稅ノ増減免除外米輸入ノ制限ヲ爲ス等食糧品ノ調節安排ヲ十分ニスル爲メ本案ヲ提出セリ

○上田彌兵衛 一 政府ハ我國將來ノ發展ニ對シ立國ノ國是ヲ如何ニ定メントスルカ即チ商工主義ナルヤ或ハ農本主義ナルカ

二 米穀ノ自給自足ノ程度ハ絶對的ナラシメントスルカ或ハ年ノ豊凶ニ依リ經濟界ノ進展ニ順應シ

二月廿四日

テ適宜其ノ過不足ヲ調節セムトスルカ

三 本法ハ主トシテ數量ノ調節ナルヤ或ハ價格ノ調節ヲモ加味セルモノナルヤ

四 政府ハ將來米穀官營ノ意思ナキヤ若シ無シトスルモ何故外米官營ノ制度ヲ採ラザリシヤ又將來米穀官營ノ意思アリトセバ米穀ノ管理ハ生産分配共政府ノ管理ニ屬セシメントスルカ或ハ單ニ分配ノミヲ管理セントスルカ且ツ現在ノ取引所ハ之ヲ如何ニ處置セントスルカ尙米穀官營ノ得失ニ付政府ニ於テ調査セルモノアラハ其ノ調査材料ノ提供ヲ請フ

○山本農相 一 農工商共ニ別段區別ヲ立テズ三者鼎立ヲ主トシテ進ミツ、アリ

二 米穀ノ需給ハ可成均一ヲ保タンコトヲ欲スルモ之ヲ絶對的ナラシムルコトハ甚ダ困難ナリ然レドモ此ノ方針ヲ以テ進ミツ、アリ

三 本法ノ大眼目ハ我國穀物ノ充實ヲ計ルニ在リ故ニ米價高キヲ以テ賣リ安キヲ以テ買フト云フニ非ズシテ米其ノ物が多クテ剩リアル時ニ買ヒ置キ少キ時ニ之ヲ賣ラントス即チ米價ノ高低ハ數量ノ多寡ニ依テ起ルヲ以テ成ルベク數量ノ調節ヲ計ラバ自ラ米價ノ高低モ支配スルニ至ラン即チ此ノ精神ニ於テ本法ヲ運用セントス

四 物價ノ高低、量ノ多寡ハ可成之ヲ自然ノ趨勢ニ委セ極端ニ趨ル如キ時ニ於テ之ガ調節ヲ行ハント欲ス官營ニ付テハ從來調査セシコトアルモ茲ニ材料ヲ提供スル迄ニ至ラズ而シテ現在ニ於テ

ハ官營ノ意思ナク本法ノ運用ヲ以テ或ル點迄調節ヲ圖リ得ルモノト信ズ

又外米官營ニ付テモ政府ハ今日其意思ナシ然レドモ本法ニ於テ穀物ノ輸入税ノ増減免除輸入米ノ制限等ハ必要ナル場合政府ニ於テ之ヲ行ヒ得ル様本案ヲ制定セリ官營ナラズトモ此ノ趣旨ヲ以テ取捨按排セハ其ノ目的ヲ達スルニ大ナル困難アラズト信ス

○齋藤宇一郎 本法ハ第一條ニ依レハ米ノ需給ニ重キヲ置キ立法セラレタル如ク見ユレドモ第三條ニハ價格ト期間ヲ告示スルコトヲ規定シ量ヲ告示スルノ規定ナシ本法ノ精神ハ數量本位ナルヤ價格本位ナルヤ且ツ本法ノ運用上極メテ重大ナル數量、價格、時期等ハ如何ナル方法ニ依リ之ヲ定メムトスルヤ本法案中之等ノ決定方法ニ關スル規定ナキハ如何

○山本農相 本法案ガ法律トナレバ調節委員會ヲ設ケ價格買入等ニ付之ヲ諮問シテ極メテ公平ニ行フ方針ナリ次ニ量ト價格トノ問題ハ最初ヨリ説明スル如ク數量ヲ以テ本法ノ根本トナス抑モ米價ハ他ノ諸物價ノ高低ニ伴ヒ上下スレドモ又年ノ豊凶ニ依リ諸物價ノ高低ニ伴ハズシテ單リ米價ノミ上下スルコトアリ故ニ量ノ多キ時ニ買ヒ少キ時ニ賣リ以テ其ノ平均ヲ保チ調節ヲ圖ラントス而シテ數量ニ剩餘アルヲ以テ一定ノ價ヲ以テ或期間内ニ之ヲ買入ルベク告示スルモ其ノ間ニ米價昂騰シテ豫定ノ數量ヲ買入ル、コト能ハザルニ至ルコトアルヲ豫想セザルベカラス依テ臨機適當ナル處置ヲナシ得ベキ餘裕ヲ有セザルベカラズ之レ即チ數量ノ告示ヲ本法案ニ規定セザル所以ナリ然

レドモ實際買入ニ當リテハ買入ノ數量ヲ示スコト、ナルベク豫想スレドモ此事ヲ法ニ規定スルコトハ甚ダ不便ヲ生ズルノ虞アルヲ以テ茲ニ之ヲ省ケリ尙豐作續キテ米ヲ賣ルノ必要ナキ時ハ幾年ヲ經ルモ賣却セズ變質等ノ場合ハ新古米ノ買換ヲ行ヒ數量ニ異動ヲ生ゼシメズ貯藏シ置キ他日不足ノ用ニ備フル方針ナリ

○前川虎造 政府ハ穀物問題ニ付何ヲ根據トシテ施設シツ、アルヤ大正八年米價暴騰ノ際政府ハ米ノ數量ヲ増加シ米價ノ調節ヲ圖ル爲メ百五十八萬石ノ外米ヲ買入レタルカ其結果ハ政府ガ目的トセル市中ノ生活難ニ苦メル者ニ配給スルコト能ハズシテ却テ米ヲ所持スル農民ガ之ヲ買入レタル奇現象ヲ呈シ遂ニ五十萬石ノ剩米ヲ來スニ至レリ而シテ其ノ原因ハ政府ノ調査即チ米ノ生産ニ關スル統計ノ杜撰ヨリ來レルモノト謂ハザルベカラズ政府ハ今日ノ統計ヲ以テ確實ナルモノト信ズルヤ若シ確信ナクンバ將來之ヲ改善スルノ意思アリヤ

尙豐年ノ際剩米ヲ買入レ之ヲ貯藏シテ新米ト買換ヘルコトニセバ新古米ノ間ニ價格ノ差ヲ生ジ即チ政府ハ高價ノ新米ヲ貯藏シテ古米トナシ低價ヲ以テ賣出シ損失ヲ來スベシ如此豐年續キテ損失ヲ繰返サンカ二億圓ノ特別會計ハ遂ニ消費サレ盡スコトアルベシ次ニ本法ハ量ヲ本位トスル旨説明サレタルモ量ノ調節ハ延テ米價ニ影響スルコト、信ズルカ政府ハ何等市價ニ關係ナシト確信スルヤ之ニ對スル政府ノ所見如何

○山本農相 大正八年米價騰貴ノ際政府ハ内米ノ不足ヲ補ヒ國民生活ノ脅威ヲ除ク爲關稅ノ撤廢ヲナシ或ハ政府自ラ外米ヲ買入レシガ抑モ米ノ豐凶ハ僅カ數日間ノ暴風ノ爲メニ其ノ豫想ヲ裏切ルコトアリ一度凶作ノ報傳ハランカ各自米ノ消費ヲ節約シ若シ米價安トナレバ忽チ混食減ジテ米ノ消費ヲ増スニ至ル如此米ノ生産消費ハ天候ト人氣ニ關スル所亦大ナリ而シテ米作ノ豐凶ハ容易ニ豫測スルコト難キヲ以テ剩米多キ時ニ之ヲ貯ヘテ凶年ニ備フルノ用意ヲ怠ルベカラズ

次ニ統計ノ確否ニ付テハ今日ノモノ必ズシモ正確ナリトハ云ヒ難キモ實際ト大差ナシ尙本法ノ施行ニ當リテハ一層正確ナル統計ヲ得ル爲メ本法案中ニモ之ニ關スル規定ヲ掲ゲタリ新舊米ノ價格ノ高低ニ付テハ多少ハ質問ノ如キ結果ヲ生ズルコトアランモ實際ハ大シタルコトナカルベク又政府ノ所有米カ腐敗變質等ノ爲メニ屢々買換ヲ行フカ如キコトハ寧ろ國家ノ爲メ喜フベキコト、謂ハサルヘカラス年々三、四百萬石ノ不足ヲ生シツ、アル我國ノ現狀ガ豊作ノ爲メ一度買上タル米ヲ數年間賣渡ノ必要ナキニ至ラバ實ニ祝スベキコトナリ尙最後ノ米ノ買上賣渡ガ米穀市場ニ影響ナシト云フガ如キコトハ一言モ云ヒシコトナシ之ハ必ズ米價ニ影響ヲ來スベシ然レドモ本法ニ依ル買上ハ價格ヲ上グル爲メニ買フニ非ズシテ米ノ剩餘アルガ故ニ買上グルモノナリ而シテ買上ノ爲メニ價ノ昂騰スルハ或程度迄不得已ザルベシ

(二) 特別委員會

二月廿六日

○前川虎造 農商務當局ガ經濟調査會ノ參考トシテ發表サレタル統計ニ依レバ大正二年乃至六年ニ於ケル米ノ平均消費高ハ五千七百十七萬石デ一人當一石五升七合ナリ而シテ全國ニ於ケル生産ト消費トハ略相匹敵シ居レリ尙最近政府ノ計畫ニ依レバ近キ將來ニ於テ八千六百五十三萬石（内五百四十萬石朝鮮ヨリ二百四十萬石臺灣ヨリ移入）ノ米收ヲ得ル見込ニシテ大正七年ノ消費高六千八十九萬石ニ比シ一千萬石以上ノ增收ヲ得ルコト、ナリ居レリ尤モ此ノ計畫ハ天災等ノ爲メニ豫期ノ收穫ヲ見ルコト能ハザルヤ難計モ大正二年ヨリ大正九年ニ至ル滿八ケ年間ニ於ケル狀況ヲ見ルニ豊凶ニ依テ糧食ノ缺乏ヲ感ジタルコトナシ尤モ大正八年ハ米騒動アリタレドモ之ハ米不足ニアラズシテ只米價高ノ爲メ生活ニ苦ミタルニ過ギザルナリ又大正二、三、四年頃米價ハ十圓乃至十二、三圓ノ間ヲ往來セシガ之亦剩米ノ爲メニアラズシテ原因ハ他ニアリ即チ米價ノ騰落ハ經濟上關係商人ノ手段等ニ依テ生ズルモノニシテ目下米價下落セリト雖モ大正二、三年頃ニ比スレバ尙二倍メ價ヲ保チ況ンヤ一般物價モ亦漸落ノ傾向ニ在リ然レニ此ノ場合斯ル法案ヲ提出サレタル理由ハ何レニアリヤ、次ニ米ハ獨リ生産者ノミノ關係ニアラズシテ消費者ニモ亦大ナル關係ヲ有ス、而カモ我國ノ人口ハ國勢調査ノ結果、増加數ハ五十萬ヲ越エズ、將來八千六百三十五萬石ノ收穫ヲ得ベキ計畫アル際斯ル永久的ノ法案ニ依ラズシテ他ニ目下ノ急ニ處スベキ方策ナキヤ

○山本農相 八千六百三十三萬石ノ收穫ト云フハ計畫進ミタル三十年後ニ於ケル數量ニシテ、現在ニ於テハ大正九年産米ガ六千三百十六萬石、昨年十一月端境期ニ於ケル持越見込米五百五十三萬石（外米輸入見込一萬五千石）朝鮮米ノ移入二百萬石、臺灣米ノ移入八十萬石計七千四百四十九萬石一面消費高ハ六千二百十五萬石（一人當一石九升）外國輸出七十萬石、臺灣移出五萬石及翌年エ持越高約五百萬石（端境期ニ於テ五百萬石内外ノ持越米アルハ最モ必要ナリ）計六千七百九十萬石ニシテ需給ノ差三百五十九萬石ノ剩米アリ

抑モ物價ノ上下ハ人カヲ以テ左右スルコト殆ンド不可能ニシテ、又人爲ヲ加フベキモノニアラズト信ズ、然レドモ我國民ノ主食物タル米ハ諸外國民ノ常食ト共通ニアラズシテ、我國固有ノ産米ヲ常食トスルノ慣習ヲ有セリ、故ニ米作ノ豊凶ハ人氣ニ關シ經濟界ニ影響スル所大ナリ、依テ米ノ量ヲ人爲ニ依テ調節スルハ最モ緊要ナルコトニシテ、政府ハ經濟調査會ノ意見ヲ諮ヒ本案ヲ成スニ至レリ、大正八、九年續イテ豊作ヲ見剩米多キ時ニ於テ之ヲ買入レ、凶年ニ備フルノ用意ヲ爲スハ今日ヲ以テ最モ適當ナリト認メタリ

○前川虎造 政府ハ大正八年七、八月ニ於テ七千八百餘萬圓ヲ以テ百五十八萬何千石ノ外米ヲ買入レ政府管理ノ下ニ之ヲ處分セシガ、其結果外米ハ目的ノ方面ニハ分配サレズ且今尙五十萬石ノ剩餘米ハ腐敗シテ殆ンド其ノ用ヲ爲サザル由大正二年大隈内閣ノトキハ僅カ五、六十萬石ノ米ノ處分ニ困

リタル例アリ、故ニ買入、賣却、買換等モ其ノ特期方法ノ如何ニ依リテハ一利アリテ百害ヲ生スルニ至ルコトアリ、現ニ曩ニハ官吏及商人ニ犯罪者ヲ出セリ、吾人ハ本法ノ制定ニ付テハ異論ナキモ法ノ運用ニ付大ニ憂フルモノナリ、取引所ノ如キモ現在ノ儘ニテハ本法ノ運用上惡影響ヲ及ホスノ虞アリ、政府ハ本法ノ運用上具體的ノ良方案アリヤ

○山本農相 法ノ運用上ノ注意ニ付テハ同感ニシテ、外米ノ輸入ニ付テハ先ヅ關稅ヲ撤廢シ、商人ヲシテ自由ニ輸入セシメタガ、大正八年春ニ至ルモ米價ノ他ノ諸物價ト同様下落セサルヲ以テ、米ノ充實ヲ圖ル爲メ、政府ハ外米百五十萬石ヲ買入レタノデアル、而シテ之ガ賣却ハ最モ公平ニ行ヒタルヲ以テ何等ノ弊害ヲ生シタルコトナシ、只山田技師ノ問題ハ之ハ別個ノモノニシテ直接政府ノ賣買ニ關シタルモノニアラス、

五十萬石ノ残り外米ハ幸ヒ大正八年ハ豐作ナリシガ大正九年ニ備フル爲メ保管セシガ、九年モ亦豐作デアリシガ、然ルニ此ノ外米ハ尙一ケ年位保存ニ耐ユベキ見込ナリシヲ以テ、今ヤ凶年ニ備フル爲メ政府自ラ米ヲ買入ヲサントスル場合ナルニ依リ、此ノ外米ハ之ヲ處分セズ今尙之ヲ貯藏セルガ決シテ不要ノコトニアラズト信ズ、

次ニ本法ノ運用上賣買ニ付テハ、單ニ農商務當局官吏ノミノ考ニ依ラズ、委員會ニ諮リ衆智ヲ以テ決定シ、其ノ實行ニ付テハ可成穩微巧妙ナル手段ヲ避ケ價格ノ如キモ時價ニ據リ公明正大ニ、極メ

テ不器用ニ行フ方針ニシテ、之カ最モ安全ナル方法ナリト信ズ、又取引所ニ於ケル受渡米ハ極メテ品質不良ノ米ナルガ政府ノ買米ハ貯藏ニ堪フベキ優良米ヲ検査シテ買上クルヲ以テ今日ノ場合弊害ヲ生ズルコトナシト信ズ

○前川虎造 本法施行ノ當初一石何圓位ニテ買上ゲラル、見込ミナルヤ

○山本農相 約三百萬石ノ見込

○前川虎造 價格ハ

○山本農相 ソレハドウモ一寸

○岡本局長 前川君ハ米ノ買換ニ付心配サル、ガ玄米ハ二、三年後ニハ變質ノ虞アルヲ以テ買換ヲナスガ其ノ場合一方賣出スト同時ニ買入ヲナスヲ以テ市場ノ米價ニ變動ヲ來スコトナシト考フ

○上田彌兵衛 農家ハ目下米價暴落ノ對策トシテ不賣同盟ヲ成セル傾向ナルガ如此自家利益擁護ノ運動ガ擴大スレバ米價暴騰ノ際消費者ハ運動ヲナシ分配者タル商人ハ仕入値ヨリ安キ時ハ手控ヲナス等分配々給上非常ナル支障ヲ來ス虞アリ生産消費兩者ノ軋轢ヲ繁カラシメ國民思想上大ナル影響ヲ來スコト、考ヘラル然ルニ過日新聞紙上ニ原首相ノ言トシヨ米政策ニ付政府ガ何等カノ方法ヲ執ル迄農家ハ不賣同盟ノ如キニ依リ米價維持ニ努ムルハ亦不得已所ナラントアリ如此事ヲ獎勵的ニ謂ハル、トセバ蓋シ其ノ影響スル所少カラズ、政府ノ所見如何

○山本農相 總理大臣ノ話ハ知ラザレドモ、當局トシテハ不賣同盟ノ如キモノヲ決シテ獎勵スルコトナシ、又未ダ之ヲ制止シタルコトモナシ

○上田彌兵衛 食糧政策ハ極メテ廣汎ニ互ルヲ以テ之ガ爲メニ農商務省ヲ區別シテ食糧省ヲ設置スルノ意思ナキヤ

○山本農相 食糧政策ハ之ヲ擴大スレバ一省ヲ置クニ値シ現ニ先進國ニ於テハ食糧省ヲ設ケタルモノアレドモ我國ニ於テハ遺憾ナガラ其所迄分業的ニ發達シ居ラズ之ヲ省トスルモ之ト同時ニ設備ヲ増シ豫算ヲ増加セザレバ只名ノミ省ニシテ効果ナキヲ以テ當分食糧局ヲ置キテ本法ノ運用ヲナス方針ナリ

○上田彌兵衛 臨時財政調査會ニ於ケル常平倉案ヲ提示サレ度シ、常平倉案ト本案ト對照スルニ第一本案ニハ國立倉庫ナシ、抑モ倉庫ノ構造、位置、大小等ハ米穀ノ貯藏ニ大ナル關係ヲ有スルガ我國ニハ未ダ理想的ノ倉庫ナキガ如シ、政府所有米ノ保管倉庫ハ如何ニセラル、ヤ、又適當ナル倉庫ノ構造ニ付研究サレタルコトアリヤ

○山本農相 本案ト常平倉案トハ其ノ内容ニ於テ異ナル所ナシ、只常平倉ハ其名古キニ依リ米穀法トセシニ過ギザルナリ、又倉庫ハ將來國立倉庫ヲ建築スル方針ナルモ目下民間倉庫ニ約三百二十萬石ノ收容餘力アルヲ以テ、當初ハ此等ノ倉庫ヲ用フル見込ナリ

○上田彌兵衛 現今倉庫業者ノ有スル倉庫ハ不完全ナルガ貯藏不完全ナル爲メ、經濟上又食糧政策上非常ナル損害ヲ來ス虞アルヲ以テ、國庫ヨリ倉庫業者ニ相當ノ補助ヲ與ヘテ完全ナル倉庫ヲ建テサセ以テ此ノ損耗ヲ防グノ必要アリト認ムルガ之ニ付テノ所見如何

○山本農相 將來要所々々ニ國立倉庫ノ必要ヲ認ムルモ今日ニテハ民間倉庫中ノ優良ナルモノヲ擇ブ外ナシ尙農業倉庫ニ對シテハ補助セルモ其他ノ倉庫ニ對シテハ未ダ補助スルニ至ラズ、但シ之ハ大ニ參考トスベキモノト信ズ

○上田彌兵衛 我々ノ計算ニ依レバ本年ノ剩餘米ハ七百萬乃至八百萬石ノ見込ナルガ、此内約三百萬石ノ買上ニ依テ、需給調節ガ果シテ圓滿ニ行クヤ否ヤ尙本年大豐作ナリセバ、二億圓ハ本年ノミニテ其ノ全部ヲ要シ、來年以後豐作續キタル際ノ剩餘米ハ如何ニセラル、ヤ

○山本農相 豐作續キタル場合ニ於テモ二億圓ヲ有セバ更ニ來年三百萬石ヲ買入ル、コトヲ得ベシ、目下諸物價下落ノ趨勢ニ伴ヒ米價モ亦下落スベク從ツテ明年度ニ於テ二三百萬石ヲ買フモ差支ナカラン

○上田彌兵衛 米ノ需給調節ヲ圖ル本法ノ制定ニ付テハ賛成ナルガ、本法ノ制定ト同時ニ更ニ他ニ適當ナル方法ナキヤ、例ヘバ米ノ生産消費ニ關スル統計ヲ明確ナラシメ、豐作ノ際法律ヲ以テ地主ニ米ヲ貯藏セシメテ之ニ對シテハ政府ヨリ金融ノ途ヲ與ヘ、凶作ニシテ米價暴騰ノ際之ヲ賣却セシム

ルガ如キモ、米價調節ノ一方法ナリト信ズルガ之ニ對スル政府ノ所見如何

○山本農相 從來我國ノ米作ハ平均シテ不足勝ナルヲ以テ、不足ニ處スル方法ヲ講ズルモノナルガ若シ年々豊作續キテ剩米ヲ扱ニテ貯フル如キ場合ハ種々ノ銀行等ニ於テ相當ノ金融ヲナスベク敢テ政府ニ於テ之ニ對シ施設スルノ必要ナカラシ

二月二十八日

○上田彌兵衛 需給調節委員會ハ如何ナル人々ヲ以テ之ヲ組織シ又如何ナル機能ヲ有スルモノナルヤ
○山本農相 調査會ノ組織ハ勅令ヲ以テ之ヲ定メ委員ハ學識經驗アル適當ナル人々二十人又ハ二十餘人ヲ撰ビ、委員長ハ農商務大臣ヲ以テ之ニ充テ、米ノ買入賣却共ニ委員會ニ諮問シテ決定スル考ヘナリ

○上田彌兵衛 本案ノ第四條ニ米穀現在高調査ト云フコトアルガ、常平倉案ニハ收穫高及在高トアリ双方大ナル意味ノ相違アリト考ヘラル、收穫高ガ正確ナレバ一ケ年間ノ需給計畫ハ立テ得ラルベク若シ中途ニシテ現在高ヲ調査スルトキハ、種々ノ弊害ヲ生ズルコトアリ、寺内々閣ノ時モ之ガ爲メ米騒動ヲ起シタル例アリ之ニ對スル考ヘ如何

○山本農相 之ハ收穫高ノ調トハ異レリ、米ノ買入賣却ヲ爲スニ當リ米ノ在高ヲ穩蔽スル如キモノアリテ實際ト報告ト一致セズ、真相ヲ知ルニ困難ナル等ノ場合當局ニ於テ必要アル時調査シ得ル權能

ヲ規定シタルモノナリ

○岡本局長 收穫高ハ生産統計上豫想的ニ調査スルモノナルガ、此ノ現左高調ハ政府ガ必要アル場合或人又ハ或地方ニ付調査シ得ルト云フ權能ヲ國家ガ得置度キ考ニシテ、先進國ノ食糧政策モ多ク現在高ヲ調査スルコト、ナリ居レリ

○上田彌兵衛 米ノ買入賣渡ヲ爲ス場合、價ノ高下ト云フ判斷ノ基準ハ何處ニ採ラル、考ヘナルヤ之ハ困難ナルコトナレドモ豫メ之ヲ定メ置カサレバ、非常ニ物論ヲ生シ實行困難ニ陥ルコトアルベシ
○山本農相 米價ノ變動モ或ル程度迄他ノ諸物價ニ伴ヒ上下スルモノナルガ我國ノ米ハ我國民ノ常食トシテ特有ノモノナル爲メ、量ノ多少及人氣ニ依リ非常ナル上下ヲ見ルコトアリ、而シテ米價ノ上下ハ或程度迄例ヘバ十中ノ七、八迄ハ之ヲ自然ノ趨勢ニ委セ置キ、此以上ニ進マントスル場合極端ニナラザル様調節セントスル精神ナルヲ以テ、之ヲ行フハ即チ量ノ問題ナリ、量ノ多少ニ依リ價格ノ上下スルハ自然ノ理ニシテ量ノ充實ヲ圖レバ價亦定マルベシ、之政府ガ本法ノ施行上量ヲ本位トスル所以ナリ、然レドモ量ヲ主トシテ價ハ全然之ヲ顧ミザルカト云フニ決シテ然ラズ、例ヘバ政府ガ買ハント欲スルモ民間ニシテ賣ラザレバ、政府ガ買ハントシテ焦レバ焦ル程價ハ益々騰貴シ來リ、遂ニ買入ヲ中止スルノ已ムナキニ至ルベシ、又之ニ反シ民間ノ在米多キヲ以テ政府所有米ハ之ヲ賣ラザラント欲スルモ米價昂騰シテ止マザル時ハ、遂ニ賣却シテ調節スルノ必要アルニ至ルベシ

如此米ノ有無ニ拘ハラス人氣ニ依リ非常ナル米價ノ上下ヲ來ストキハ之ニ對スルノ策ヲ講ゼザルベカラズ、而シテ何ヲ以テ基準トナスヤト云フニ量ノ多少生産費ノ多寡ハ之ヲ定ムルノ材料タルベシ

○上田彌兵衛 政府ニ於テ買上ゲラル、米ハ絶對ニ粗米ノミナルヤ、又玄米ヲモ併セ買上ゲラル、ヤ又賣出ニ付テハ粗ニテ買入ルレバ粗ヲ以テ賣リ、精白シテ白米トシテ賣ルコトナキヤ白米トシテ賣却スレバ精米所ヲ如何ニスル考ヘナルヤ

○岡本局長 此ノ米穀ト云フ文字ノ中ニハ粗ヲ含メリ、從テ將來ハ粗ヲ買上グルコト、ナランモ先ヅ本年ハ玄米ヲ買フコト、ナラン、而シテ賣却中加工トアルハ主トシテ粗ヲ玄米ニナス趣旨ナリ

○上田彌兵衛 先年米價暴騰ノ際歐洲其他ノ各國ハ暹羅、柴棍ヨリ米ヲ買入レシガ、此ノ時遂ニ暹羅柴棍ハ米ノ輸出ヲ制限禁止セリ、其際新嘉坡ノ當局ハ暹羅ニ向テ我國ハ年々暹羅米ヲ買入ル、常華客ナリ、然ルニ日本ハ必要ナル時ノミ輸入スルニ過ギズ、故ニ本年ノ如キハ我國ノ如キ常華客ニ對シテ先買ノ特權ヲ與ヘラレタシト主張シ大隈内閣ノ際日本ハ暹羅米輸入ノ交渉ヲ拒絕セルコトモアリタリトテ、抗議ヲ申込ミシ爲メ、我國ハ一昨年(大正八年)外米ノ買入ニ困難セリト云フ、依テ政府ガ外米官營ヲ行ハズトセバ外米ノ輸入制限又ハ禁止ノ如キハ、將來大ニ考フベキコト、信ズ、政府ノ考如何

○山本農相 外米ノ輸入ニ付テハ法律ニハ之ガ制限ノ規定アレドモ、之ハ絶對必要ノ場合ニ限り爲ス考ニシテ、普通ノ場合ニ於テハ可成控ヘテ制限セザル方針ナリ

○上田彌兵衛 米穀ノ生産消費ニ關スル統計ノ正確ヲ期スルハ本法ノ運用上極メテ緊要ノコトナリト認ムルガ、將來之等統計ノ改善ニ付如何ナル考ヲ有セラル、ヤ

○岡本局長 米ノ生産統計ニ付テモ國勢調査ノ如キ方法ニ依リ五年ニ一回位正確ナル調査ヲ爲シ度キ考ナルモ經費ノ都合上未ダ其ノ實行ヲ見ルニ至ラズ、統計ノ改善ニ付種々方法ヲ講ジタル結果漸次正確ニ近キツ、アルモ未ダ完全ナラザルハ甚ダ遺憾トス

○池田猪三次 數量ノ調節ヲナスト同時ニ價格ノ調節ヲモ併セ行フテ初メテ本案ノ意義ヲナスモノト信ズルニ、大臣ハ何故力量ニ重キヲ置キテ價格調節ノコトニ言及スルヲ避ケラル、ヤノ感アリ之レ或ハ過日來農家經濟確立ニ關スル建議案ノ特別委員會ニ於ケル大臣ノ御答辯其他道府縣ヨリ出シタル陳情ニ對スル大臣ノ言明等ヲ彼此判斷スレバ、政府ハ此ノ際農民ノ聲ヲ聞イテ急遽米價ノ鈞上ヲ策スルモノナリト言ハル、コトヲ何ントナク苦ニセラル、ヤニ見受ケラル、ガ、若シ消費者タル商工者側ノ感情思惑等ヲ斟酌シテ政府ガ米價鈞上策ニ手ヲ下スコトヲ逡巡シ、米價調節ニ言及スルコトヲ避ケラル、ガ如キコトアランカ、今日ノ米價調節問題、食糧問題、農家救濟問題、本案施行上ノ精神ニ於ケル政府ノ腰ノ弱サ加減ニ實ニ驚カザルヲ得ズ、今日ノ米價ハ生産費ノ半ヲモ償ヒ能ハザル程度ニ暴落シ、農家ハ非常ナル窮境ニ沈淪セリ、之ヲ此儘ニ放擲センカ來年ノ收穫ハ忽チ大減

收ヲ來タシ米價ハ再ビ騰貴シテ國民ハ非常ナル苦境ニ陥ルベシ、故ニ此ノ際米價ヲ或ル程度迄向上セシムルコトハ獨リ生産者ヲ益スルノミナラズ、消費者ノ爲メニモ食糧問題ノ爲メニモ當然探ルベキノ方策ニシテ殊ニ一般商工業者、消費者側ニ於テモ米價ガ或程度迄向上スルコトハ一般景氣ノ恢復ヲ促スベキ寧ロ一般ニ歡迎サルベキコト、信ズ、政府ハ區々タル一種ノ誤レル事ヲ顧慮セラル、ノ必要ナシ、米價調節ニ對スル政府ノ所見如何

○山本農相 量ノ調節ヲ以テ本案ノ骨子トスルハ敢テ政府ノ腰ノ強弱ナドノ問題ニアラズ、經濟上ノ條理ヨリ推シテ斯クナセシモノナリ

○池田猪三次 現在政府ガ所有セラル、五十萬石ノ外米ハ本年ノ夏ヲ過ギテ十月迄持チ越スコトハ極メテ不利益ナリト信ズルハ勿論、本法實施ノ曉ハ本法ノ管理ニ移サル、コト、考ヘラル、ガ、今日ノ場合ニ於テ此ノ外米ヲ内米ト交換積替ヲナシ外米ヲ廉ク細民ニ供給シ、一面ニハ内米ノ買入ヲシテ米價ノ暴落ヲ防止スルヲ必要ト認ムルガ政府ハ此ノ米ノ交換積替ヲナサル、ノ意思アリヤ

○山本農相 調査ノ結果現在政府所有ノ外米ハ本年中ハ品質ニ變化ヲ來スコトナク、保管シ得ルヲ以テ此儘貯藏スル方針ナリ

○横山勝太郎 農商務大臣ハ米ノ不賣同盟ヲ極メテ輕ク見ラレテ居ル様ナルガ、此ノ不賣同盟ハ當局官憲ノ立會ノ上ニ公然ト決議サレ現在ニ於テハ或ハ効果微少ナランモ將來此ノ運動ガ漸次訓練セラ

レ統一セラレ大正七年ノ如ク米不足ノ時期來ラバ、消費者ハ米ノ全權ヲ農家ニ握ラレ生産者對消費者ノ經濟戰ハ實ニ由々敷モノアルニ至ラン、政府ハ此ノ不賣同盟ニ對シ之ヲ默認シ放任シ或ハ獎勵サル、ヤ又ハ或程度迄監督權ノ作用ヲ以テ制限セラル、ノ意アリヤ

○山本農相 三十五圓不賣同盟ニ付有志ガ東京ニ集リ協議ノ際、農務局長ガ臨席セシモ別ニ之ガ是非ニ付意見ヲ發表シタルモノニアラズ、現在ノ此ノ同盟ハ効果少ク取引所ニモ何等變動ナク、又現ニ二十圓臺ニテ賣買サレツ、アリ故ニ政府ハ別ニ此ヲ獎勵セザルト共ニ又制止スルコトモナク、只傍觀セリ、若シ米價高ノ際斯ル不賣同盟ヲナスハ其ノ時ハ無論相當ノ手段ヲ講ゼザルベカラズト考フ

○横山勝太郎 米價騰貴ノ際不賣同盟ヲナサバ相當ノ方策ヲ講ズトノ御説明ナルガ既ニ燒打ナドノ騷動起リタル後、之ガ鎮壓ノ途ヲ講ズルモ既ニ遲レ斯ル危險ヲ醸生スル以前ニ之ガ豫防ノ爲メニ相當ノ方策ヲ講ズルコソ肝要ナリ、尤モ今日ノ不賣同盟ハ生産費ヲ償フニ足ラサルノ理由ヲ以テ起リタルモノナレバ、其ノ運動ノ原因ニ付テハ亦同情ニ堪ヘザル所ナリ、故ニ不賣運動ナルモノハ社會問題、國家問題トシテ憂慮スベキモノナルヲ以テ急遽本法案ヲ提出シタルモノナレバ別ニ異議ナキモ果シテ其ノ意味ノ提案ナルヤ否ヤ、次ニ本法案ハ生産者保護ヲ目的トスルモノナリト信ズルガ、今日尙中流以下ノ者ハ米價高ヲ難シテ生活ニ窮セリ、生産者ノ保護ヲナスト共ニ消費者ノ保護ニ付テ

ハ如何ニサル、方針ナルヤ本會ハ實ニ農家ヲ威嚇セルモノナルヤ現内閣成立當時首相及農相ハ共ニ不干渉主義ヲ言明サレタルガ此ノ不干渉主義ハ實行難キコトニシテ、本會ノ如キハ之ヲ廢止スベシト迄言明セラレタリ、本法ヲ發シテ農家ヲ保護スルハ固ヨリ可ナルモ、米穀收用會ハ之ヲ將來如何ニスルヤ、本會ハ之ヲ傳家ノ寶刀トシテ發會以來未曾テ一回モ適用サレタルコトナク、本法實施ノ後尙更本會ノ必要ナキニ至ラン、如此生産者ノ保護ニ努ムルト共ニ、消費者ノ保護ヲ如何ニスルヤ

○山本農相 同盟ト唱フルモ殆ンド効果ナキヲ以テ政府ハ之ヲ放任スルモ、生産、消費兩者間ニ紛議ヲ生ズルニ至ラバ相當對策ヲ講ゼザルベカラザルモ今日ハ左程重大ナラズト考フ、又米價安ノ爲農民ノ叫ビヲ聞イテ本案ヲ提出シタルニアラズ生産費ノ何レヲ問ハズ剩米多キ時ニ之ヲ買入レ置キ、凶作ニ備フルハ食糧政策上最モ當ヲ得タルモノト信ズ、次ニ收用會ハ貴族院ニ於テ事後承諾セズ其儘握リ潰シトナリ、大正八年既ニ消滅セリ、即チ今ヤ寶刀ハ莫シ矣

○横山勝太郎 農商務大臣ハ不賣同盟ヲ輕視セラル、モ農民ハ相當ノ期待ヲ有シテ此ノ運動ニ着手セシモノニシテ、將來ハ奏効ヲ見ルニ至ラン尙生産者ハ如此運動ヲナスノ可能性ヲ有スレドモ消費者ハ之ニ對スル不買の運動ヲナスヲ得ズ之ニ對スル政府ノ政策如何、尙如此運動ヲ放任センカ生産消費者ノ間ニ一大溝渠ヲ生ジ舉國一致ノ美風モ遂ニ破壊セラル、ニ至ラン、而カモ當局官吏立會ノ上農民ヲシテ如此運動ヲ起スニ至ラシメシハ一面ハ農商務當局ノ責任ナリト信ズ、政府ノ所見如何

○山本農相 不賣同盟ノ爲メ生産、消費兩者ノ反感疎隔ヲ來スガ如キコトアラバ之ガ緩和策ヲ講ズルノ必要アルモ、現在ハ一方ニ三十五圓以下不賣同盟ヲ爲スカト思ヘバ、他ノ一方ニハ同盟契約ハ破レツ、アルノ状態ニシテ憂慮スルニ足ラズ

○岡本局長 堂々タル官吏立會云々ノ御質問ナルガ、之ハ昨年来米價俄然暴落ノ際全國農會有志ガ帝國農會ニ集合協議ノ際米價下落ニ對スル政府ノ意見施設等ヲ開キ度キ旨申出テタルニ付、其ノ際政府ノ施設事項ニ付説明スルハ適當ナルコトナリト信ジ出席シタル次第ナリ

○天春文衛 米穀ノ買上ハ如何ナル箇所ニ於テ如何ナル方法ヲ以テセラル、ヤ、尙米價下落ノ爲困憊セル農家ノ救済上至急ニ買上ゲヲ實行セラレ度シ

○岡本局長 買入場所ハ經費ノ都合モアルヲ以テ自然數箇所ニ限定サルベク而シテ産業組合、農業倉庫等ニ對シテハ可成其ノ申込ニ應ジ又農會ノ斡旋ヲ希望ス、新年度ニ入ラバ一日モ早ク價格、期日等ヲ定メテ買上ニ着手スベキ豫定ナリ

○内藤濱治 米ハ各産地ニ依リ品質ハ一俵ノ容量、包装等モ一定セズ從テ買上價格ノ評定上ノ困難ヲ來スベシ、而シテ此ノ困難ヲ除却スルニハ目下各府縣ニテ行ハレツ、アル米穀検査ノ統一ヲ圖ルヲ以テ最モ有効ナリト信ズルガ政府ノ意見如何

○岡本局長 賣買價格ノ決定ハ困難ナルコトナルガ、各地方ニ於ケル標準米ノ價格ヲ定メ他ハ漸次格

差ヲ附スルノ外ナカラシ、又府縣ノ米穀検査ハ出來得ル限り之ガ統一ヲ圖リ、本法施行上ノ便ニ資セントス

○山道襄一 本法ハ數量ヲ本位トシテ調節スルトセバ、米價ガ極端ニ暴騰シタル際何レヨリ取り寄せラル、見込ナルヤ

○山本農相 屢々説明スル通り價格ハ或程度迄數量ニ依テ決スルモノナレドモ數量ト價格トハ因トナリ縁トナリ錯綜シ來タルモノニシテ、價格ハ又人氣ニ支配サル、コト多キヲ以テ其ノ時ノ事情ニ依リ取捨選擇セザルベカラズ、然レドモ何レカト云ヘバ物價ハ數量ニ依リ決ルモノナリ

○山道襄一 物資ヲ主トシテ論ズレバ其ノ多寡ニ依テ物價ニ變動ヲ來スベキモ、一面人間ノ慾望ヨリ論ズルトキハ必ズシモ價格ハ單ニ物資ノ多寡ノミニ依テ定マルモノニアラズ、然レドモ議論ニ互ルヲ以テ之ヲ避ケン、本法ノ施行ハ早クトモ本年ノ四、五月頃ト考ヘラルルガ其頃迄米ヲ持越ス者ハ多クハ大地主ニシテ、中農以下ノ者ハ夫レ以前ニ大部分賣却セザルベカラザル状態ニ在リト考ヘラル、然レバ本法ニ依リ保護ノ必要比較的少キ大地主ハ本法ノ保護ヲ受ケ本法ノ保護ヲ最モ必要トスル中小農ハ本年ノ本法ノ恩惠ヲ受ケザルコト、ナルベシ、然レバ米價暴落ノ爲生産費ヲ償フニ足ラサル中小農ノ困窮ハ本年ノ收穫高ニ影響スルニ至ルベシ、政府ハ此ノ小農ニ對スル特別救急ノ名案アリヤ

○山本農相 本法ハ固ヨリ今日一時ノ救濟ヲ目的トセズ、永續的ノモノニシテ愈々通過スレバ出來得ル限り早ク實行ニ着手シ買入ノ時期價格等決定スレバ夫レガ爲米價上騰シ來リ、小農者ト雖直接間接ニ本法ノ爲メニ保護ヲ受クルニ至ルベク又産業組合、農業倉庫、農會等ノ斡旋盡力、銀行篤志地主ノ保護等ニ依リ一時ノ急ヲ凌グ様努ムベキ考ナリ

○山道襄一 質問ノ趣旨ガ徹底セザリシヤノ感アルガ本法ノ實施前既ニ米ヲ賣却セル小農ガ、本年此ノ法律ノ恩典ニ浴セザルヲ以テ他ニ保護ヲ請フタル場合政府ハ之ニ對シ如何ニスルヤ

尙前寺内内閣ハ米騒動ノ爲メ倒レタリトノ説ヲナスモノアリ、之等ノ噂ハ兎角トシテ米價騰落ノ近年位激甚ナルハナシ、依テ生産、消費兩者ノ安定ヲ計ル爲ニ現内閣ハ成立ノ當初ニ於テ既ニ食糧問題ニ對スル方針定マルル筈ナルモ、成立後二年半ヲ經タル今日ニ至リ漸ク本案ヲ提出サル、ガ如キハ他ニ何等カノ事情アリシヤ、若シ米穀法ト米專賣ニ付意見ノ相違等ヨリシテ遅レタル如キ事情アリトセバ幸ニ此ノ機會ニ於テ其ノ比較研究ノ材料ヲ示サレ度シ

○山本農相 中小農ノ米投賣ニ對スル保護方法ニ付テハ別ニ施設ナシ、之ハ不得已コトナリトス、尙食糧問題解決ニ關シ本案ヲ今日提出スルニ至リタルハ常平倉又ハ專賣法ノ可否論ノ爲メニアラズシテ適當ナル方法ニ付研究中ナリシ爲メナリ

○山道襄一 買上米ノ價格ハ時價ヲ斟酌シテ定メラル、ヤ或ハ生産費ヲ標準トシテ定メラル、ヤ

○山本農相 價格ハ委員會ニ諮レドモ生産費ガ時價ニ對シテモ主ナル標準トナルベシ、故ニ生産費及時價ヲ根據トシテ適當ナラシムル考ナリ、又政府買米ノ爲メニ價格ヲ騰貴セシムルガ如キコトハ最も慎マザルベカラス賣買米ノ數量ハ主トシテ其ノ價格ニ依リ定マルヲ以テ適當ニ取捨シテ定メザルベカラズ

○東 武 調節委員ハ官吏ノミナルヤ、或ハ又民間ヨリモ任命セラル、ヤ

○山本農相 民間ニ於ケル此ノ方ニ堪能ナル人ヲモ加フベキ考ナリ

○東 武 委員會ハ諮問機關ナルヤ執行機關ナルヤ

○山本農相 諮問機關ナリ

○東 武 委員ヲ官民ヨリ擧グレバ山憲、鈴辨ノ如キ輩出テ弊害ヲ生スル虞アリト信ズルガ此ニ付政府ハ成案定マレルヤ

○山本農相 御懸念ノ如キ弊害ナシトモ限ラザルガ、隱微ナル巧妙ナル手段ヲ避ケ省ノ内外ノ者ヲ集メテ公平ニ行ハバ可ナリト考フ

○東 武 農商務省、大藏省等ニハ技術者モ經驗家モ在ルヲ以テ寧ロ官吏ノミヲ以テ定ムル方弊害ナシト信ズ、次ニ米價ハ時價ノミニ依リ決スルヤ、或ハ生産費ヲ加味スルヤ

○山本農相 米價ハ時價、生産費等ヲ參酌シテ決スルガ夫ハ甚ダ困難ナルコトナリ故ニ委員會ニ諮問

スル考ヘナリ

○土井權大 1 本法ニ所謂米穀ノ定義如何

2 内地米高價ノ時朝鮮米ヲ多ク移入シタルコトアリ朝鮮米ト内地米トノ均衡ニ付テハ如何ニスルヤ尙朝鮮米ニモ常平倉ヲ設クルノ必要アリヤ否ヤ

3 第三條中「其他必要ト認ムル場合」トハ如何ナル場合ヲ指スヤ

4 一口ノ買入單位ハ幾何ナルヤ

5 期日ヲ定メテ平均賣買ヲナスヤ

6 農家ノ經濟調査ニ關スル所見

7 本法施行上取引所ヨリ生ズル弊害除却ノ爲米穀現物市場ヲ設置スルノ意思アリヤ

○岡本局長 1 「米穀」トハ米ノミニシテ麥其ノ他雜穀ヲ含マズ、但シ粳ハ之ヲ含ム

2 朝鮮米、臺灣米ハ共ニ移入ヲ制限セズ

3 其他必要ト認ムル場合ニ付テハ今茲ニ具體的ニ云ヒ難シ

4 單位ヲ定ムルハ最も必要ナルヲ以テ何レ委員會ニ諮リテ決定セン

5 平均賣買モ適當ナリト認ムレドモ運用上ノ事ニ屬スルヲ以テ今日明答シ難シ

6 生産費ノ調査ハ出來得ル限り施行スル考ヘニシテ生産費ノ節減ニ付テハ從來種々ノ施設ヲ爲セ

リ肥料國營ハ財政及其ノ他ノ關係上不可能ナラン

7 現物市場ノ件ハ方針ニ關スルヲ以テ私ヨリ答辯出來ズ

○土井權大 米穀現物市場ハ現ニ神戸等ニ現存セリ之ヲ普遍的ニ設置スルヤ否ヤ

○岡本局長 正米市場ニ付テハ大隈内閣當時米價調節委員會ニ於テモ是認サレタルコトアリ、農商務省ニ於テモ從來調査セルガ取引所等ノ關係モアレバ尙考慮ヲ要スベキコト、信ズ

○土井權大 麥類ガ此ノ法律ニ包含セラレズトセバ小作農ノ如キハ或ハ失望セン故ニ此點ニ付將來充分研究サレンコトヲ望ム

又均ラシ買ヒヲナストキハ種々ノ弊害ヲ防止スルコトヲ得ベシ又研究ヲ望ム

○小菅劍之助 米作ノ豊凶ガ隔年位ニアレバ、本法ノ運用上蹉跌ヲ來スコトナカラン然シ豊凶ガ二、三年モ連續セバ買入賣却ノ米ナク本法ノ運用上支障ヲ來スベシ

○山本農相 豊凶何レニシテモ二億圓ノ資金アレバ賣買共適當ニ行ハルベシ、但シ極端ニ豊凶續キタルトキハ又其ノ時適當ナル方策ヲ講ズルノ要アルベキモ目下ノ所二億圓ニテ支障ナキ見込ナリ

○小菅劍之助 米價下落ノ爲農民ノ運動ニ依リ米價維持米トシテ政府ハ本案ヲ提出サレ又米價暴落ノ結果蠶糸會ノ運動ニ依リ、政府ハ近ク蠶糸救濟法案ヲ當議會ニ提出サル、ヤノ噂アリ、政府ハ如此運動スレバ考慮シ運動セザレバ之ヲ放任シテ顧ミザルノ意ナルヤ

○山本農相 食糧問題ハ久シキ懸案ニシテ曩ニ米價暴騰ノ苦キ經驗ヲ有シ、今又暴落ノ悲境ニ陥リ國家政策トシテ極メテ適切且ツ適當ナル時機ナリト信ジテ提案シタルモノニシテ、決シテ農家ノ此ノ運動モ蠶糸會ノ運動モ實際不得已實情ノ爲ニ起リタルモノニシテ決シテ普通ノモノトハ考ヘズ、然シ運動ノ如何ニ依テ方針ヲ二三ニスルモノニアラザルコトヲ諒セラレ度シ

○成田榮信 1 軟質米ハ並ノ米ト同様ニ買入ラル、ヤ否ヤ

2 買入證據ノ割引料ハ政府ノ負擔ナルヤ或ハ農家ノ負擔ナルヤ

3 本法ニ依ル第一回買入時期ハ何月頃ナルヤ

4 國立倉庫ノ建築ハ本年ヨリ着手サル、ヤ其ノ豫算額ハ幾何ナルカ

5 米ノ買入ハ集散地ニ於テスルヤ或ハ地方ニ於テスルヤ

6 買入ノ對手ハ農會等モ對手トスルヤ

○岡本局長 1 乾燥充分ナルモノハ軟質米ト雖モ之ヲ買上グ

2 割引料ハ受取ツタ者ノ負擔ナリ

3 本法ハ四月一日ヨリ施行サレテモ實際運用スルニハ諸般ノ手續上多少ノ時日ヲ要スルモ可成取急ギ着手スル考ナリ

4 倉庫ハ本年ハ民間ノモノヲ借入レ二億圓ノ經費ノ内ヲ以テ漸次建築スル豫定ニシテ參考ノ爲メ

米國ナドノ倉庫モ視察セシムル計畫ナリ

5 買入米ハ數箇所ニ之ヲ貯藏スル豫定ニシテ地方ニ於テ買入ル、コトアレドモ主トシテ貯藏地ニ於テ其ノ地着値段ヲ以テ買入ル、豫定ナリ

6 買入ノ對手ハ産業組合、農業倉庫等ハ勿論個人ニテモ可ナリ又農會ニ於テ斡旋スルハ最モ好都合ナリト考フ

○成田榮信 民間倉庫ノ收容餘力ハ百四、五十萬乃至二百萬石位ナラント考ヘラル、ガ三百萬石買入ル、ニ方リ倉庫ノ不足ハ之ヲ如何ニセラル、ヤ

○岡本局長 農商務省ニ於テ最近調査シタル所ニ依レバ主要地ノ倉庫ニ於テ二百七十萬石以上其他農業倉庫等ヲ加フレバ三百二、三十萬石ノ收容餘力アリ、尙農業倉庫ノ建築ニ付テハ大正六年以來補助ヲ與ヘ既ニ六萬六千坪以上ニ達セリ

○成田榮信 今日農家ノ窮狀甚ダシキヲ以テ本法實施後ハ晝夜兼行ヲ以テ着手セラレ度シ

○荒川五郎 常平倉案ニハ六千萬圓ノ國立倉庫費ヲ計上セラレシガ本案ニハ倉庫建築費及据置運轉資本モナク借入ト短期證券ヲ以テ運用セラレントスルガ、果シテ圓滿ナル運用ヲ得ルヤ否ヤ

○岡本局長 財政經濟調査會ノ常平倉案ニハ米ノ外麥ヲ加ヘシガ本案ニ於テハ麥ヲ除ケリ、倉庫ノ建築ニ付テハ其ノ構造上研究ヲ要スル點モアリ、又財政上ノ都合モアルヲ以テ漸次建築ノ方針ナリ

○荒川五郎 大正十年度ノ豫算ハ大正九年七、八月頃編成サレシモノト考ヘラル、ガ其頃迄ハ今日ノ如ク米價下落セズ政府ハ米買上等ノ如キ豫測セザリシコト、察セラル、ガ政府豫算編成ノ大要ヲ説明サレ度シ

○岡本局長 特別會計法第六條ニ依リ歲入歲出共限定サレ買入米代ハ證券ヲ以テ支拂フニ依リ豫算モ計上サレズ、現金ヲ以テ支拂フベキ事業費、保管料、雜費等ヲ豫算ニ計上セリ、而シテ豐作ニテ米ニ剩餘ヲ來ストキハ追加豫算ノ形式ニ依ルカ其他臨時ノ處置アラシ

○荒川五郎 只今ノ御説明ニテハ普通翌年度ノ豫算ハ出來ザル様認メラル、ガ如何

○岡本局長 米代金ニ當ル證券ノ發行ハ豫算ニ計上サレザレドモ保管料等ノ不足ノ場合ハ追加豫算ノ方途モアリ

○荒川五郎 外米買入代金ハ前年度ニ豫定シテ請求セラル、ヤ

○田中次官 年ノ豐凶ニ依リ内外米買入代豫算ハ追加豫算ニ計上シ得ベシ

○荒川五郎 本案ノ骨子ハ量ノ調節ニ在リト主張サレシモ、先日來農商務大臣ノ説明ハ價格ノ調節ヲモ加味スルヤニ變化シ來レル感アリ、尙又一人一ケ年ノ平均消費量ハ一石九升トノ説明ナルガ、米ノ豐凶及人氣ニ依リ消費量ハ増減スベク本案ノ第一條ニハ需給ヲ調節云々トアリ、第三條ニハ價格及期間ヲ告示ストアリ其間矛盾セルヤノ感アリ米價安ノ時ハ價格ヲ以テ調節シ、米價高ノ時ハ外米

ヲ買入レテモ量ヲ以テ調節セザルベカラズト考ヘラル、ガ如何

二八

○田中次官 本案ハ之レ迄屢々説明サレタル如ク、飽ク迄需給ノ調節ヲ本位トセリ、而シテ米ノ豊凶ニ依リ消費量モ増減スルヲ以テ米ノ過不足ヲ豫斷スルヲ得ザルヤノ如キ御意見ナルモ平常ノ状態ヨリ推シテ過不足ヲ知り得ベク賣買ノ際量ノ告示ニ付テハ本案中明文ナキモ多クノ場合數量モ告示スルコト、ナルベシ、但シ之ハ委員會ノ決定ヲ經ベキコト、信ズ、價格ノ告示ニ付テモ異論アリシガ公平ヲ保チ疑念ヲ避クル爲メ告示スベク法文中ニ規定セリ

○荒川五郎 米ノ豊凶米價ノ高低ニ依ル生産、消費兩者ノ脅威ヲ避ケ國民生活ノ安定ヲ圖ル爲メノ本案トスレバ先ヅ其ノ根據タルベキ米ノ生産費ハ幾何要シツ、アルヤヲ示サレ度シ

○田中次官 本案ノ根本ハ生産者又ハ消費者ヲ保護スルト云フニアラズシテ我國民ノ常食トシテ獨特ノ關係ヲ有スル米ノ需給ヲ調節セントスルモノニシテ米價ハ種々ノ原因錯綜シテ上下スルナランモ量ノ關係ハ又密接ナルモノニシテ、間接ニハ價ノ調節トモナルベキガ骨子ハ量ノ過不足ヲ調節セントスルニ在ルヲ以テ、此點ニ付テハ充分ノ諒解ヲ得タシ

○荒川五郎 賣買米價ハ委員會ニ諮リテ決定スルトシテモ委員ト商人トノ間ニ秘密連絡ヲ取り發表前ニ既ニ商人ガ之ヲ知り或ハ委員會ノ意嚮ヲ知り得ルガ如キコトアランカ一般商人ニ重大ナル利害得失ヲ及ボスニ至ルベシ、本法ノ運用上斯ル點ニ對スル所見如何

○田中次官 委員會ノ設置ニ付テハ財政經濟調査會ニ於テモ多數ノ意見ナリシヲ以テ本法案中ニハ規定ナキモ政府ニ於テハ公平ヲ保ツ爲委員會ヲ設置スルノ方針ナリ

○荒川五郎 委員會ニ於テ米價ヲ評議スルニ當リ生産、消費兩方面ヨリ種々ナル運動ノ起ルコトナキヤ之等ニ對スル政府ノ意見如何

○岡本局長 政府ノ官吏ノミナラズ民間其他貴衆兩院議員等ノ内ヨリ委員ヲ舉グレバ公平ニ行ハレ又決定サレタルコトハ直チニ告示スルヲ以テ其ノ間刑事上ノ制裁ヲ犯シテ迄モ機密ヲ洩漏スル者ハナカルベク歐羅巴ニ於テハ地方ニ迄委員ヲ設置セリ如此問題ハ萬能ヲ集メテ行フヲ適當ナリト認ム

○荒川五郎 本案成立ノ上ハ從來米ノ管理ニ關スル法令ハ之ヲ如何ニセラル、ヤ

○岡本局長 本法實施ノ上ハ大正七年勅令第九十二號（米雜穀ノ輸入、買入、賣渡ヲ爲スコトヲ得）及外米取引ハ隨意契約ヲ以テ爲シ得ベキ勅令ハ之ヲ廢セラル、ト同時ニ本法ニ基ク米ノ賣買ハ隨意契約ニテ行ヒ得ベキ勅令及委員會ニ關スル勅令ガ公布セラル、ナラン

○荒川五郎 米ノ現在調査ハ最モ困難ナルコトナルガ、如何ナル方法ニ依リ之ヲ調査スルヤ

○岡本局長 米ノ現在高調ハ全國普遍的ニ行フニアラズ、或地方、人、區域ニ付特ニ調査ノ必要アル場合ニ行フモノニシテ當時ニ行フベキモノニアラズ、斯ノ方法ハ食糧政策ヲ實行スル上ニ於テ國家ノ權カトシテ保留シ置ク必要ヲ認メタルモノニシテ、戰時中各國ニ於テモ現在高ノ報告ヲ徵セリ

二九

○成田榮信 米價下落ノ爲メ困窮セル農家救済ノ爲メ勸銀、農工銀行等ヲ通ジ又ハ政府直接ナリ適當ナル融金ノ途ヲ講ゼラレ度シ

○大藏大臣 今日金融ノ途ハ相當ニ備ハレリ、只返済ノ見込ナキモノガ金ヲ借入ル、爲メニ困難セル状態ナリ、尤モ地方ニハ米ヲ所有シナガラ金ヲ借ルニ困難セル者——殊ニ中小農ハ困難セル者アラシ之等ハ共同シテ借入ル、等適當ノ方法ヲ講ズルコト必要ナリト信ズ

○成田榮信 農民困窮ノ状態ガ徹底的ニ知悉セラル、ナレバ政府ハ積極的ニ團體組織等ニ付テモ指示セラル、ガ國民ニ對シ親切ナル所以ナリト信ズルガ、政府ハ之ニ關スル施設ヲ爲スノ意思アリヤ否ヤ

○大藏大臣 夫レハ救ヒヲ求メル者ガ自ラ救ヲ受ケル丈ノ手段ヲ講ゼザルベカラズ、地方ニハ産業組合等ノ團體アルヲ以テ此際此等ノ團體ガ活動スルコトコソ最モ肝要ナリ

○成田榮信 政府ハ産業組合ヲ認メラル、ヤ

○大藏大臣 借金セントスルモノガ元利金ノ返済ガ確實ニシテ貸金者ガ安心スル程度ニ至レバ金融ハ困難ナラズト信ズ

○八田宗吉 産業組合及農業倉庫等ハ未ダ充分ニ普及シ居ラズ抑モ農家ハ積極的方策ヲ講ズルコトニ於テ未ダ訓練足ラザルナリ、大藏大臣ハ彼等ガ求メ來ラバ大ニ與ヘントノ聲明ハ大ニ愉快トスル所

ナルモ進ンデ彼等ヲ導クノ舉ニ出デラレザルハ甚ダ遺憾トスル所ナリ

○大藏大臣 産業組合ハ全國ニ一萬三千ニ達シ全國ニ普及セリ

○八田宗吉 産業組合ニ關スル手續複雑ナル爲メ實際未ダ普及セズ、尙彼等農民ハ指導ヲ俟タザレバ他ト同様ニ進ムコト能ハザルヲ以テ特ニ此點ニ付御反省アランコトヲ望ム

内地ニ於テ不賣同盟ノ行ハル、ニ伴ヒ朝鮮米ノ移入セラル、コト不少ト聞ク果シテ然ルヤ

○岡本局長 内米不足ノ時ハ約二百萬石位ノ移入アリ移入税モ大正二年以來廢セラレ關稅定率法モ改正サレ内地ト朝鮮ハ食糧政策上共通ナラザルベカラズト信ズ

○前川虎造 大藏大臣ハ此ノ法案ハ試ミニヤルトノ意味ニ於テ答ヘラレ、農商務大臣ハ極メテ的確ナル案ヲ以テ米價ノ調節ヲナスト云フ御答辯ノ見解ガ各異ナル如キ感アリ、尙政府ニ於テ三百萬石買入ノ見込ナレバ其買入代金ヲ何故豫算ニ計上シテ提案セラレザルヤ

○大藏大臣 大藏大臣ト農商務大臣トノ間ニ意見ノ相違スルコトナシ、尙豫算ニ付テハ法律ニ依リ與ヘラレタル權能ヲ以テ證券ヲ發行シ證券ノ支拂期日ニ至リ支出ヲ生ズル支出ガアリテ、豫算ハ現スベキモノナリ

○前川虎造 大藏大臣ノ御意見ハ米ノ買入ニ付テ敢テ民間ト競争セズ米ハ政府ノ所有タルト民間ノ所有タルト問ハズ米價ノ調節サヘ得レバ本案ノ目的ハ達シタルモノト解セラル、ヤ

○大藏大臣 今日ノ米價ガ上レバト云フ意味ニアラズ、米價暴落ノ爲メ生産減少ノ惡結果ヲ防ギ農家ヲシテ安心シテ米作ニ努力セシムル程度ニ於テ政府ハ米ヲ買入ル、意味ナリ

○前川虎造 米ハ政府所有ト民間所有タルトヲ問ハズ國內ニ相當ノ在米ヲ有スレバ必ズシモ政府ガ剩米ヲ買入所有スルノ必要ナシ、故ニ生産額ニ影響セザル丈ノ價格ニナリシ時ニハ民間ト競争シテ買上ゲズト云フ意ナルヤ

○大藏大臣 御説ノ通り

○前川虎造 既ニ證券ヲ發行シテ之ヲ回收スルトキハ、豫算ト云フ範圍ニアラズ、然カスレバ帝國議會ノ協賛權ノ一部ヲ米ノ委員會ニ委ネルコトニナラザルヤ斯クテハ委員會ノ權能重大過ギルベシ故ニ此ヲ豫算トセズ決算報告又ハ事後承諾トスル意思ナキヤ

○岡本局長 本法ニ於テ二億圓ヲ限度トシテ證券ヲ發行スル權能ガ政府ニ與ヘラレ居レリ、而シテ證券ノ満期日ニ至リ償還スル時ニ現金ヲ要ス、此ノ現金ヲ豫算ニ表ハシテ歳出ニ計上ス、此ハ他ノ特別會計ニモ其ノ例アリ、而シテ保管料ノ如キハ初メヨリ相當ノ豫算ヲ立テ、協賛ヲ得若シ不足スルトキハ追加豫算ノ形式ヲ採ルコトアルベシ

○東 武 本法通過スルモ然シ實施サレテ効果ヲ舉グル迄ニハ尙二、三ヶ月ヲ要スベシ、然ルニ今日中小農家ノ窮乏ハ實ニ旦夕ニ迫レルノ状態ニ在リ依テ此際政府ハ農家救済ノ爲メ相當金融ノ途ヲ

講セラル、ノ意思ナキヤ

○大藏大臣 地方ニハ相當金融ノ餘裕アリ、米價高ノ際ヨリモ今日ノ方米ヲ抵當トシテ金融多シ故ニ地方官等ノ努力ニ依リ地方ニ於テモ地方農村金融ノ便ヲ計ル爲、勸業銀行ト農工銀行トノ合併ノ途ヲ開キ又勸業銀行法改正案モ既ニ成リ居レリ

○田中万逸 1 買上ノ場所如何

2 單位ハ幾何位ナルヤ

3 買上數量ハ約三百萬石位トノコトナルガ何月ヨリ始メテ何月位ニ終ル見込ナルヤ、即チ短期間ニスルヤ或ハ長期間ニ亘ルヤ

○岡本局長 1 全國數ヶ所ニ貯藏シ度キ考ヘナルヲ以テ貯藏地ヲ中心トシテ買上グベク其ノ位置ハ委員會ニ於テ決定サルベシ、尙價格ハ買上場所着値段ヲ以テスルコトモアリ、或ハ地方ニ出掛ケテ買入ル、コトモアルベシ、之等運用上ニ付テハ今日確定的ニ言明シ難シ

2 單位ハ五十石トスルヤ百石トスルヤ今日不明ニシテ何レ委員會ニ於テ決定サルベシ

3 買上期間ハ先ヅ一ヶ年度ヲ通ズルヨリ外ナカラン

○田中万逸 1 買入ハ可成短期間ニサル、ヤ或ハ長期間ニサル、ヤ

2 買入價格ハ生産費、石數、想像何レヲ以テ定メラル、ヤ農商務大臣ハ三百萬石買入ル、トシテ

平均價格ニ達スレバ買入ヲ中止スルトノ言明アリシガ其ノ平均價格ハ幾何ナルヤ

○田中次官 1 一時ニ買入ル、カ數回ニスルカ未定ナリ

2 從テ買入價格ノ如キモ第一回ニ比シ第二回以後ハ高下アルヤ否ヤ等未定ニシテ政府ハ今日白紙ナリ

○田中万逸 生産高ヲ確知スル上ニモ本法ノ運用ヲ圓滑ナラシムル爲メニモ府縣ノ米穀検査ヲ政府ニ於テ統一スルコトハ最モ肝要ナリト信ズ、政府ノ所見ハ如何

○岡本局長 生産統計ヲ正確ナラシムルハ最モ必要ニシテ國勢調査的ニ正確ニ施行スルコトニ付財政經濟調査會ニ於テモ決議サレタルガ財政ノ都合上未ダ實施ノ運ニ至ラズ

米穀検査ニ付テハ今日規定ノ認可ヲシテ特別ノ事情ナキ限り統一ヲ圖リ居レリ進ンデ國營論ノ議モアレドモ元來如此生産品ハ原則トシテ生産者ニ於テ検査スルヲ至當ト考フレドモ不得已場合ハ府縣ニ於テ行フ外ナシト考ヘラル、尙之ニ付テハ研究考慮スベキ積ナリ

○田中万逸 第一條中ノ加工ハ主トシテ粳ヲ玄米トスルトノ答辯ヲ得タルガ、其ノ加工ハ如何ナル方法ニ依ルヤ尙農具ノ改良普及ニ關スル所見如何

○岡本局長 第一條ノ加工ニハ玄米ヲ白米ト爲ストノ意味ヲモ含メリ、改良農具ノ普及ニ付テハ充分努力シツ、アリ



○田中万逸 中小農救濟方法ハ政府トシテ充分見込立タザルヤノ感アルガ、小作農又ハ小農ノ土地買入レニ付テハ勸業銀行ヨリ低利ノ金ヲ供給スト云フガ事實ナリヤ

○岡本局長 一般農家ニ對シ金融ノ途ハ開キアレドモ、特ニ小作農、小農ノミニ對スルノ施設ナシ然レドモ小作ノ保護ニ付テハ目下調査シツツアリ

○長田桃藏 前年産米ハ翌年度ニ於テ買上ゲラル、ガ前年度ニ屬スル一、二、三月ハ農家ガ最モ賣却スル時期ナルニ政府ノ豫算ナシ之ハ如何ニスルヤ

○岡本局長 追加豫算ニ依ル
○長田桃藏 然シ議會ハ一月二十日迄休會スルヲ以テ追加豫算ノ決定ハ二、三月トナリ、中小農ノ賣却時期タル舊正月ニ於テ買入ル、コト難シ故ニ中小農ノ賣却時期ニ於テ充分買上ラル、様取計ハレ度シ

○木下甚三郎 現今中小農ノ窮乏ニ付テハ之ヲ否認スル者ナシ、大臣ハ諸物價漸落ヲ説カル、モ未ダ下落セルモノナシ、貴重ナル米ノ生産者ヲ保護スル爲メ米一石三十五圓ト決定サル、ノ勇氣ナキヤ
○田中次官 深く考慮セン

○萩 亮 本法ノ目的ハ量ノ調節ニアリト田中次官ハ斷言サレタリ、然レドモ昨日大藏大臣ハ本法ノ目的ハ生産者ヲシテ安ンジテ生産ニ從事セシムルヲ主要ノ目的トスト説明サレタル如ク、主目的

ニ需給ノ調節トスルモ其ノ裏面ニハ必ず價格ノ問題伴ハザルベカラズ、數量ノミニテハ將來本法ノ運用上甚大ノ差支ヲ生ズベシ

○田中次官 私ハ大體只今ノ御質疑ノ意味ト大差ナキ答辯ヲナセリト信ズ、勿論價格ノ決定ニ付テハ生産費其他各般ノ事情ヲ斟酌セザルベカラズ、故ニ價格ノ決定ハ委員會ノ任務中最モ重大ナルモノナリト信ズ、然レドモ本法ヲ正面ヨリ見レバ需給ノ調節ヲ目的トスト云フヨリ外ナシ

○萩 亮 持越米五百萬石ハ如何ニシテ豫定サル、ヤ又端境期ニ於テ必ず五百萬石持越米ノ必要アリヤ

○岡本局長 最近ノ持越米ヲ見ルニ、大正五年五百八十一萬石、大正六年四百四十七萬石、大正七年二百三十六萬石、大正八年四百十六萬石、大正九年五百五十三萬石ニシテ大正七年米騒動ノ不祥事アリタル時ニ於テスラ尙二百三十六萬石ノ持越米アリ故ニ政府ニ於テハ五、六百萬石ノ持越米ノ必要ヲ認メ居レリ

○萩 亮 第二條中ノ「制限」ニハ禁止ノ意味ハ之ヲ含マザルヤ尙第三條但書ノ爲メニ本文ガ没却サル、虞ナキヤ

○岡本局長 第二條ノ制限ニハ禁止ヲ含マズ、次ニ第三條但書ハコボレ米、濡米等臨時ニ處分ノ必要アル場合ヲ指セルモノニシテ、市場ニ影響スルコトナク又一々告示スルコトハ極メテ手數ナリ但シ

買換ノ如キハ委員會ニ諮問サルベシ

○藏内次郎作 1 買上米ノ格付ハ何ヲ標準トスルヤ

2 不合格米ハ買フヤ否ヤ

3 常平倉ヲ建テラレ度シ

4 粃ニ對スル玄米ノ率如何

○岡本局長 1 米穀検査ノ等級等ヲ參酌シテ格付ヲ定ム

2 不合格米ノ如キ貯藏ニ堪ヘザルモノハ買入レザル方針ナルモ尙攻究セン

3 現在ノ倉庫ニ於テ三百二、三十萬石ヲ保管シ得ベシ

4 粃ノ摺減ハ約五割ト見テ可ナラン

○齋藤宇一郎 1 目下政府ノ所有スル五十一万何千石ノ外米ハ本法施行後買入レントスル三百萬石ニ轉換スルヤ否ヤ

2 國立倉庫ハ漸次二億圓ノ内ヲ以テ全國樞要ノ地ニ建築スベキ答辯アリタルガ二億圓ハ米ノ買入費用ノミニアラズ倉庫建築費モ包含セルヤ

3 委員會ニ付農商務大臣ハ之ヲ設置スルト説明サレ、田中次官ハ置否何レモ可ナリトノ意見ノ如クナルガ之ハ本法ノ運用上極メテ重要ナル機關ナルヲ以テ之ガ設置ニ關スル規定ハ本法中ニ規

定セザルベカラズト信ズ

三八

○岡本局長 1 現在政府ガ所有スル外米五十餘萬石ハ本法ニ依リ買上ゲントスル三百萬石ノ内ニ包含セズ

2 倉庫建築費ハ二億圓ノ内ニ含ム

3 委員會ヲ設置スルニ付テハ大臣次官共意見一致セリ只其ノ官制ハ勅令ヲ以テ定ムルモ支障ナカラントノ意味ニ於テ本法案中ニ規定セズ

○齋藤宇一郎 委員會ハ時ノ政府ノ考ヘニテ置クモ置カヌモ隨意ナリトハ田中次官ノ言明ナリ、然ルニ委員會ヲ置カザルコトニナレバ今迄政府委員ノ答辯ハ皆裏切ラル、コトトナラン

○田中次官 現政府ガ本法施行上委員會ニ諮問スルコトニ付テハ屢々確言セル所ニシテ、委員會ニ付テハ本法ニ規定ナキヲ以テ若シ委員會ヲ廢止セントスレバ廢止スルコトヲ得ト附ケ加ヘタル迄ナリ

○齋藤宇一郎 第一條中「米穀ノ需給ヲ調節シ價格ノ平準ヲ維持スル爲メニ必要ト認ムルトキハ」ト修正セザレバ本法ノ意義ヲ爲サズト認ムルガ、斯ク修正スレバ政府ハ之ニ同意スルヤ否ヤ

○田中次官 事重大ナルヲ以テ機ヲ見テ大臣ヨリ答辯セラル、ナランモ、御參考迄ニ一應答辯セン本案ノ成立ニ付テハ長キ時日ヲ費シ財政經濟調査會等ニ於テモ論議研究ノ結果茲ニ至リタルモノニシテ修正ニ對シテハ到底同意出來難キコト、考ヘラル

○齋藤宇一郎 本案實施セラル、モ目下窮乏ニ迫マシル中小農ヲ救済スルニ足ラザル憾アリ、政府ハ此ノ急ヲ要スル中小農ノ救済ニ付如何ナル考ヘヲ有スルヤ又本案ヲ以テ食糧政策ノ大部分ヲ達シ得ルモノト思惟スルヤ

○田中次官 本案ノ提出ヲ急ギタル當局ハ之ガ實施ノ早カラシムコトヲ望ム其ノ準備モ亦急ギ居レリ而シテ現在ニ於テハ本案以外ニ評議スル所ナシ

○長峰與一 外務省ト協議ノ上、支那ニ對シ防禦令ノ解禁ヲ交渉シ、將來支那米輸入ヲ圖ルノ意思ナキヤ

○岡本局長 重大問題ニシテ、私ヨリ答辯シ難シ

○長峰與一 外務省ハ常ニ其ノ考ヲ有スルモ、農商務省ガ夫レニ反對セリト聞ク、此際進ンデ農商務省ヨリ外務省ニ協議スルノ意思ナキヤ

○岡本局長 之ニ關シ農商務省ガ反對セシコトナシ

○古賀三千人 政府ハ現在又ハ將來ニ於テ外米管理若ハ外米官營ヲ爲スノ意アリヤ否ヤ、尙西貢米又ハ蘭貢米ハ幾何ニテ輸入サレツ、アルヤ

○岡本局長 外米管理又ハ專賣ヲ爲スノ意ナシ、外米ハ輸入價格ハ今日一石十六、七圓ナリ

○古賀三千人 外米ト内米トノ價格ヲ比較スルニ、一石ニ付七、八圓乃至十圓ノ差アリ、外米ノ爲メ

三九

本法ノ施行上支障ヲ來ス虞レナキヤ

四〇

○岡本局長 外米ニ付テハ大ニ考慮ヲ要スベシ、故ニ第二條ノ規定ヲ設ケタル所以ナリ

○古賀三千人 第二條ノ事項ハ委員會ニ於テ決定スルヤ政府ニ於テ決定スルヤ

○岡本局長 委員會ニ諮問スルヤ否ヤ判然セズ

○古賀三千人 本法施行ノ結果相場ニ亂高下ヲ生ズルコトナキヤ

○岡本局長 第三條ニ依リ價格ヲ定メテ告示スルヲ以テ價格ニ極端ナル異動ヲ來スコトナカルベシ

○古賀三千人 亂高下ヲ防グ爲メ一定ノ標準ヲ設クル必要ナキヤ

○岡本局長 其ノ時々ノ事情ニ依リ考慮セザルベカラズ

○古賀三千人 鑛毒鑛害等ニ就テハ政府ハ如何ニ處理スルヤ

○田中次官 之ニ就テハ之ヲ調査スル委員會ヲ設ケ、又圓滿ナル解決ヲ得ンガ爲メ種々ニ考慮シツ、アリ

討 論

三月四日

○前川虎造 本案ニ賛成ナレドモ、尙小賣商人等ガ内米ニ外米ヲ混ジ(約三割位)賣却スルコトアルヲ以テ外米ノ管理ニ付充分注意セラレ尙此法案ハ大農地主ニ利益ヲ與フルコト多クシテ中、小農ハ恩

惠ヲ受ケザルコトニ陥リ易キ憾ミアルヲ以テ本法ノ運用上ニ付充分ノ注意ヲ拂ハレンコトヲ望ム

○小菅劍之助 遺憾ナガラ本案ニハ反對ナリ、第一豐年又ハ凶年ガ二、三年モ繼續セバ二億圓ヲ以テ調節スルコト困難ナリ、又投機者ガ暴利ヲ貪リ經濟界ヲ攪亂スル機會ヲ與へ、中産階級以下ノ消費ハ買上ニ依リ米價騰貴ノ爲メ一層ノ困難ニ陥リ延テハ我國ノ産業貿易ヲ阻害スル等本案ハ利ヨリモ害多キモノト認ム

○齋藤宇一郎 左ノ修正意見ヲ有ス

第一條及第二條「需給」ノ下ニ「及價格」ヲ入ル

第四條第二條第三條ノ場合ニ於テハ米穀需給調節委員會ノ諮問ヲ經ルコトヲ要ス

米穀需給調節委員會ノ組織ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

原案ノ第四條ヲ五條ニ繰下ゲ「需給」ノ下ニ「及價格」ヲ入ル

其ノ理由ハ本案ハ量ノ調節ノミナラズ價格ノ調節モ考慮シテ行フト云フコトハ政府委員ノ答辯ニモ明カナル所ニシテ、又實際本法運用上此ノ兩方面ヲ考慮セザレバ生産消費兩者ノ安定ヲ得ルコト難シ、又委員會ハ本法ノ運用上最モ重大ナル機關ナルヲ以テ之ガ設置ニ付テハ本法中ニ規定スルノ必要アルヲ以テナリ

○土井權大 本案ニ賛成ス

四一

從來我國ニ食糧ニ關スル根本政策ナカリシヲ遺憾トセシガ本案ニ依リ其ノ第一歩ヲ見ルコトヲ得又生産消費兩者ノ安定ヲ得テ能ク飢味スレバ、常平倉ト云フヨリモ社會義倉ノ性質ヲ有シ消費者ヲ利スルコト大ナリ、修正意見アレドモ量ノ調節ハ其ノ結果自然價格ノ調節トナルヲ以テ特ニ法文中價格ノ文字ヲ入ル、ノ必要ナク、委員會ハ本法ノ運用上效果ノ有無未定ナリ故ニ寧ロ本法中ニ規定セザルヲ可トス

○荒川五郎 修正案ニ賛成ス

國民生活ノ大本タル米穀ガ價格ニ非常ナル亂高下ヲ生ジテ生産、消費兩者ヲ脅威シ國民ニ不安ノ念ヲ與フルハ甚ダ遺憾トスル所ナリ、而シテ本案ニ對スル説明ニ依レバ、本案ハ量ノ調節ト共ニ價格ノ調節ヲ併セ行フコト明カナルニ至レリ、單ニ量ヲ調節スルニ非ラズシテ價格ニモ平準ヲ保タシムルコトハ政府原案ノ趣意ニ於テモ確ニ重要ナル部分ナリト認ム、即チ政府委員ハ買上ノ場合ニ於テモ其ノ數量ヲ豫メ告示スルヲ得ザルハ買上ノ際相當ノ價格ニ達スレバ買上ヲ中止スト説明セリ、故ニ本法中價格ノ文字ヲ入レテ其ノ精神ヲ明カナラシムルハ法律ヲ可成完全ナラシムル上ニ於テ最も必要ナルコトナリトス

次ニ本法ノ運用ハ衆智ヲ集メタル委員會ノ活動ニ俟タザルベカラス、運用ノ妙ハ人ニ存ス其ノ運用ノ全部ヲ舉ゲテ頼ルベキ委員會ノ組織ヲ本法ニ規定スルハ本法ノ重大ナルト共ニ重大ナルコトナリ

トス、之ハ他ニモ其例アリ、軍需品ニ關シテノ軍需品評議會其ノ他幾多ノ場合ニ其ノ組織ヲ法中ニ規定セリ

○上田彌兵衛 從來ノ米政策ハ一時的所謂應急策ニシテ且ツ價格調節主義ナリシガ本案ハ常設的恒久的ニシテ且ツ需給調節主義ナルヲ以テ、我國ノ食糧政策解決上一步ヲ進メタルモノト認ム

價格ノ調節ヲ以テ一ノ目的ト爲スベク修正案ノ提出アレドモ、歴代内閣ガ米價政策ニ失敗シタル歴史ヲ見レバ必ス價格ノ調節ニ重キヲ置キタル爲メ遂ニ投機者流ニ利用サレタル結果ニシテ、嘗ニ明治歴代ノ政府ヲ誤レルノミナラズ、徳川幕府時代ノ米政策ニ於テモ價格調節主義ニ重キヲ置キシ政策ハ總テ失敗ニ歸セリ、然レドモ吾人ハ本案ヲ以テ完全ナリトハ信ゼズ、之ガ運用ニ付テハ周到ナル注意ヲ要ス、吾人ハ此ニ三箇ノ希望ヲ附シテ本案ニ賛成スルモノナリ

- 1 政府ハ速ニ收穫豫想調査方法ノ統一ヲ期スルコト
- 2 米價高低判斷ノ基準ヲ豫メ決定シ置クコト
- 3 外米管理ノ適否ニ對シ更ニ相當ノ考慮研究ヲセラレ度キコト

○東 武 我國ノ食糧問題即チ、米價問題ハ最近起リタルモノニアラズシテ遠ク幕府時代ヨリ米價問題ニ付國民ハ種々苦楚ヲ嘗メ、寶曆十年米價暴落ノ爲メ幕府ハ當時大阪ノ鴻池初メ二百有餘ノ御用商人ニ命ジテ莫大ノ金ヲ貸與シ大ニ米ノ買上ニ努メタレドモ、其ノ效ヲ奏セズ淀川ニ米ノ堤防

ヲ築キ天保山沖ニ米ヲ船ニ積ミ運ビ海ニ投棄シタル事件アリ、天明二、三、四年ニ亘ル米價暴騰ノ際奸商ヲ捕縛シ江戸、京都、大阪、伏見ニ燒打事件起リタル事實アリ、又天保年間ニハ米價暴騰ニ對シ細民救濟ノ爲メ大鹽平八郎亂ヲ起シタルコトアリ、幕府時代ニ於テモ此ノ政策ニハ頗ル惱メリ近來大隈内閣時代ニハ米價暴落ヲ阻止シ、寺内内閣ニ至リテ暴利取締令、外米管理令、外米輸入令出デ、米價調節ヲ試ミ原内閣ニ於テモ米價調節ト云フ議論ハ過去二、三年ヲ通ジテ上下兩院ノ大問題トナリ、食糧問題ノ大體方針決定ノ爲メ朝野ノ識者ハ等シク此ノ問題ニ付幾多ノ研究苦心ヲ拂ヒ此ニ我國ノ食糧政策ヲ安定スベキ大法案ヲ提出セラレタルハ現内閣ガ非常ナル大英斷ニシテ、吾人ノ最モ喜ブ所ナリ、然レドモ本案提出ノ遠キ原因ヲ釋スレバ、大隈内閣時代ニ於テ研究サレ、寺内内閣ニ至リ再三立案サレタルモ不幸ニシテ成案ニ至ラズ、現内閣ニ至リ此ノ大問題ヲ解決スルニ至レリ之ニ就テモ調査會ヲ設ケ衆智ヲ集メテ研鑽ヲ積ミ本案ヲ見ルニ至レリ、此レ實ニ國家百年ノ大計ニシテ本委員會ノ傾向ニ付テ見ルモ殆ンド政黨政派ヲ超越セル案ト認メラル中ニハ本案ハ生産者保護ノ案ニシテ消費者ニ取り不利益ナリトノ論ヲナスモノアレドモ、元ト本案ハ量ノ調節ヲ以テ主トシ價格ノ調節ハ從トナレリ、之レ即チ生産者ヲ保護スルガ主ニアラズシテ生産消費兩者等關連シテ食糧問題ヲ解決セントスルノ趣意ナリト信ジ本案ニ賛成ス

○齋藤宇一郎 價格ヲ入レタルコトニ付誤解サレタルヤノ感アリ、價格ヲ入レタルハ決シテ價格本位

ニスルト云フ意味ニアラズ、兩本位トセントスルモノナリ

○前川虎造 本案ニ賛成ナレドモ運用上ニ付警告スベキ點アリ本會議ニ於テ之ヲナサン

○小菅劍之助 私モ固ヨリ政黨政派ニ超越セリ、國家ノ爲メ有害ナリト認メ反對スルモノナリ

討論 終 決

賛成者多數原案可決

(三) 本 會 議

(第一讀會ノ續)

三月六日

○委員長 委員會ノ經過及結果ニ付大要ヲ報告スベシ

○山本悌二郎 第一 本案目的ハ單ニ量ノ調節ニシテ價格ニ付テハ別ニ考慮セザルヤト云フ質問ニ對シ、政府ハ國民生活ノ安定即チ生産消費兩者ノ何レヲ問ハズ全體ニ亘リテ此ノ食糧問題ヲ解決スルニハ數量ノ調節ヲ主トセザルベカラズ、價格ノ變動ハ多クノ場合ニ於テ數量ノ過不足ヨリ起ルヲ以テ此ノ數量ヲ調節セバ懸テ價格ノ平準ヲ期スル目的ヲ達スルコトヲ得ベシ、故ニ此ニ價格調節ノ意味ヲ掲ゲザルモ本法實施ノ結果ハ即チ價格ノ調節トモナルベシト答辯セラレタリ

第二 米穀ノ買入賣却等ノ方法ハ如何ニスベキヤトノ質問ニ對シ、政府ハ官民ヨリ斯道ニ堪能ナル人士ヲ網羅シテ委員會ヲ組織シ之ヲ諮問機關トシテ實行スベキ旨ノ答辯アリ

第三 委員會ヲ設ケズ政府自身ニ於テ機敏ニ行フベシトノ意見ニ對シテハ元來困難ナル事ナルヲ以テ寧ロ隱微ニシテ機敏ナランヨリハ公明ニシテ不器用ナル方適當ナリトノ答辯アリ

第四 買入方法ノ細目即チ買入場所買入價格ノ決定等ニ付テハ委員會ニ諮問ノ上ナラデハ判明セザレドモ目下政府ノ考フル所ニテハ場所ハ全國樞要ノ米穀集散地ノ數箇所ヲ選定シ價格ハ其ノ時々ニ依リ異ナレトモ、其ノ基準トスル所ハ要スルニ米穀ノ生産費及米穀ノ時價之等ノ點ヲ參酌シテ適當ニ定ムル方針ニテ本年度ニ於テ大體三百萬石ヲ買入レ目下民間倉庫ニ三百二十萬石内外ノ收容餘力アルヲ以テ之ヲ以テ貯藏ニ充テ漸次技術上ノ研究調査ヲ積ミ二億圓ノ特別會計ノ内ヲ以テ國立倉庫ヲ建設スル方針ナリトノ答辯アリ

討論ニ入りテ憲政會ノ齋藤宇一郎君ヨリ修正案ヲ提出サレタレドモ大多數ヲ以テ本案ハ可決セリ

○小菅劍之助 政府ハ本法運用ノ資金ヲ二億圓トセルモ豊年續キテ年々剩餘米ヲ買入ル、場合又ハ凶年續キテ年々外米ヲ買入ル、場合ハ直ニ資金ニ不足ヲ來スベシ、此ノ間又種々ナル蹉跌ノ爲メニ政府ノ損害モ少カラザルベシ、之レ即チ直接間接國民ノ負擔セザルベカラザル所ニシテ、大ニ考慮ヲ要スル點ナリトス、又政府ガ米ノ賣買ヲナスニ方リ、機ヲ見ルニ敏ナル投機者流ハ暴利ヲ博シテ其

ノ都度我が經濟界ニ動搖ヲ來スベシ、要スルニ斯ノ如キ法案ハ農家ノミヲ利シ一般國民ニハ不利益ナルモノニシテ我國食糧問題ノ解決ハ米穀專賣法ノ實施ニ如カザルナリ

○長田桃藏 大正七年米價暴騰ノ慘事ニ鑑ミ官民努力ノ結果米ノ增收ヲ得遂ニ生産者タル農家ヲシテ米ヲ懷イテ泣カシムル程米價ノ暴落ヲ見ルニ至レリ、米價暴落ノ爲メニ米價ハ生産費ヲ償フニ足ラズ遂ニ農家ガ米ノ生産ヲ忽カセニスルコトアランカ生産不足ノ爲メ往年ノ慘事ヲ再ビ繰リ返スコトナキヲ保セズ、依テ政府ハ從來種々調査ヲナシ更ニ經濟財政調査會ノ審議ヲ經テ常平倉案ナルモノニ近キ或一案ヲ得ント欲シテ漸ク茲ニ此ノ成案ヲ得タリト云フ、然レドモ本法案ハ數量ニ依テ食糧ノ調節ヲ圖ラントスルモノニシテ決シテ農家ノ所謂市價ヲ釣上ゲテ目前ノ利益ヲ得ントスルモノト一致セザルナリ、之政府ガ消費者タル商工業者ノ爲メ大ニ考慮サレタル點ナリト信ズ、固ヨリ市價ヲ閑却シテ調節不可能ナリトノ論ハ又一面ノ眞理ナレドモ市價ノミニ重キヲ置キタル調節ガ今日迄幾多國家ニ損害ヲ與ヘナガラ其ノ調節ノ目的ヲ達シ得ザリシ歴史ハ明カナルモノナリ、如何ニ政府ノ力ヲ以テ努力スルモ人力ヲ以テ自然ノ物價ヲ左右スルコトハ至難ノコトナリトス、故ニ政府モ物價ハ自然ニ任ズル方産業發達ノ爲メニ利益ナリトノ意見ヲ有セリ

○前川虎造 我國ノ米ハ世界共通ノ食糧ニアラズシテ、孤立的特有ノ食糧ナリ、故ニ日本米ハ輸出シ難キモ外米ハ輸入シ易シ朝鮮米ハ生産費廉ナル爲メ之ガ爲メ内地米ノ壓迫ヲ受クルコトナキヤト質

問セルモノアリタレドモ外米ハ更ニ廉シ今日西貢米ハ一石十五圓ニシテ輸入スルコトヲ得、内米ニ比シ既ニ十圓ノ差アリ、如此外米ノ輸入ヲ拋棄シナガラ、内米ノ需給調節ハ至難ノコトナリトス、而カモ内米ノ買入ハ易クトモ之ガ賣却ハ更ニ困難ナルベシ

過般財政經濟調査會ハ常平倉案ト共ニ水利ノ便ヲ開キ助成金ヲ増シテ開墾ヲ獎勵シ、取引機關ノ改善ヲモ併セテ答申セリ、然ルニ此ノ内常平倉案ノミ形ヲ變ヘテ常平倉案トシテ此ニ提出サレテ他ハ之ヲ顧ミラレザルハ甚ダ遺憾トスル所ナリ、取引所ノ改善ヲ計ラザレバ米ノ調節ガ完全ニ行ハレザルコトハ政府自ラ之ヲ承認シナガラ何故提案セラレザリシヤ、吾人ハ本案ノ效果ニ付多大ノ疑ナキ能ハズ第一需給調節ノ手段トシテ國家自ラ之ヲ管理スルノ方法ヲ避ケタリ、而シテ本法ノ施行ニ關シテハ二箇ノ大ナル障害アリ、一ハ開墾助成法ニシテ他ハ廉價ヲ以テ内地市場ニ現ハレ來ル外米ノ輸入即チ是レナリ、開墾助成法施行ノ結果米ノ生産年々増加シ來ルハ爭フベカラザル事實ニシテ、近キ將來ニ於テ豊年ノ時ニ際シ一時生産制限ノ方法ヲ講ズルニ非ラザレバ需給調節ノ目的ヲ達スルコトヲ得ザルニ至ルベシ、食糧政策上自給自足ヲ理想トスル帝國將來ノ爲大ニ考慮セザルベカラズ、次ニ外米ノ輸入モ亦生産過剩ノ時ニ於テハ全然輸入ヲ禁止スルカ、或ハ過大ノ關稅ヲ之ニ課スルノ覺悟ナカルベカラズ、第二米穀需給ノ眞ノ調節ハ米價ノ高低ニ關セズ、生産高ト人口トノ割合トヲ基礎トシテナサルベカラズ、然ルニ本案ハ米穀需給調節ノ名ヲ藉リテ其實低落セル現下ノ時價ヲ昂

騰セシメントスル一種ノ姑息ノ手段ナルガ如シ、第三價格ノ告示ニ付テハ慎重ナル考慮ヲ加ヘザルトキハ此ガ爲メ市場ニ動搖ヲ來シテ價格ノ均衡ヲ保ツコト難シ

故ニ本案ノ施行ニ當リテハ充分ナル注意ヲ望ムモノニシテ最後ニ一言スベキハ鹿兒島灣開墾者タル藤田某、朝鮮ニ於ケル東山農場ノ如キ其ノ他一個人ニシテ能ク數十萬石ヲ有スル少數ノ大農ヨリ買入ル、コトヲ避ケテ可成小農小作人等ノ此ノ恩典ニ浴スル様出來得ル限リ地方小生産者ヨリ直接買入レラレンコトヲ希望シテ本案ニ賛成スルモノナリ

○荒川五郎 米ヲ主要食糧寧ろ専用食糧トスル我國ニ於テハ、米ノ問題ハ國民全般ニ關係スル至重至大ノ問題ナリ先年米價暴落スルヤ大隈内閣ハ剩餘金ノ責任支出ヲナシテ米價問題ニ努力セシモ遂ニ效ヲ奏セズ、農家ハ生産上充分ノ力ヲ用フルコト能ハズ爲ニ減收ヲ來シテ米價昂騰シ終ニハ米騒動ヲ起スニ至レリ、瑞穂國米ノ國ト稱セラル、我日本ニ斯ル米暴動ヲ起スニ至レルハ甚ダ遺憾トスル所ナリ

米價騰貴ニ伴ヒ生産者ハ全力ヲ擧ゲテ米ノ生産ニ力ヲ注ギタル結果今ヤ米價ハ再ビ暴落シテ農家ハ管ニ生産費ヲ償フコトヲ得ザルノミナラズ、各自ノ一家ヲスラ之ヲ如何ニシテ維持スルヤト云フ窮境ニ陥レリ如此一高一低一騰一落常ニ或ハ生産者ヲ脅威シ或ハ消費者ヲ脅威シ、各自ノ不安定ガ相轉換シテ順次前途永久ニ至ラントスルハ苟モ國家ヲ念ヒ經世ニ任スル者ノ決シテ寸時モ看過スベカ

ラザル重大事ナリトス

故ニ爰ニ此國民生活資料ノ重大問題タル米其物ニ向テ根本的政策ヲ立ツルコトハ今日ヲ措テ又無キ重要ノ時期ナリ、凡ソ米ニ豐凶アリ米價ニ高下波瀾アリ、生産消費兩者ヲ順次轉換威迫スルハ是レ國民自主進歩ノ目的ヲ達スル所以ニアラズ、故ニ米價米量ノ調節ヲ圖リ常平ノ法ヲ設ケン爲既ニ大隈内閣ノ當時之カ調査ニ着手セリ、殊ニ今日ハ黨派ヲ超越シテ農家ノ救済米價ノ調節タル此ノ根本的問題ガ議會ニ現ハル、ニ至レリ、然レドモ我國ノ米ハ國際融通ノ經濟物件ニ非ズシテ孤立セル日本内地のモノナルヲ以テ此ノ農業政策ナルモノハ普通ノ經濟政策トハ其ノ根本ニ於テ異ラザルベカラズ、況ンヤ我日本ハ大都會ヲ除キタル小都市ノ商業ハ多クハ國民ノ大部分ヲ占ムル農家ヲ相手トセリ、從テ農業救済米價維持ハ實ニ農家自身ノミノ問題ニ非スシテ國民全般ニ關スル大問題ナリ

政府ハ常ニ開墾其他農學ノ進歩ヲ助ケテ生産ノ獎勵ニ努メツ、アルガ多收ヲ獎勵シナガラ、生産者タル農家ガ立チ行カザル程度迄其ノ生産米ノ下落モ顧ミザルハ最モ矛盾ノ甚シキモノナリ、而モ農家ヲ救済スルコトハ夫レ自身カ國家ノ大問題ナリ故ニ爰ニ米穀法案ガ成立スルコトハ吾人ノ贊成スル所ナリ、然レドモ此ノ法典モ其ノ運用ノ如何ニ依テ效果ニ差ヲ生ズベシ、本案ノ第一條ト第二條ハ如何ニモ矛盾セリ實ニ農家ヲ救フノミナラズ消費者全般ニ此ノ影響ヲ考フル以上此ノ法ノ精神ヲ

唯數量ノミナラズ、價格ヲモ併セテ重要ナルモノトシテ調節スルコトニ考慮セザルベカラズ、若シ數量主義ニセバ、例ヘバ三百萬石買入ル、トセバ如何ニ騰貴スルモ三百萬石ハ之ヲ買入レザルベカラザルコト、ナリ、之ガ果シテ消費者ヲ保護スル所以ナランヤ、故ニ數量ト價格トハ同ジ位置ニ置クコト肝要ナリ

本法運用ニ重大ナル關係ヲ有スル需給調節委員會ノ規定ヲ本文中ニ掲ケ置クコトハ本案ノ大切ナルト共ニ、又極メテ必要ナルコトナリ、所得税法ニ於ケル所得稅審查會、營業税法ニ於ケル營業稅調查會、軍需工業動員法ニ於ケル軍需評議會ノ如キ皆此ノ例ナリ、現内閣ハ之ヲ法文中ニ規定セズトモ委員會ヲ設クル意思アレドモ之ヲ設置セザルモ法律上差支ナシ

此ノ大法典ノ原則トシテ必ず設置スルコトニ規定シ置クコトハ極メテ重大ナルコトナリトス

第二讀會

○齋藤宇一郎 修正案ニ付説明セン

米穀法中第一條及第二條中「米穀需給」ノ下ニ「及價格」ヲ加フ
法文ニハ需給ノコトノミナレドモ其ノ實際ニ至リテハ價格ヲ考慮セザルベカラザルニ至ル、若シ夫レ量ノ問題ノミヲ以テ本法ヲ運用スレバ剩餘米ハ價格ニ拘ハラズ、買入レザルベカラザル理論的窮

地ニ陥ルコトハ之レ當然ノコトナリ、如此買ヒ進マンカ米價騰貴ノ爲消費者困難スベシ、然ルニ政府ハ或ル一定ノ量ヲ買ハントスルモ若シ買入中價格騰貴セバ其ノ分量ヲ打チ切りテ中止スルノ己ムナキニ至ルベシト言明セリ、果シテ然リトセバ價格ヲ考慮セザルベカラズ、又此ノ問題ハ一言價格ト云ヘバ只米價高ヲ直覺スル爲メ非常ニ奇異ナル文字ニ見ラルレドモ爰ニ價格ヲ入ル、ハ兩本位主義ヲ採ル所以ニシテ、生産、消費兩者ヲ保護スル爲本法ノ運用上其ノ目的ヲ明カナラシムル必要アリ、第三條ノ次ニ第四條ヲ加ヘ「前條ノ場合ニ於テハ米穀需給調節委員會ノ諮問ヲ經ルコトヲ要ス、米穀需給調節委員會ノ組織ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」此ノ箇條ヲ新ニ挿入ス、之ハ本法運用上ノ機關トシテ委員會ノ組織及機能ヲ本文中ニ規定スルノ必要ヲ認ムルヲ以テナリ

第四條ニ「及價格」ヲ入ル、ハ法文整理上ノ爲メナリ

○萩 亮 修正案提出者ノ意見トシテハ「及價格」ヲ入レザレバ本案ガ不徹底ナルノミナラズ、本法ノ目的ヲ十分ニ達スルコト能ハズト云フ趣意ナルモ抑モ米穀法ナルモノハ農家生産者ヲ保護スルノミナラズ、其ノ半面ニ於テハ大ニ消費者ヲ保護セリ、政府當局ノ説明ノ如ク數量ノ裏面ニ價格ヲ含ム以上更ニ價格ノ文字ニ入ル、ノ必要ナシ、若シ價格ヲ入ル、トセバ却テ本案ノ運用上支障ヲ來スベシ、例ヘバ量ニ於テハ均衡ヲ得居ル場合ニ於テ、價格ガ暴騰暴落ノ時ハ勿論調節ノ必要アルベキモ然ラズシテ僅ノ上下アル時ニ於テモ買入賣出ヲナサザルベカラザルコトトナリ、兩本位ノ結果

ハ茲ニ一大缺點ヲ生ズベシ

需給數量ハ正ニ均衡ヲ得居ルニ拘ハラズ、需給以外ノ原因ニ依ル米價ノ高低アル場合生産消費兩者ハ交々起ツテ政府ニ賣買ヲ要求シテ國家紛亂ノ本ヲ成スニ至ルベシ

次ニ調節委員會ニ付小菅君ノ所説ノ通り委員會アル爲メニ暇取リ其ノ間奸商乗ジ投機者附入り以テ彼等ノ喰物ニ終ルナキヲ保セズトセバ、夫レ故ニ現内閣若ハ後繼内閣ハ先ヅ原則トシテ委員會ヲ設ケテ公明正大ニ行フベシ、然レドモ其間奸商出沒シテ繁ニ堪ヘザル場合ニ於テハ或ハ國民ノ多數ハ政府專斷ヲ希望スル時期ナシトセズ、故ニ緩急宜シキヲ得ル方法トシテハ政府ノ言明ヲ信ジ本條ヲ其儘存スルヲ最モ適當ナリト信ズ

採決ノ結果修正案否決

第三 讀 會

可 決 確 定

二 貴 族 院

(一) 本 會 議

三月八日

○山本農相 本邦ノ主要食糧品タル米穀ノ生産ハ年々増加シツツアレドモ、未ダ國民需要ノ全部ヲ充タスヲ得ズ、平年作ニ於テ二、三百萬石ノ不足ヲ告ゲツ、アル状態ナリ、而シテ我米穀ハ特殊ノ品質ヲ有スルト販賣區域狭少ナル爲メ年ノ豊凶ニ依リ需給關係ノ均衡ヲ失シ延テ激甚ナル價格ノ變動ヲ來シ、爲ニ生産者ハ固ヨリ國民生活ノ安定ヲ脅威セシコト從來屢々經驗セル現象ナリ依テ政府ハ國民食糧充實ノ根本方策ヲ立ツルノ必要ヲ感ジ曩ニ臨時財政經濟調査會ニ諮詢シ其ノ答申ノ趣旨ニ基キ極力食糧ノ増殖ヲ圖ルト共ニ茲ニ本法案ヲ制定シ、米穀需給ノ按配平準ヲ得セシムルノ制度ヲ設ケ特別會計ヲ以テ國內過剩ノ場合ニ於テハ其ノ剩餘米ヲ買入レ貯藏シ他日供給不足ノ場合ニ賣却シ、又必要ニ應ジ外米ヲ購入シテ供給ヲ補足シ尙特ニ必要アル場合ニ於テハ應急手段トシテ米穀輸入税ヲ増減免除シ若ハ輸出入ノ制限ヲ爲シ得ルノ規定ヲ設ケテ外米ノ流入ガ我ガ米穀ノ生産ヲ脅威スルガ如キ場合ニハ其ノ輸入ヲ制シ、又國內食糧不足ノ場合ニハ外米ノ輸入ヲ容易ナラシムルノ途ヲ開キ之ガ運用ヲ圓滑ナラシメントノ目的ヲ以テ本案ヲ提出セル次第ナリ

○藤村義郎男 本案ハ法律ノカト極ク少數者ノ自由裁量ニ依リ、我國民主食ノ根本タル米ノ需給ヲ調節セントスル國民生活ノ根底ニ觸レタル容易ナラザル重要問題ナルヲ以テ、決シテ忽カセニ議了シ得ベキモノニ非ラズ、第一日本ノ米ハ獨特ノ品質ヲ有シ、外米ハ本邦人ノ口ニ適セズ故ニ日本人ノ食用米供給範圍ハ極メテ狭少ナリ而シテ米ノ増加率ハ人口ノ増殖及國民生活ノ向上ニ依リ増加スル

消費量ニ伴ハズ、平均今日三百萬石ノ不足ナリトセバ將來益々其ノ不足額ハ増大シ來リ、我々國民ハ臺、鮮及外米ニ依リ其ノ不足ヲ補ハザルベカラズ、然ラバ果シテ本法案ヲ以テ永久の繼續の需給ノ調節ヲ圖ルコト或ハ不可能ナルニハアラザルヤ、寧ロ經濟ノ原則ニ適フベキ自然ノ大調節ニ依リ國民生活ノ安定ヲ圖ル方得策ニハアラザルヤ、今日ノ如キ際ニ於テ本案ヲ以テ國民ニ臨マントスルニ於テハ政府ハ都會ノ消費者及小農ヲ犠牲トシテ、所謂地主階級ノ大農ニ迎合スル爲ニ此ノ姑息不徹底ノ案ヲ提出シタルモノナリト誤解セラル、モ詮ナキコト、考ヘラルベシ

第二 本案ノ運用上米ノ生産、消費ニ關スル正確ナル統計ハ最モ必要ナルコトナリト信ズルガ然カモ此ノ統計調査ハ又最モ困難ナルコトニ屬シ、若シ米ノ過不足需給案ヲ作製スルニ其ノ根據ヲ正確ナル統計ニ依ラズシテ見込ヲ以テ假定的ノ數量ヲ以テ調節ヲ行ハンカ、極メテ不自然ナル調節ニ陥リ、經濟界ニ動搖ヲ來スルニ至ルベシ

第三 本案ノ骨子ハ量ノ調節ニ在リト云フガ之ハ時代ヲ無視シタルノ施設ニテハナキヤト思ハル米ガ全國經濟ノ總テノ中心タリシ舊幕時代ノ常平倉制度ナリトセバイザ知ラズ、資本主義ガ經濟ノ根本トナレル現在ニ於テ此ノ案ヲ以テ量ノ調節ナリト聲明セラル、ハ何故ナリヤ本案ニ依ル賣買ハ人民ノ自由賣買タルコトヲ認メ專賣制度ヲ斷行セラレザル以上今日ノ經濟組織ニ於テ價格ヲ無視シテ米ノ調節ヲ行フコト不可能ナルベシ、又一般物價ト切り離シテ米價ノミヲ調節セントセバ一般經濟界

ニ不自然ノ變動ヲ起シ只市場ヲ混亂セシムル結果ニ終ルベシ

第四 米ノ賣買數量ハ直ニ米價ニ影響シ延ヒテ一般物價ニ波及シ各種ノ取引商業ニ影響ヲ來シ自然國
民生活ニ關係スル以上賣買價格ノ基準ハ最モ注意ヲ要スベキコトナルガ、政府ハ此ノ賣買價格ノ基
準ヲ如何ナル根本方針ニ依テ定メントスルヤ

第五 本案ノ運用ニ付テハ僅カニ、三十人ノ委員會ニ諮問スルト云フガ各利害關係ノ一致セザル委員
間ニ徹底的審議ヲ遂ゲテ議ヲ纏メ得ルヤ甚ダ疑ヒナキ能ハズ、且ツ又米ノ買付ノ如キハ頗ル機敏ナ
ル觀察ト専門的知識經驗ヲ必要トスルニ果シテ政府官吏ニ於テ之ヲ能クシ得ルヤ否ヤ而カモ本法
案中ニハ殆ンド有リト所有道德上及金錢上ノ弊害危險ノ伴フニハ非ラザルナキヤ、官紀ノ紊亂、奸商
ノ跋扈、不正行爲、不當利得或ハ生産、消費兩者ノ軋轢、階級間ノ爭鬪ノ如キ國民道德ヲ破壞スベ
キ危險分子ガ多ク含マル、如キ感アリ、政府ハ果シテ斯ル虞ナシト信ゼラル、ヤ

○山本農相 前言ノ如ク年々米ノ不足ヲ生ズル傾向ヲ示シ七、八十萬ノ人口増加ニ伴ハズ、常ニ米價
ノ高低甚ダシク經濟界安定ヲ脅スヲ以テ如何ニシテ之ヲ救済スベキカノ問題ニ付研究シ、本案ヲ調
査會ニ諮問シタル次第ナリ、抑モ我國ノ米ハ世界共通の貿易關係ヲ有セザル特種ノ品質ヲ有スル
ヲ以テ豊凶ニ依テ生産消費者ヲ脅威スルコト痛切且ツ激甚ナリ、故ニ米ノ供給ヲ先ヅ充分ナラシメ
ン爲メ耕種法ノ改良ハ固ヨリ耕地整理法、開墾助成法等ヲ設ケテ米收ノ増加ニ付極力獎勵スルト共

ニ米ノ過不足ヲ平均セシムルノ必要アルヲ以テ、此ノ米穀法案ヲ制定スルニ至レリ
而シテ本案ノ主目的トスル所ハ、剩餘アル時ニ之ヲ買入レテ貯藏シ置キ、他日凶作不足ノ際ニ備フ
ルニ在リ故ニ價格ニ付テハ常識判斷ニ任セテ極端ナル騰落アル時ニ於テ、高低懸隔ヲ調節セントス
ル外常ニ價格ノ高低ヲ制セントスルモノニアラズ

尙此ノ法案ニ付テハ曩ニ衆智ヲ集メテ攻究シタル結果或ハ不完全ノ點アランモ、今日先ヅ此ノ方法
ヲ措イテ他ニ良策ナシ、米ノ貯藏ハ政府タルト民間タルヲ問ハズ剩餘米ヲ貯藏シ得レバ遺憾ナキモ
民間殊ニ中小農ニ於テハ永ク之ヲ貯藏スル力ナク、遂ニ投賣ノ止ムナキニ至ルコト多シ、故ニ政府ノ
買米價格廉キヲ以テ賣却スルモノ少ケレバ強ヒテ之ヲ買入ル、必要ナルベク米ハ國內ニ現存スル
ヲ以テ或程度迄ハ放任スルモノ可ナラン、然レドモ如何ニ暴落シテモ絶對ニ賣却セザルヲ得ザル者ア
ル時ニ於テハ政府ニ於テ之ガ買入ヲ必要ト認メタリ、資本家ヲ保護スル嫌ヒナキヤト云ハル、ガ米
價安ノ爲メニ困難スルモノハ中小農ニシテ、本案ハ大多數ヲ占ムル小生産者ヲモ救済スルコトヲモ
得ベシト信ゼリ、統計ノ正確ヲ期スル爲メ從來種々努力セシ結果今日ニ於テハ實數ト大差ナキニ至
レリ、尙將來ニ於テモ改善ヲ加フベキ點ハ改善シ一層正確ヲ期セントスル考ヘナリ

次ニ米價ハ或程度迄量ノ多寡ニ依リ上下スルモノニシテ量ノ調節ハ自然間接ニ價格ニモ影響スルコ
トヲ覺悟セリ

價格ノ高低ガ極端ナル時ニ於テ諮問スルヲ以テ委員會ニ於テ議ノ纏ラザルガ如キコトナカラン
價格ノ決定ハ生産費、時價其他ノ事情ヲ參酌シテ決定スベキ考ニシテ、實際上官吏ハ機敏ヲ缺グト
ノ說ナルモ本案ニ依ル事項ハ隱微ニ機敏ナランヨリハ寧ロ公明正大ニ不器用ニ行フ方弊害少ク失敗
ナカラント考ヘラル

米價モ亦一般物價ニ伴フモノナルヲ以テ米價ノミ調節スルコトハ不可能ノ事ナラントノ御說ナルモ
米價ハ一般物價ノ上下ニ伴フ外量ノ過不足年ノ豊凶ニ依リ高低スルモノナルヲ以テ本案ハ一般物價
ノ高低ト異ナル原因ヨリ來ル米價ヲ調節セントスルモノナリ

○藤村義郎男 本法ノ施行上官紀ノ紊亂其他ノ弊害生ズル虞アルガ之ガ防止ニ關スル所見如何尙需給
調節ノ委員會ハ之ヲ公開セラル、ヤ

○山本農相 公開セズ先刻公ト云ヒシハ價格其他ノ決定ヲ農商務大臣一個ノ考ヲ以テスルモノニアラ
ズシテ諮問機關ニ諮問シタル上決定シタルコトハ豫メ此ヲ公示シテ賣買ヲ行フト云フ意味ニシテ斯
クセバ官紀紊亂等ノ弊害モ自然防止シ得ベシト信ズ

○上山滿之進 私ハ去ル一月二十八日ノ本會議ニ於テ當時政府ハ常平倉ニ關スル法律案ヲ提出セラレ
ントスル模様ナリシヲ以テ、提出前ニ於テ大體ノ方針ヲ伺ヒ且ツ私ノ意見ガ正當ナリトセズ、適當
ニ此ノ法案ヲ制定セラレンコトヲ希望シテ常平倉ニ關スル質問ヲナセシガ、要領ヲ得タル答辯ヲ得

ズ、又此ノ米穀法案ニモ私ノ所見ニ付考慮セラレザルモノ、如シ、常平倉制度ヲ確定スルハ國民生
活ノ安定上必要ナルコトニテ此ノ米穀法案ガ本會議ヲ通過スルコトヲ熱心ニ希望スルト共ニ此ノ法
案ニ大ナル缺點ナキコトヲ切望スルモノナリ

第一 米ノ買入賣出シノ時期數量及價格等ハ之ヲ如何ニシテ決定セラル、ヤ、農商務大臣ノ諮問ニ依
リ委員會ガ決スルニ當リ何ヲ標準トシ何ヲ根據トスルヤト云フニ付テハ、提案者タル農商務省ニ於
テ相當ノ考ヘナカルベカラズ、委員會ハ品性、知識、能力共ニ優越セル人々ガ集マルコト、信ズレ
ドモ、之等ノ人々ハ何レ各自本職ヲ有シ專問ニ如此問題ヲ研究スベキ材料ト餘裕ヲ有セズ、從ツテ
委員自身ニ於テ數字上ノ根據ヲ以テ意見ヲ立ツルコト至難ナルヲ以テ、農商務省ノ材料ニ依ル外ナ
キニ至ルベシ、然ルニ農商務省ノ根據薄弱ナルニ於テハ委員會ノ協議ノ結果實ニ恐ルベキナリ

第二 米ノ賣買價格ヲ委員會ニ於テ其ノ都度決定ストセバ、生産、消費兩者トモ甚ダ不安ノ念ニ打タ
レザルベカラズ、之レ本問題ヲ委員會ニ於テ決スルコトノ一ノ缺點ナリトス、又委員會ヲ開會スト
聞カバ直ニ定期ニ影響ヲ來タシ且ツ種々ノ弊害ヲ生ズルニ至ルベシ、果シテ如此ナリトセバ委員會
ナルモノヲ設ケテ其ノ時ニ應ジテ買上ゲ賣出ノ時期、數量、價格ヲ決定スルコトハ確カニ米ノ經濟
社會ヲ攪亂スルモノニシテ、生活ノ安定ヨリモ寧ロ生活ヲ脅威スルニ至ルベシ、買上賣却ヲ必要ト
スル時期ニ至リテ其ノ時期、數量、價格ヲ決定スルハ不可ニシテ豫テ相當ナル標準ヲ設ケ之ニ依テ

實行セザルベカラズ、理想上ヨリ云ハバ自動的ノ標準ヲ定メテ一切之ヲ人爲ヲ以テ支配セズシテ賣買セザルベカラズ、勿論今日世間ハ理想通ニ行クベキモノニアラザレドモ、此ノ理想ヲ標的ニシテ相當ナル方法ヲ設クルハ食糧政策ノ解決上絶對的ニ必要ナルコトナリト信ズ、固ヨリ人爲ノ方法ナルヲ以テ缺點ナキ能ハザレドモ、問題ノ根底ヲ破壊スルガ如キ缺點ハ不可ニシテ委員會ヲ設ケテ數量、價格、時期等ヲ決定セントスルハ根底ヲ覆スベキ缺點ナリトス

第三 常平倉ト外米專賣トハ兩々相俟テ效ヲ奏セザルベカラズ、然ルニ本案ヲ見ルニ外米專賣ニ關スル事項ナキハ甚ダ遺憾トスル所ナリ

或ハ米穀法ヲ以テ外米ニ對スル處置ハ十分ナリトノ政府ノ考ナランモ、外米ノ輸入制限其ノ他ハ法令ヲ出シテ即日ニ行ハルベキモノニアラズ、即チ保税倉庫在中ノモノ或ハ輸送中ノ米及外國ニテ既ニ買付ケタル米ヲ拒絶スルコトヲ得ズ、如此コトヲ行ハンカ非常ナル暴政ニシテ商人ハ安ンジテ自己ノ商業ニ從事スルコトヲ得ザルベシ、又内米不足ノ爲メ外米ヲ買付ケ輸入セントスルモ容易ニ出來ルモノニアラズ、之レ決シテ空論ニアラズ私ハ大正三、四年米價下落ノ際及大正六、七年米價騰貴ノ際二回共其ノ職務ニ在リテ殆ンド忘ルベカラザル苦楚ヲ嘗メタル經驗ヲ有セリ、現内閣モ外米ノ買入ニ付非常ニ努力サレタレドモ其ノ結果ハ七千何百萬圓ノ金ヲ以テ百五十萬石ノ米ヲ買ヒ一石五十圓乃至百三十圓ニ當レリ、而カモ其ノ外米ハ食糧ニナラザリシモノ多々アリシハ蔽フベカラザ

ルノ事實ナリ、之ヲ以テ農商務大臣ヲ非難スルモノニアラズ、時ノ事情トシテ又不得已事ナリト信ズ、然レドモ如此結果ヲ來セシハ之レ外米ノ專賣制度ヲ設ケザリシ罪ナリトス、尤モ專賣ト云フモ今日鹽、煙草ノ如キ專賣ノ謂ニアラズシテ米ノ出入ヲ政府ニ於テ管理スルノ意味ナリ、

次ニ米穀法ノ問題ヲ目下ノ米價問題ト切り離シ得ルヤ否ヤ

政府ハ幾何ニシテ幾何ノ米ヲ買上グベキ見込ナルヤ、農商務大臣ハ目下ノ剩餘米三百萬石アルヲ以テ此ノ三百萬石ヲ買上ゲントセラル、モノ、如シ、而シテ此ノ三百萬石ハ如何ナル基礎ニ依テ算出セラル、ヤ、若シ昨年ノ生産高ト端境期ニ於ケル現在高トヲ合シタルモノト本年ノ輸出高、移出高本年端境期ニ於ケル次年へ繰越高及本年ノ消費高ヲ對照サレタルモノトセバ實ハ驚カザルヲ得ズ、抑モ消費量ハ豫メ之ヲ計算シ得ベキモノニアラズ、事後ニ至リテ種々ナル材料ニ依リ調査シ得ベキモノナリ、然ルニ本年一人當消費量ヲ一石九升ト計算セラレタルモ之ハ過去數年間ニ於ケル消費量ノ平均ニシテ當ヲ得ザルコト甚ダシト云ハザルベカラズ、農商務省ノ統計ヲ見ルニ一人當消費量、大正八年一石一斗四升五合、大正九年一石一斗二升九合ニシテ若シ本年ノ消費量ヲ大正九年ト同一ナリトセバ、剩餘米ハ僅ニ百四十萬石トナリ、大正八年ト同一ナリトセバ殘米ハ僅ニ五十萬石ニシテ買上ヲ云爲スルニ足ラザルベシ、又價格ノ點ニ付テモ農商務大臣ハ明言サレタルガ如何ナル根底ニ依テ決定サル、ヤ、斯ル不完全ナル材料ヲ基礎トシテ、今數箇月中ニ大正九年産米ヲ

買入レラル、ヤ私ハ目下ノ米價調節問題ト此ノ根本政策ヲ切離シテハ如何ト云フ考ヲ有セリ目下ノ米價ハ餘リ低廉ナルヲ以テ或程度迄買上ゲテ價格ノ騰貴ヲ計ルハ適當ナラン、一時的ノ問題ハ一時ノ問題トシテ處理シ、永遠ニ亘ル大問題ハ確實安固ナル基礎ノ上ニ畫策セラレザルベカラザルナリ

○山本農相 價格ノ決定ニ付テハ理論上ヨリ云へバ生産額ノ大小増減ト一般物價ノ高低ニ伴ヒ上下スルモノナルヲ以テ生産高ト諸物價トヲ參酌考慮スレバ、大體判斷スルコトヲ得ルガ如キモ實際ニ於テハ容易ナラザルモノナリ、其間人氣及時ノ出來事等ノ爲メ初メヨリ價格ヲ決定シ置クコトハ殆ンド不可能ノコトナリトス若シ之ヲ人爲ヲ以テ決定シ置クコトハ實際ニ於テ不便支障ヲ來シ、不適當ナル結果ヲ現ハスニ至ルヲ以テ相當ナル人々ヲ以テ委員會ヲ設ケ之ニ諮問シテ今日實際ニ最モ近キ價格ヲ決定スルニ如カズト云フ根據ニ出デタルモノナリ、即チ價格ノ決定ニ付テハ如何ナルモノヲ標準トシ參考トスルヤト云フニ、其ノ時ノ一般ノ物價、米ノ收穫ノ増減米自身ノ其ノ時ノ市價ヲ參考トシ標準トシテ而シテ後ニ適當ナルモノヲ決定スル外他ニ適當ナル方法ナシト信ズ

外米管理ニ付テハ内米ノ數量及價格ニ依リ外米ノ輸入數量ヲ決定シテ買入ヲ實行スルコトハ極メテ困難ナルコトニシテ、大正七年時ノ内閣ハ指定商ヲシテ外米ヲ管理セシメタルモ、實際ノ輸入數量ハ初メ政府ガ必要ト認メテ決定セル數量ヲ超過スルニ至レリ、現内閣ニ於テモ當初民間貿易商ノ手

ニ任ズルヲ以テ正當ト認メテ輸入セシメシガ、大正七年、八年ニ於テ民間ニテ輸入セシモノ三百五十萬石ナリシガ米價ノ昂騰ハ尙止マズ、商人ノ手ニ依リ輸入シ能ハザルニ至リシヲ以テ、政府自ら百五十萬石ヲ買入レ合計五百萬石ノ輸入ヲ見ルニ至リ比較ヲ決スルコト困難ナリ

抑モ我國ノ米ハ特種ノ品質ヲ有シ剩餘アリトテ、之ヲ外國ニ輸出スルノ途少ク又不足ノ時ト雖モ他ヨリ之ヲ補フコト頗ル困難ナリ、故ニ政府ニ於テ剩餘米ヲ買入レ置キ不足ノ時ニ備ヘントスル爲メニ此ノ米穀法案ヲ制定スルニ至レルモノナリ

故ニ平常ニ在リテハ外米ノ輸入ハ民間商人ノ手ニ任セ置キ非常ノ時ニ於テ政府ガ之ヲ制限又ハ輸入スルノ途ヲ講ズルハ最モ妙味アル所ナリト信ズ

次ニ目下ノ米價問題ト米穀法トハ切離シテハ如何トノ御質問ナレドモ、常平倉案ナルモノハ近年時ノ政府ニ於テ論議サレタル所ニシテ前内閣、前々内閣ノ時代ニモ米ノ調節ニ關シ經濟調査會ノ問題トナリ、前内閣ニ於テ既ニ答申ヲ得居ル次第ナリ、現内閣ニ於テモ一昨年冬臨時經濟調査會ニ諮リタルニ其ノ答申ノ一トシテ常平倉案ヲ見ルニ至レリ、然ルニ如何ニ此ノ案ヲ以テ是ナリトスルモ一昨年ノ如ク一石五十圓ト云フ米價高ノ時ニ於テハ到底買入ル、コトヲ得ズ、即チ本案ヲ實行スルノ機會ヲ得ザリシガ幸一昨年ハ、六千七十萬石、昨年ハ六千三百十六萬石ノ實收ヲ見タル爲メ剩餘米多ク價格亦低落シテ日本銀行ノ指數ニ依レバ現今一石二十五圓——七、八圓ノ米價ハ他ノ諸物價ニ

比シ最モ低廉ニシテ、諸物價トノ比較權衡上ヨリ云へバ三十五圓内外ノ價ヲ以テ適當ナリト云フ故ニ本案ヲ實施シ、米ノ買入ヲナシ不足ノ時ニ備フルノ途ヲ講ズルハ絶好ノ機會ナリト信ジ、茲ニ米穀法案ヲ制定セル所以ニシテ農家ノ運動等他動的ノ提案ニハアラザルナリ

尙三百萬石ハ二億圓ノ資本ヲ以テ買入レントスル數量ニシテ、若シ政府ノ豫定セル價格ヨリ非常ニ昂騰スルニ至ラバ、三百萬石ノ買入ヲ終ラザル以前ニ買上ヲ中止スルニ至ルヤモ不計故ニ三百萬石ハ必ズシモ絶對ノ數量ニアラザルナリ、又一ケ年ノ消費量ノ如キモ人氣其他ノ關係ニ依リ固ヨリ一定シ得ベキモノニアラザレドモ、既往ノ事實ニ依リ大體ノ見込ヲ立テル外甚ダ困難ナルコトナリトス

○上山滿之進 私ノ質問ノ趣意ハ農商務大臣ガ剩餘米三百萬石アリト云ハル、ガ其ノ三百萬石ハ何ヲ基礎トシテ計算セラレタルヤト云フニ在リ、尙日本銀行ノ物價指數表中明治四十年ヨリ大正二年ニ至ル七ケ年ノ物價指數ヲ平均シ之ヲ基準(百)トシテ今日ノ物價及米價ヲ計算シ、諸物價ニ比シ今日ノ米價ハ一石三十五圓内外ヲ以テ適當ナルヤト云ハレタレドモ、日本銀行ノ物價指數ハ明治三十三年十月ヲ基礎トシテ今日迄ノ指數ヲ示セルニ何故戰前七ケ年分ノミヲ採テ計算セラレタルヤ、如此方法ニ依ラバ基礎トスル年及其ノ年數多少ニ依リ諸物價米價共増減異動シテ止マザルベキニ、前記七ケ年ノ平均ニ依リ三十五圓ト聲明セラル、コトアランカ由々敷結果ヲ生ズルニ至ルベシ

○山本農相 買上數量ハ確定ニハアラザルモ先ヅ三百萬石ノ見込トシテ答辯セルモノニシテ、價格ノ如何ニ依リ實際買入ノ數量ニ増減ヲ來タスコトアルベシ、又價格ハ一般物價ト共ニ高低スベシ故ニ日本銀行ノ指數ヨリ云へバ一石三十五圓内外ヲ以テ先ヅ諸物價トノ均衡ヲ得タルモノト謂ヒ得ント云フニ過ギズシテ必ズシモ三十五圓ヲ以テ買上價格トナスノ謂ヒニ非ラザルナリ、而シテ價格ノ決定ハ諸物價數量ノ多寡、米自身ノ市價及其ノ時ノ事情人氣等モ參酌考慮セザルベカラザルヲ以テ豫メ何等カノ基礎ニ依リ決定シ置クコトハ極メテ困難ナリ、故ニ委員會ニ諮リ適當ナル價格ヲ定メントスルモノナリ、勿論大體ハ賣買共ニ時ノ市價ニ依ラザルベカラズト信ゼリ

○上山滿之進 政府ハ此ノ價格數量ヲ決定スル委員會ニ提出スベキ必要ナル基礎材料ノ調査ナキヤ

○山本農相 材料ナシト云ハル、ヤ、材料ノ調査未済ト云ハル、ヤ

○上山滿之進 剩餘米三百萬石及米價三十五圓見當ニ基ク材料ハ農商務省ニ未ダ出來ザルヤ

○山本農相 委員會ニ提出スベキ案ハ未ダ在ラザレドモ夫レハ直チニ作ルコトヲ得

○柳澤保惠伯 1 第四條ニ依ル現在高ノ調査命令ハ如何ナル方法ニ依ラル、ヤ

2 今日米ノ收穫高ニ關スル統計ハ極メテ杜撰ナルモノニシテ、偽的統計、假想的數字ノ排列ナルニ政府ハ如此信憑スベカラザル數量ヲ根據トシテ本案ヲ運用セラル、ヤ或ハ國勢調査的ニ調査シテ米穀統計ノ正確ヲ期セラル、考ヘアルヤ否ヤ

- 3 衆議院ノ委員會ニ於ケル速記録ニ依レバ、農商務大臣ハ現在民間倉庫ノ收容餘力ハ三百二十萬石ト答辯サレ居ルガ之ヲ書面ニテモ差支ヘナキヲ以テ、府縣郡市町村等ニ示サレ度シ
 - 4 第五條ニ五百圓以下ノ罰金ニ處スル制裁アルガ之ニテハ餘リ輕過ギル嫌ナキヤ、例ヘバ數萬圓數十萬圓ノ利得アル場合ニ於テハ喜ンデ五百圓ノ罰金ヲ出シテ不正行爲ヲナス者ナキヲ期シ難シ故ニ罰金額ヲ増スカ或ハ體刑ヲ加フルニ非ラザレバ本案ノ效果ヲ舉グルコト難シト信ズ
 - 5 臨時財政經濟調査會ニ於テ本案ニ付、審議ノ際大藏大臣ト農商務大臣トノ御意見一致セザリシト傳聞スルガ果シテ事實ナリシヤ
- 山本農相 1 本案施行後場合ニ依リ必要ニ應ジテ調査スルコトアルベク、其際若シ違約又ハ正當ナル答申ヲ爲サザルトキハ五百圓位ノ罰金ヲ以テ先ヅ可ナリト信ズ
- 2 收容餘力倉庫ノ所在ニ付テハ局長ヨリ答辯セン
 - 3 米穀統計ニ付テハ當局モ完全ナルモノトハ信ゼラレズトモ、今日ニ於テハ漸次改善セラレテ之ヲ信ズベキ程度ニ進ミツ、アルヲ以テ之ニ依リ先ヅ行フノ外ナク、精確ナル統計調査ニ付テハ從來研究シタルコトアレドモ財政上ノ都合等ニ依リ實現スルニ至ラズ、尙將來ハ出來得ル限り改善ニ努ムル方針ナリ
 - 4 大藏大臣ト意見ノ相違ニ關スル質問ナルガ、大藏大臣ハ初メ常平倉ニ反對サレタルニアラズシ

テ一個ノ考トシテハ寧ロ進ンデ官營ノ必要ヲ認メラレタルモ未ダ過渡期ナルヲ以テ先ヅ此等ノ方案ヲ以テスルノ外ナカラント云フコトニシテ本案ニ快諾サレタル次第ナリ

- 岡本局長 倉庫ノ收容餘力ニ付テハ先月、東京、横濱、大阪、神戸、門司、下關、長崎、熊本、名古屋、四日市、仙臺、新潟、富山ノ十三都市ニ付實地調査セシニ合計二百七十萬石ノ餘力アリ、之ニ農業倉庫ノ餘力六十萬石ヲ加ヘ約三百二、三十萬石トナル其他ノ都市ニ於テモ尙餘力アル見込ナレドモ未ダ調査セズ

- 柳澤保惠伯 米ノ現在高調ハ寺内内閣當時之ヲ行ヒシモ充分ナル成績ヲ舉グルコトヲ得ザリキ、本法ニ依ル調査モ此如コトハ急速ニ豫期スル結果ヲ得ルコト難シト信ズルガ如何、米ノ統計ハ地方官憲ガ三回調査シタルモノト云ハルレドモ基礎不完全ナルヲ以テ參考ニ資スルノ値ナシト信ズ、將來國勢調査的ニ調査スルノ考アルヤ

- 山本農相 財政ノ都合上今日ノ腹案トシテハ從來ノ方法ニ依ルノ外ナシ

- 柳澤保惠伯 第四條ノ調査ヲ急速正確ニスル方法ハ如何、尙米ノ統計ヲ正確ニスル爲メ財政上ノ都合ト云ハル、ガ幾何位ヲ要スル見込ナルヤ

- 山本農相 約二百萬圓位ノ見込ナリ

- 岡本局長 米ノ占有者ト云ヘバ非常ニ廣義ナルモノニシテ急速ニ調査スルヲ得ザルベシトノ御意見

ナルガ在米調査ハ獨リ占有者ニ限ラズ或ハ人ヲ限リ、或ハ場所ヲ限リ又ハ全國ニ涉リ、調査スルコトモアルベシ、然レドモ多クハ當時普遍的ニ行フモノニアラズ

○若槻禮次郎 本案ハ數量ヲ調節スルモノナリトシテ説明セラレタルガ、數量ノミノ調節ヲ目的トセズ日本米ノ輸出ハ之ヲ制限スルノ必要アルベキモ外米ノ輸入ヲ制限スルノ必要ナカラシ、然ルニ第二條ニ輸出ト共ニ輸入制限ノ規定アルヲ見レバ、第二條ハ價格ノ調節ヲ目的トスルニアラザルヤ、第一條ハ需給ノ調節ト云ハル、ガ第二條ハ價格ノ調節ト解セラル、ガ本案ノ目的ハ

- 1 數量ノ需給ヲ調節スレバ自ツ價格ノ調節ニモナルト云フ丈ノ目的ヲ有スルヤ
- 2 或ハ數量ヲ調節スルト共ニ價格ヲ調節スルト云フ目的ヲ有スルヤ

○山本農相 本案ノ目的ハ數量ノ調節ニ在リ、即チ數量ガ主ニシテ價ハ從ナリ、又外米ノ輸入ニ付テハ必要已ムヲ得ザル場合ニ於テ行フベキ見込ナリ

○若槻禮次郎 日本ノ食糧ノ不足ヲ補フ爲メニ凶年ニ備フベク豊年ニ於テ米ヲ買入レ貯藏スルヲ以テ數量ノ調節ナリトセバ、外米ノ輸入ハ敢テ支障ナシト考ヘラル、ガ、一方價格ノ調節ヲ爲サントスル場合ニ外米ヲ輸入セバ其ノ目的ヲ達スルコトヲ得ザルヲ以テ外米ノ輸入制限ノ必要アルニ至ルベシ、故ニ量ヲ調節セントスル爲メニ外米ノ輸入ヲ制限セントスル點ニ於テ尙疑問ヲ存ス

次ニ議場ノ問題トナリタル三百萬石——之ハ本年ノ剩米三百萬石ノ見込ナルヲ以テ政府ニ於テモ三

百萬石ヲ買入レントストノ説明ナルガ私ノ問ハントスル所ハ左ニアラズ、數量ノ調節タル以上凡ソ幾何位日本ニ於テ常ニ常平倉ニ貯藏シ置カバ凶年ニ備フルコトヲ得ルヤト云フニ在リ、農商務大臣ガ數量ノ調節ヲ本トシテ調査セラレタル數量ヲ示サレ度シ

○山本農相 三百萬石ハ現在ニ於ケル見込ニシテ平生幾何ヲ貯藏スベキヤニ付テハ不明ナリ、從來ノ例ハ我國ハ年々二、三百萬石ノ不足ヲ來シツ、アルヲ以テ本法案ニ依リ豊年ニ買入レ凶年ニ備ヘントスルモノニシテ、其ノ數量ハ年ノ豊凶ニ依リ異ナルモ二億圓ヲ以テ取捨セバ適當ナル調節ヲナシ得ヘシト信ズ

○若槻禮次郎 米穀法ヲ制定シ而カモ其ノ目的ガ數量ノ調節ナルニモ拘ハラズ政府ガ數量ハ幾何ヲ要スルヤ其ノ見込ナシト云フニ至リテハ實ニ驚カザルヲ得ズ、政府ハ今ノ剩米三百萬石ヲ買入レタル場合ニ於テ來年モ再來年モ續イテ豊作ニシテ米價下落シタル時ハ夫ハ米價調節ニアラザルヲ以テ何等構ハザル考ヘナルヤ

○山本農相 來年ニ於テモ剩米ヲ生ゼバ相當ノ價格ヲ以テ買入ルベク二億圓ヲ有セバ相當調節ヲナシ得ベシ

○若槻禮次郎 農商務大臣ハ剩餘米ヲ常ニ買上グル考ヲ以テ此ノ法案ヲ提出サレタル如クナルモ、私ハ左ニアラズ、數量ノ調節ト云フ以上凶作ノ不足ニ備フル丈ノ米ヲ買入レナバ夫レ以上ハ例ヘ如何

ニ剩米アリトモ買入レヲナサザルモノト考フ若シ目的ガ米價調節ニ在リトセバ、米價下落ノ時ハ他日ノ備ヘアルトモ尙之ヲ買入レザルベカラザルモ、米價調節ガ目的ニアラズンバ凶作ニ備フル量以上ハ買入レザルモノト考ヘシニ只今ノ御答辯ニテハ來年モ米價安ク剩米アラズ買入レラル、由然カスレバ一定ノ目標ナク要スルニ剩米アレバ買ヒ置クト云フ方針ナルヤ

○山本農相 資金ハ二億圓ニ限定シアルヲ以テ無限ニ買入ル、ヲ得ズ

○若槻禮次郎 第三條ニ依リ告示サル、價格ハ生産費ト市價ニ依リ新ニ定メラル、旨ノ答辯ナルガ然ラバ其ノ價格ガ實際ノ價格ニ高下アラバ、賣買ニ關シ非常ナル運動腐敗ヲ生ズルノミナラズ可成實際ノ價格ヨリ高ク或ハ安ク決定サレンコトニ付種々ノ運動弊害起リ、又可成高價ヲ以テ自己ノ所有米ノ買上ニ付運動起ルベク考ヘラル、ガ如何

○山本農相 其ノ時ノ必要ナル價格ト信ズルモノ即チ賣買サレツ、アル凡ソ常識ヲ以テ判斷シ得ベキ價格ヲ以テ買入レバ騒動ヲ誘起スルコトナカルベシ、若シ無理ナルコトヲ爲サバ騒動モ起ルベシ政府ハ無理ヲ避ケ衆智ヲ集メテ實際ニ於テ賣買シ得ベキ價格ヲ決定シ度キ考ナリ

○若槻禮次郎 只今ノ答辯ニ付テハ同感ナリ、先ノ答辯ノ如クンバ生産費及市價ヲ斟酌シテ新タナル價格ヲ決定サル、ガ如ク考ヘラル、今ノ答辯ニ依レバ衆智ヲ集メテ地方ノ價格ヲ定メ告示セラル、如クナルガ果シテ然リヤ、尙米價ハ地方ニ依リ異ルガ地方毎ノ相場ヲ認メラル、ヤ尙代金ハ證券ヲ

以テ支拂フトセバ米ノ價格ト同一ノ證券ヲ與エラル、ヤ或ハ割引料迄見込ミタル證券ヲ交付セラル、ヤ

○山本農相 買入場所ハ樞要ノ地ヲ指定シ價格ハ買入地着ノ値段ヲ以テシ、手形ハ其ノ時定メタル價ニ依テ振出ス積ナリ

○若槻禮次郎 米ノ値段ヲ三十圓トスレバ手形ノ額面ハ三十圓ニアラズト信ズルガ如何

○山本農相 全ク其ノ時ノ價ヲ以テ證券ヲ交付ス、尤モ一、二箇年ノ割引期日アルヲ以テ買入價格ノ決定上考慮セザルベカラズ、之レ即チ時ノ市價ノミニ依ラレザル所ニシテ又委員設置ノ必要アル所以ナリ

○若槻禮次郎 大藏省ノ意見モ今ノ説明ト同一ナルヤ

○神野大藏次官 米ノ價三十圓ナレバ三十圓ノ額面ノ證券ヲ與フ

○若槻禮次郎 私ノ考トシテハ三十圓ノ米ヲ買入レテ三十五圓(假定)ノ證券ヲ交付スルモノト思ヒシガ左ニアラズト農商務大臣モ大藏省政府委員モ答辯サレシガ果シテ然ルヤ

○山本農相 其ノ通りナリ

○若槻禮次郎 證券ノ割引歩合ハ或ル期間丈ハ一定セラル、ヤ或ハ時々變更セラル、ヤ

○神野大藏次官 或ル一定期間ハ割引歩合ヲ一定シ置クノ必要アリト考フ

○若槻禮次郎 農商務大臣ハ本案ハ數量ノ調節ニアリト云ハル、モ、夫レハ表面ヲ飾ルノ言葉ニシテ米價ノ騰落ニ依リ買入又ハ賣却ヲナスコトアルベシ、而シテ米價安ノ時ニ政府ガ買ハントセバ、賣惜ミヲナス者アリ、又米價高ノ時政府ガ賣ラントセバ先安ヲ見越シテ商人ハ米ノ買溜メヲナサザルベシ、即チ本案施行ノ結果米穀ノ配給上支障ヲ來シ都會ノ消費者ハ不當ノ代價ヲ拂ツテ米ヲ買ハサルベカラザル場合ナシト限ラザルベシ

○山本農相 本案施行ノ結果相場社會者ニハ相當痛手ヲ與フベキモ米價ノ高低緩和サル、ヲ以テ生産消費兩者共却テ便利ナリト信ズ

○若槻禮次郎 之ニテ質問ハ打切ルベキモ本案施行ノ結果都會ノ者ハ金有ルモ米ヲ得ルニ苦ムノ虞ナキヤヲ憂慮スル次第ナリ

(二) 特別委員會

三月十七日

○山本農相 日本ノ米穀ナルモノハ特殊ノ品質ヲ有ス、又自ラ其ノ賣買範圍狹シ殘餘ヲ生ジタル場合ニ於テモ外ニ出デズ、又不足シタル場合ニ他ヨリ之レヲ補フコトハ困難ナリ、故ニ價格ノ高低ガ其ノ品物ノ過不足豊凶ニ依リテ變化ヲ起ス此ノ過不足ノ變化ヲ成可ク調節セントス、即チ豐作ニシテ供

給ノ過多ノ時ニ買ヒ凶作ノ時ニ之レヲ補ヒ過不足ノ生ズルヲ防ギ從テ價格ノ變動モ之ヲ除キ得可シ此レ米穀法ヲ設ケタル所以ナリ

○上山滿之進 此ノ問題ハ根本ノ政策ト目下ノ應急處置トヲ包含スルモノト思フ、此ノ案ハ食糧政策ノ永久ノ制度ヲ立ツルコトガ根本ニシテ是ヲ今年度カラ實行スルカ、大正十年度カラ實行スルカ此ノ二ツノ問題ヲ一括シテ居ルガ故ニ困難多シ、先ヅ問ハントスル所ハ九年度ノ米ヲ買入レザルモノト假定スルモ此ノ法律ガ通過スルヲ希望セラル、モノナルヤ九年度ノ米ヲ此ノ案ノ目的トセザル場合ハ此ノ案ヲ成立セシメザルモ可ナルヤ或ハ成立セシム可キカ

○大 臣 此ノ法案ナカリセバ今日ノ米ノ調節ヲ如何ニスルヤト云フ質問ノ如ク思フ

○上山滿之進 然ラズ今日ノ米ノ調節ハ此ノ案ニ依ラズトスルモ此案ノ通過ヲ希望ス、即チ本法ハ大正十一年一月一日ヨリ施行スルト假定スレバ、應急處置トシテ此ノ案ノ通過スルヲ要セズト云フニ至ルモ矢張り永久的ノ根本政策トシテ成立ヲ可トス

斯ノ如キ考ニテ質問ス

○大 臣 此ノ案ハ根本的ノ調節トシテ必要ナルヲ以テ施行ノ時期ヲ問ハズ必要トス

○上山滿之進 大正九年度ノ米ノ剩餘高ハ凡ソ三百石ナリト、是レニ就テ詳シク知ラザルモ其ノ要領ハ大體大正九年ノ産米額六千三百萬石前年ヨリノ持越額五百五十萬石、朝鮮カラ這入ルモノガ二百

萬石、臺灣ヨリ八十萬石合計七千五十萬石以上ハ供給ニシテ、今年度ノ需要ハ消費見込六千二百萬石、輸出見込七十萬石、移出ガ五萬石翌年ニ持越高ガ五百萬石合計六千八百萬石其ノ差引凡三百六十萬石ト云フ此ノ計算ガ基礎トナレルモノト思フ、是レ以外ニ剩餘米ノ見込ノ基礎アラバ伺ヒタシ私ガ推測スルモノガ唯一ノ基礎ナリトセバ、剩餘米ノ見込ハ大體ニテモ確定シ居ラズ、見込額ハ一人當一石九升ナリ、是レ過去何年カノ平均ニ過キズ實際ノ消費額ハ大正八年ハ一石一斗四升五合、大正九年一石一斗二升九合ナリ大正十年ノ分ノ消費量ヲ過去ノ平均量ニテ見込ムコトハ計算ノ基礎薄弱ナリ若シ一人一石一斗四升五合ヲ基礎トスレバ、剩餘米ハ五十萬石トナル、大正九年ノ一人當リヲ基礎トスレバ剩餘百四十萬石トナル、然ルニモ拘ラズ三百萬石ノ剩餘米アリト云フヲ基礎トシテ本年ノ買入米ヲ見積ルコトニ對シテハ惑ハザルヲ得ズ、斯クスレバ量ノ調節ト云フ論可ナリトスルモ量ノ調節ハ幾何本年ノ米ヲ買入ル、ヲ可トスルヤ

○岡本局長 今年度ニ於テ一人當リ平均消費量ヲ一石九升ト決メタルハ大正七年、八年、九年ハ好景氣ノ時ニシテ消費量モ多ク酒ノ如キ造石高極メテ多シ此ノ三年ノ平均ヲ見ルト、一石一斗五合ナリ此ノ數字ハ持越米ヲ計算セズ若シ持越米ヲ前年度ヨリ持越セルモノト、後年ニ持越シタルモノトヲ同數トスレバ三ケ年平均ガ一石一斗五合トナル、是レ最モ景氣ヨク且酒ノ造石高多キ時ナルヲ以テ之レニ依ルヲ得ズ、實際過去十年ノ平均高ハ一石七升三合ナリ、勿論十年ノ平均ニ依ルヲ得ズ仍テ



本年度ノ消費額ガ一石一斗乃至九升ニ行クコトガ實際ニ近カ、ル可シト當局ガ慎重ニ調べタル結果出デタルモノナリ、假ニ一石一斗ノ平均トスレバ三百萬石餘ノ計算ナリ

此ノ見込ハ確實ナリト云フヲ得ズ年々當局ニ於テ從來ノ平均額ニ年ノ事情ヲ能ク斟酌シテ推定セルナリ、此ノ推定ニハ外ノ意味ヲ加ヘズ

○上山滿之進 年々爲メ推算ハ極メテ確實ヲ要セズ、大體ニテ可ナルモ大體ニテモ尙ホ當ラス其時ノ景氣値段等ニ依リテ非常ニ消費量ガ動ク此ノ動クモノヲ豫メ大體ニ於テ最モ確實ニ知ルコトヲ得ズ又昨年ノ消費量ガ一石一斗二升九合ナルニ、本年三升凡ソ四升減ルト云フ見込ノ根據ヲ解スルヲ得ズ一昨年ヨリ引續キ景氣ハ落ちタルヲ以テ事業家ハ非常ニ苦ミヲ感ジ居ル尤モ多數ノ消費者タル勞働者階級ニ幾分失業者ハ出シタルモ勞銀ハ比較的低下セズ從テ生活ハ安樂ナリ、今日諸物價小賣相場ノ下ラザル原因茲ニアリ、斯ノ如キ状態ナレバ米價安シ斯ノ如キ故昨年ヨリ本年ノ消費量ガ減ズルコトナシト思フ、昨年ヨリ四升消費量減ズル見込ハ如何ニシテ出シタルモノナルカ

○岡本局長 大正九年ノ消費量カ一石一斗二升九合ナルハ繰越米ヲ控除セズ是レ前ヨリ分明セシモノト後年ニ移ルモノトヲ同額トシテ計算ナシ然シテ大正九年ノ繰越米ハ五百五十三萬石ナリ、之レヲ差引カザルベカラズ、本年度ハ四百十六萬石ト云フ持越米ヲ受ケ而シテ後年度ニ五百五十三萬石送リタルヲ以テ此ノ間百四十萬石位ノ差アリ、此ノ差額ヲ減ゼザルヲ得ズ是レ大數ノ問題ナレドモ其

丈ケ多キヲ加フ、而シテ大正七、八年ハ消費多ク此ヲ含メテ十年ノ平均ト爲セバ、一石七升トナル是レ少シ、仍テ其ノ中庸ニ當ル所ヲ見タリ、其上酒ノ造石量モ減ジ且ツ景氣悪シキ場合ニ於テハ消費少ナシ故ニ是等ノ事情ヲ考へ過去十年ノ平均ト景氣良キ時トノ中庸位ノ所ガ適當ナリト爲セリ

○上山滿之進 次ニ買入價格ノコトヲ質問ス、結論ガ幾何トナルト云フニ非ズシテ、價格ヲ定メル基礎ヲ伺ヒ度シ此ノ質問ノ理由ハ農商務省ガ如何ナル標準如何ナル材料ニ依リテ今年買入レル米ノ價格ヲ決定スルカヲ知ラザレバ攻究ヲ進ムルヲ得ズ、差支ナキ限り明確ナル答ヲ乞フ

○大 臣 參考トス可キモノハ第一此ノ市價生産費又經濟上ノ狀態ヲ主タル要素トシテ價格ヲ決定ス、然ル時ハ全體ニツキテ今ノ經濟上ノ總テノ物價等ノ關係或ハ其ノ生産費又ハ其時ノ米ノ時價ガ其ノ要點トナルガ其ノ實際ニ當ルト生産費ト市價又ハ經濟上ノ狀態ガ非常ニ相違スルニ至ル生産費ト時價トニ差異アル今日ノ如キ場合ニ於テハ、主トシテ其ノ時ノ賣買ノ時價ヲ主トシテ價格ヲ立ツル外ナシ是レ政府ガ此ノ場合米ヲ買入ル、ニ當リテハ成ル可ク時價ニ激變ヲ生ゼザル様ニシ漸次ニ來ルヲ主トセザル可ラズ、若シ政府ガ時價ヨリモ懸隔シタルモノニテ買入ル、コトアラバ經濟上ニ容易ナラザルコト起ル故ニ其時ニ行キテ前ニ述べタル如キコトヲ基礎トシテ決定スレバ時ニ依リテ異ルモノナリ

時價ニ付キテハ直チニ決定シ得ルト思フ唯今日ノ米ハ時價ト生産額トノ差ガ甚シ是レヨリ比較的差ヲ大ニシテ買入ルベキモノニアラズ、或ハ政府ガ之ヲ手形ニシテ買フナレバ今日ノ時價ヨリ判斷シテ行ケバ之ガ金ニナレバ利子モ這入り、其ノ他種々這入ルガ故ニ此等ヲ考へ適當トスル所ヲ以テスルモノナリ

假リニ二十六圓ノモノヲ手形ニテ買へバ二十七圓或ハ二十八圓ニテ買フコトニナレバ凡ソ一ヶ月ノ間ニ五十萬石買フ或ハ三十萬石買フト云フコトガ起ル然レドモ買ハントスルモ米ヲ持チ來ラザル場合アリ、是レ米價ガ安キガ故ナルカ但シハ時ヲ經レバ高クナルト云フコトニテ行クモノナルガ故ニ矢張政府ノ出シタルモノト同様ニ行ク故ニ米ヲ持チ來ルモノナキニ到ル之レト反對ノ場合ニハ米ヲ持チ來ルモノガ出テ來ルコトモ起ル米ノ出ルト出デザルトハ其ノ價格ニ依リテ起ル、又政府ガ極メタルモノハ二十六圓ナリシトキ米ヲ持チ來ラズ市價二十七圓トナレリ、即チ市價ガ騰レリ故ニ八圓ト云フ價格ニ改メル此ノ價格ヲ決定スルモ全部一率ニ一ヶ年ノ間ノ價格ヲ動カスト云フニ非ラズ、其ノ時價ニ依リテ此ノ價格ヲ動シテ其ノ時ハ適當ナルモノニ決定セザル可ラズ、從テ米ノ價格ガ三百五十萬石今日之ヲ基礎トシテ計算スレバ誤マレリトノ疑念ヲ起サジムルモ私等ノ爲サントスルコト、ハ多少ノ考ヲ異ニスル所アリト思フ

先ニ三百萬石位買入ル可キコトヲ欲シタルモ其レ以上ノ賣入アル場合ニ於テ尙ホ豫算ガ許スナラバ餘分ニ買フコトヲ生ズルニ至ル、此ノ場合ニ政府ガ買入ル、ナラント豫測セル價格ガ買入レザル間

ニ騰貴シ來リ、政府ガ二十七圓ニテ買ハント欲スレバ三十圓ニナル此ノ場合ニハ何所ニテモ價額ヲ追ツテ行ク但シ之レハ或ル程度マデニシテ、適當トスル所ニ決定スルモノニシテ餘リニ價格ヲ高クスルコトヲ爲サズ、此ノ如キ場合ハ三百萬石ハ這入ラヌモ或ル程度ニ控ヘテ行ク、政府ガ米ヲ買入ル、ガ爲メニ濫リニ騰ルト云フコトハ他ニ影響ヲ及ボス事多シ仍テ買入ノ石數ニ適當ノ取捨ヲ爲ス場合ガ起ル

○上山滿之進 如何ナル價格ガ適當ナルヤヲ知ラント欲ス或ル程度マデ高クナリテモ買フト云フ其ノ程度ヲ知リ度シ

今買フ場合ニハ時價ニヨルト云フガ其ノ時價ハ現在何處ニ適當ト見ルカ

○大 臣 生産費ハ物ノ價格ヲ決定スル主ナル參考トナルト云フハ即チ是レナリ、今日ノ如キ隔テ甚シ生産費ヨリモ高ク買ツテ行クコトハ甚ダ困難ナリ、斯ル場合ハ生産費ヲ餘程材料ノ本ト考ヘラル

○上山滿之進 適當ナル時價ヲ定ムルニ付キテハ生産費ナリト云フ而シテ農商務省ハ大體三十五圓ト見積ラレ、現在ノ米ガ三十五圓マデ騰ルモ不當ナル價格ニ非ラズト考ヘラル、ヤ

○大 臣 價格決定ノ原素ハ初メ申シタルガ如シ、然シ實際ニ於テ一般物價ガ廉イ時ニ一體ノ諸物價ハ原價ヲ以テセザル場合ニ米ノミ三十五圓ト云フ原價ヲ主トシテ行クトキハ米ニ對スル賣手ガ來

ルト思フ政府ガ無理ナル價格ヲ以テ買フナラバ自身ノ必要ナル米マデ持チ來ル是レ實際ニ於テ餘程考フベキナリ、米ノ買入ハ他日ノ用ノ爲メニ買フモノニシテ、其時ノ價格ヲ上グル爲ニ買フニ非ズ同時ニ幾ラ高クトモ米ヲ買フト云フニ非ズ、即チ價格ノ高低ノ差ヲ成ル可ク少ナカラシムル爲ニ上下其ノ適當ナル所ニ決定セザル可ラズ

○上山滿之進 前ニハ價格決定ノ標準ヲ時價ト生産費トヲ主ナルモノトシ今ハ生産費ガ假リニ三十五圓ナリトスルモ諸物價等トノ鈞合ガ餘リ甚シキトキハ必ズシモ生産費マデ買上ズト仍テ甚ダ感フモノナリ、故ニ價格決定ノ基礎ヲ明確ニ其ノ項目ニ對スル材料ヲ戴キタシ

次ニ生産費ヲ以テ買上價格ノ一ノ材料ト爲ストスルモ生産費ト云フコトガ分ラナイ農商務省ニ於ケル生産費ニ關スル材料ニ依ルモ生産費ハ一石六、七圓ノ生産費ノ所モアリ百圓ノ所モアル、大正四年ニ於テハ一石十二、三圓カラ二十五、六圓マデノモノ甚ダ多シ、是レ日本ニ於ケル米ノ生産ノ中堅ナリ斯ノ如キ生産ヲ基礎トシテ米ノ買入價格ヲ定ムルコトハ無意義ナリト思フ

○大 臣 前ノ質問ニ對シテ生産費時價經濟上ノ諸物價ノ關係ヲ土臺トシテ決定スルモノナリ、決シテ生産費ト其ノ米ノ時價ノミニ依ルニ非ズ、經濟上ノ關係モ考慮ス次ニ生産費ハ諸物價ノ高キ時ニハ肥料小作料等此ノ價ガ原價トナル、即チ生産費トナル故ニ始終動クモノナリ、又景氣ノ如何ニ依リテ生産費ニ差異ヲ生ズ故ニ前ノモノヲ以テ今日ヲ見ルヲ得ザルモノナリ、次ニ價格ハ生産費ニ依

リテ非常ナル差アリ同ジ一縣ノ中ニモ餘程差異アリ、故ニ大凡ノ平均ヲ取ル外ナシ從テ今年ハ四十圓來年ハ三十圓ト云フコトニシテ居ルモノナル故此ノ生産ナルモノモ生産費市價又ハ商賣上ノ總テノ物價ヲ參考トスル

而シ此ノ三者ハ常ニ動搖シテ居ルガ故ニ數字ヲ以テ示スコトハ困難ナリ

○上山滿之進 生産費ハ所ニ依リテ非常ニ異ル是等生産費ハ是レガ適當ナリト云フコトヲ定メ得ズト思フ、之ヲ農商務省ガ三十五圓ト決定セラレタル基礎ヲ伺ヒ度シ、私ハ生産費ハ極ク極クザツトシタ參考トハナランモ是レガ主ナル價格決定ノ材料タルヲ得ズト思フ、此ノ疑ヲ解ク可キ材料ヲ戴キタシ

次ニ農商務大臣ハ生産費ヲ主ナル材料トスル趣旨ノ如シ、然ラバ一時ニ世界ノ經濟上ノ景氣狂ヒヲ米ニ限ラズ總テノ物ガ生産費ヲ補フコトヲ得ズ、此ノ場合ニ生産費ヲ見テ重ナル材料ニ供スルコトヲ得ベシトノ疑ヲ生ジ、若シ廉價ナルガ故ニ生産費ニ相當スル價格トナシ、生産者ヲ助ケタシト云フモ米ノ價格ヲ決定スルニ主ナル材料トシテ生産費ヲ定メシモ米ガ非常ニ高クナリタル時ハ生産費ヲ以テ米ノ價ヲ引下ゲザルハ消費者ノ利益ノミヲ顧ミルノ結果ニ陥ル故ニ政府ハ一方ニ偏スルコトヲ恐レ從テ過去ノ生産費ヲ主ナル材料トシテ價格ヲ決定スルハ適當ニアラズト考フ

○大 臣 價格ヲ定ムルニ付生産費ヲ無視スルト云フコトハ餘程困難ナリト思フ、之ヲ度外視セ

ズ價ヲ定メテ現今ノ經濟狀態ト其ノ時ノ市價トヲ主ニ考ヘザル可カラズ、併シ價ヲ定ムル場合ニ生産費ヲ顧慮スル必要ナキ場合ガ起ル、副食物ニモ衣食ニモ生産費ヲ償ハザル場合アリ、總テノモノ、生産費ガ廉價ナル時ニ單リ米價ノミガ生産費ニ依リテ價格ヲ引上ゲルコト、ナレバ非常ニ權衡ヲ失スルニ至ル、人爲ヲ以テ價格ヲ三十五圓四十圓トナシ其ヲ買フコトニナレバ二百萬三百萬石ト云フモ存在スル限り集マルト云フ極端ニ走ルト思フ、斯ノ如キコトハアリ得ベカラズ、今日三ツノ者ヲ原素トシテ價ヲ定メル場合ニ於テモ原價ニ向ツテ釣り上ルコトハ他ノ物ニ對シテ餘程困難ナリ昨年ハ米ノ原價三十九圓カラ四十圓ナリ、然ルニ五十六圓五十七圓高キハ六十圓ト云フニ至レバ農家ニ於テハ原價ヨリ高ク賣リ一方ヨリ見レバ暴利ヲ得ルト云フコト、ナル、斯クスレバ消費者ヲ苦シムニ至ルガ故ニ或ル程度マデ引下ゲル即供給ヲ潤澤ニスル必要アリ、併シ米價が高クトモ低クトモ其時ノ生産費ヲ中心トシテ引付ラル、モノナリ

○上山滿之進 生産費ハ買上價格ヲ決定スル重ナル材料ニアラズト云フガ如クニ解スルノ外ナシ、其ノ意味ハ外ノ種々ノ品物價格モ生産費ヲ切りテ下落ノ狀態ニアリ、米ノ生産費ヲ見テ價格ヲ決スルヲ得ズ其ノ生産費ヲ重ナル材料トシテ價格ヲ決定スルコトヲ得ズ、農商務大臣ノ意見モ同様ト思フナリ

○大 臣 然リ是レハ其ノ時價ガ其内ノ主ナルモノナリ是レガ若シ二十五圓、六圓ト云フモ原價ガ

三十五圓ナルガ故ニ此ノ價ヲ定メテ買フトセバ三百萬石、四百萬石買フテ價格ヲ維持スルコトハ困難ナリ

○上山滿之進 私ガ只今申上ゲタルハ大正十年ニ買フ米ノ價格ヲ決定スル重ナル標準ハ何カト云フ質問ナリ、御答ハ要スルニ、大正十年度ノミノ問題ニシテ生産費ハ主ナル標準ノ一トスルコトヲ得ズト云フコトニ歸着ス、諸物價ノ平均價格ト米ノ平均價格ノ開キガ斯ク大ナルヲ以テ此點ヨリ此ノ程度マデ米價ヲ上騰セシムルモ相當ナリト云フコトニナル如ク了解シタリ其ノ通りナルヤ

○大 臣 一寸今ノ質問ノ要點ヲ伺ヒ損シタリ

○上山滿之進 先ニ農商務大臣ノ答辯ハ大體米ノ買入ノ價格ヲ定ムルニハ第一ニ時價、第二生産費、第三經濟狀態此ノ經濟狀態ト仰セニナルハ恐ラク諸物價トノ釣合ト云フコトナラン、是レ一般論ニシテ大正十年度ダケニテ云フト諸物價ガ生産費ヲ切ツテ下落セル今日ニ於テ米ノミニ付生産費ヲ目標トスルヲ得ズ、時價ハ無論ナリ餘ス所諸物價トノ釣合ナリ、大正十年ノ米ノ買入ハ諸物價ノ釣合ト云フコトヲ基礎トシテ價格ヲ決定ニナルヤ

○大 臣 勿論諸物價トノ關係ハ餘程必要ナル材料ナルガ故ニ時價ヲ考ヘ生産費ヲ考フルナリ、矢張り物ニ依リ此ノ算定ヲ以テ考フルガ適當ト思フ、今日ノ物價モ矢張り之レニ依ラントス

○上山滿之進 今日ノ經濟社會ハ總テ悲境ニ陥リ米ニ限ラズ總テノ農産物、工業品ニシテモ過去ノ生

産費ヲ償ハザルコトハ明瞭ナリ、斯ノ如キ場合ニ米ノ買入レ値段ヲ決定スルニ付テ生産費ヲ主ナル價格決定ノ標準トスルヲ得ズト思フ、農商務大臣モ意見ヲ同ジクスルト思フ

○大 臣 今日ノ價格ノ重要ナル一ツノ點ハ價ガ餘リ激變セザリシ限り一樣ニスルコトニシテ之レ最モ必要ナルコトナリト思フ、例ヘバ政府ニシテ凡ソ二百萬石或ハ三百萬石ヲ買フニ付政府ガ人爲ニテ高價ニテ買入ル、モ買ハザルニ至レバ再ビ下落スルト云フ如キ價ヲ以テ買入ル、ナラバ必ズ失敗スルト思フ、米價ヲ人爲ヲ以テ高價ニ決スルハ非常ナル數量出ヲ來ルヲ以テ縱令三十五圓ニテ買ツタ所デ其ハ名ノミデ無限ニ之ヲ受クルコトヲ得ズ、自然ノ價ハ誠ニ賢明ナルモノニシテ之レガ物價ヲ支配スルモノナルガ故ニ此ノ事ニ對シテハ心配セズ唯時價ニ依リテ漸次ニ餘リ激變ノ生ゼザル様其ノ時期ニ於テ各諮問機關ニ諮リテ爲サバ相當ナルモノヲ得ラル、コト、思フ

○上山滿之進 幾何ニテ米ヲ買フカト云フ實數ヲ伺ハザル爲メ問題益々混雜ヲ來セリ、故ニ敢テ其ノ實數ヲ伺フ、今此ガ通過シタリトスルモ直チニ買入ル、コトヲ得ズト思考スルガ故ニ今日唯今三月中旬此ノ現在ノ狀況ニ於テハ幾何ヲ以テ米ノ相當ナル價格ト爲スヤ其ノ實數ハ如何ニシテ其ノ計算ニ到達スルヤヲ伺ヒタシ

○大 臣 調査委員ヲ構成シ其レニ對シテ案ヲ提出シ此ノ會ニテ適當ト認メタルモノガ政府ニ一致シタルモノナレバ其ノ價格ニ依リテ買入レタシ

○上山滿之進 其ハ承知シテ居レリ、唯今日ハ調査會ニ御諮問ニナルト假定シテ今日唯今農商務大臣
ガ適當ナリト考フル米ノ買上價格ヲ伺ヒタシ

○大 臣 政府ハ手形ヲ以テ買入ル、モノナレバ其ノ時ノ時價ヲ土臺トシテ金利ヲ考ヘ且ツ此ノ位
ナレバ買ヒ得ルト云フコトニ付價ヲ定メ時ヲ決メ、是レニ依リテ買ヒ入ル、故ニ其ノ時ノ時價ガ最
モ重キヲ爲ス時價ト餘リ價格ヲ懸隔ナカラシメ市場ヲ混亂セシメザルヲ可トス故ニ此ノ運ビニテ買
入ル、ナリ

○上山滿之進 今日ノ現在ニ於テハ幾何が適當ナル最高價格ナリト考ヘルヤ

○大 臣 其レハ分ラズ

○上山滿之進 然ラバ最高價格ヲ定ムルニハ時價ト生産費ト經濟狀態ト云ハル、ハ諸物價トノ鈞合ト
解釋シテ異論ナシト思フ、抽象的ニ大正十年ノ米ヲ買入ル、ニ何ヲ標準トセラル、カ時價ヲ見ル
ハ當然ナリ、大正十年ノ米ノ生産費ハ可成リ高シ同時ニ他ノ諸物價モ高キ生産費ヲ拂フテ廉ク賣
ラネバナラヌ狀態ナルガ故ニ大正十年ノ米ヲ買フニ當リテ大正九年ノ生産費ヲ重ナル材料トスルヲ
得ズ、然ラバ大正十年ノ米ノ買上價格決定ノ重ナル標準ハ諸物價ノ鈞合ガ唯一ノ基礎材料ナリト思
フ、故ニ其ノ基礎材料ヲ戴キタシ

○大 臣 私ガ此處マデ云フコトハ申難シ分ラズト云フハ今日ノ時價ハ二十六圓七圓ナリ是レハ日

本銀行ノ指數カラ調べレバ三十五圓位ガ一體ノ物價ノ高低ト同ジ割合ナリト云フ所以ナリ、次ニ假
リニ今ノ時價ガ二十六圓是レニ物價ノ指數ガ三十五圓ヲ生産費ハ種々平均シタ所矢張り三十五圓ナ
リト假定スレバ、三十五圓マデハ實行セントス、併シ二十六圓ヲ三十圓ニテ買フテ賣手が充分アレ
バ三十五圓ヲ止メル、之ニ反シ三十圓ニテ賣手少ナク買フヲ得ザル場合ハ三十一圓或ハ三十二圓ト
買上グルト云フコトニナリ、其ノ時ニ適當ト決定シタル所ニテ買フモノナリ、是レハ唯買手ト賣手
トニ依リテ數量ガ幾何ト決定スルモノナルガ故ニ之ヲ政府ガ買換ヲ決定スルモ市場ニ賣手ナケレバ
高ク買フ必要生ズ、併シ餘リ不當ノ價トナリ買入ガ政府ノ不利トナリ又無理ニ買ヒ置カバ下落スル
ト云フ事情ガアレバ或程度ニ止ムル外ナシ、故ニ之レヲ豫メ決定スルコトハ餘程困難ナリ

○上山滿之進 農商務大臣ノ答辯ニ生産費ハ三十五圓ナルモ本年ハ之レニテ買フ可キニ非ズト云フ意
見ト思ヒタルニ如何ナル程度ニ買ヒ入ル、カヲ問ハバ價格決定ノ重ナル材料ノ一ト一般物價トノ比
較ナリト此レヲ基礎トシテ農商務大臣ガ決定セラル、最高價格ハ三十五圓ト云フ高キモノニ非ラザ
ル如ク了解セシガ、一般物價ト比較シテ三十五圓ガ鈞合フモノナリトセバ生産費ノ三十五圓ト同ジ
數字トナル故ニ三十五圓マデハ買入レル、様ニ思フ、一般物價ト比較シテ米ノ價ガ三十五圓ガ適
當ナリト云フ調ハ戴キタリ、先刻ノ話ハ此レニ非ズシテ他ノ標準ヲ考ヘラル、様ニ解シタリ其ノ調
ベガアレバ種々質問ヲスル必要アリ、一般物價ト比較シテ米價三十五圓ナリト云フ材料ハ明治四十

二年カラ大正二年マデ七年間ノ平均ヲ取り之レヲ基礎トシテ現在ノ物價ノ指數ト米價ノ指數トヲ比較シタルモノナリ、何故ニ此レヲ基礎トナセルヤ日本銀行ノ物價指數ハ大正三年十月ガ基準ナリ、其ノ基礎ニ一般物價ノ平均指數ト米價ノ指數トヲ比較シタルモノヲ農商務省ノ調ノモノニ比較スレバ非常ナル差アリ、何故ニ日本銀行ノ調ガ惡シク農商務省ノ調ガ可ナルヤ、農商務省ノ調ハ米ガ一般物價ヨリ二割以上安クシテ日本銀行ノ基礎調査農商務省ガ基礎ニセラレタ調査材料ニ依レバ一割ノ差アリ斯ノ如キ統計ハ如何様ニモ出來ルモノナリ、故ニ統計ヲ新ニ作ルノニハ相當ナル理由ガ無ケレバナラス、其ノ理由ヲ伺ヒ度シ

○大 臣 數字ニ付キテハ農務局長ヨリ説明スルガ、三十五圓ト云フコトニ付是レガ大ニ信憑スベキモノナリト云フ意味ニ私ガ陳述シタルニ非ズ、唯一體ノ物價トノ釣合ニ於テ幾何ナリヤト云フニ日本銀行ノ調査ニ依レバ諸物價ニ比シテ米ハ三十五圓位ナルト云フコトヲ述ベタルニ過ギズ

○上山滿之進 大正十年ニ米ノ價格ハ幾何迄ヲ買フト云フ見當ヲ付ケ得ル詳シキ材料ヲ戴キタシト云フハ理由茲ニ存ス、幾何迄買フト云フ事ヲ承リタケレドモ之レハ望マレズ、故ニ之レヲ判斷シ得ル材料ヲ戴キタシ、是レ先刻カラ申上ゲタル要旨ナリ

○大 臣 政府ハ三十五圓マデ買フト四十圓マデ買フト云フコトヲ得ズ、若シ斯クスレバ二十七圓八圓ニテ賣ル者ナシト思フ若シ之レヲ云フ人アラバ責任ヲ知ラヌ人ト思フ

○岡本局長 農商務省ノ調ハ感心セズト云フコトニ對シテハ農商務當局ニ於テハ物價指數ニ付テハ以前ヨリ注意シテ居リ、米ノ如キハ日本銀行ノ三十三年十月ノ第一次ノモノヲ以テ基準トセザレバ高キ時ニテ此ノ時ニ於テスルハ不可ナリ、成可ク平年ニシテ長イ間ノ平均ヲ取り之レヲ基準トスルヲ可トス

此ノ方針ヨリ三十三年カラ引續キ日露戰爭アリテ此ノ影響ヲ受ケタリ、故ニ先ヅ平年ト見ル明治四十年ヨリ大正二年頃マデハ甚シキ變動ヲ受ケザルガ故ニ其ノ平年ト見ラル、七年ノ間ノ平均ヲ日本銀行ノ指數カラ換算シテ平均スルコトガ最モ可ナリト爲ス統計ハ基準ガ大切ナルガ故ニ一時ノモノヲ捕ヘルコトハ一ツノ見方ナレドモ米ノ如キハ成可ク長イ平均ヲ見ルヲ可トス、他ノ諸物價モ之レニ依ル其ノ以後ノ變動ハ矢張り日本銀行ノ指數ニ依レリ、斯ノ如クシタルハ何モ他ニ意味アルニ非ラズ基ク所ハ日本銀行ノ指數ニシテ唯平均ヲ取ルカニ於テ右ノ方法ニ依レリ

○上山滿之進 只今ノ統計ノ取方ハ私ニ納得スルコトヲ得ス

大臣ハ幾何ニテ買フト云フコトハ非常ニ大事ナルコト、思ハル、モ生産費カラ見テ三十五圓ハ一般ノ諸物價ヨリ見テモ三十五圓ト云フコトガ基礎トナレルヲ此ヨリ世間ニテハ三十五圓ニテ買フト了解セラル、コトハ爭ハレズ私ノ心配スルノハ此ノ點ニ非ズ、唯考ヲ願フハ大凡此位マデハト云フ見

三月十八日

○上山滿之進 昨日ノ質問ハ暫ク措キ根本ノ食糧政策ト云フ見地カラニ、三ノ點ヲ伺イタシ、第一米ノ買入レ賣出シノ時期數量價格ヲ決定スル方法ニ付キテハ政府ノ計畫ニテハ本法案ノ通過ノ曉ニハ委員會ヲ設ケテ之ヲ決定スルト然レドモ斯クスレバ容易ナラザル弊害百出ス、即チ米ノ生産者消費者者ハ常ニ不安ノ念ニ堪ヘズ、私ノ想フ所ニハ問題ノ起リタル場合ニ於テ人ヲ集メテ見タ所デ正鵠ヲ得タ判斷ガ出來ルモノニ非ラズ故ニ何レ此ノ原案ハ農商務省ヨリ提出セザル可ラズ併シ道理アル根據ヲ有スル原案ヲ出スハ差當リ不可能ナリト思フ

即チ數量三百萬石ト云フ研究ハ極メテ怪シ價格ハ昨日伺ヒタル限リニテ一定ノ基準アルト云フコトヲ發見スルヲ得ザルヲ以テナリ、而シテ委員會ノ人々ハ農商務省ノ人々ヨリ材料ヲ有セズ一時的ノモノナレバ弊害ハ一時ナレドモ根本法ナレバ毎年ニ非ズトスルモ二三年間生産者、消費者ヲ脅威シ米價ノ暴騰、暴落ノ平生平準ヲ得サセル目的ガ返リテ紛亂ヲ來スコト、ナル、茲ニ到リテ委員ノ身邊ノ危險ヲ感ズルコトガ生ズベシ、且ツ消費者ノ自制心ノ無キ多數ハ如何ナルコトヲ爲スニ到ルヤ想像シ難シ此點ヨリ見テモ此ノ方法ハ適當ニアラズト思フ、私ノ考ニハ自動的標準ニテ行クコトヲ

希望ス、是レ定メラレザル標準ニ非ズ、此ノ標準ニ依ルモノハ多少ノ欠點ヲ伴フテ元來經濟的ニ反シテ米ノ釣上ヲ爲スハ無理ナリ、然レドモ常ニ生産者及消費者ヲ不安ノ地位ニ置キ又非常ナル妨害ヲ伴フ委員會ノ制度ニ勝ルコトハ明ナリ、此ノ如キコトハ攻究セラレシヤ之レガ攻究セラレザリシトスレバ其ノ一方面ヲ攻究セラレ最モ宜シキモノヲ選ブ意ナキヤ

○田中次官 此ノ價格ヲ決定スルコトハ非常ニ困難ナレバ同感ナルモ、之レヲ或少數人ニテ決定シテ農商務省ノミデ責任ヲ負フカ或ハ委員ノ如キモノヲ設ケテ廣ク知識ヲ集メルガ可ナルカハ自ラ議論ノアル所ナレドモ政府ハ委員ヲ設クル意味ヲ以テ此ノ法案ヲ提出シタルモノナリ、此ノ法案ガ實行セルラ、ニ付キテハ機敏ト云フ點ニ於テ缺クル所アルモ差支ヘナシ、遲鈍ニテモ極メテ慎重ナ態度ニテ廣ク知識ヲ集ムル委員制度ニテ本案ヲ決定スルコトガ是ナリト認ム、即チ廣ク各般ノ事情ヲ斟酌シテ此ノ價格ヲ決定スルコトヨリ外ナシ、若シ幸ニ方式的ノコトアリテ自動的ニ誰レガ見テモ買ヒ又ハ賣ルト云フ價格ガ方程式ノ如ク行カバ其ノ法ヲ採用スルモノト思フ、委員會ハ價格ヲ決定スルニ於テ限定セラレズ故ニ名案アラバ教示アリタシ、唯今ノ所別ニ法案モ提出セラレズ唯各般ノ事情ヲ參酌シテ之ヲ定ム、次ニ心配サル、點即チ數量ニ付キテハ現在ノ所不充ナルコトヲ認ム併シ大體ヨリ云ヘバ年々ノ米ノ數量ノ多少ニ付キハテ皆其ノ道ノ多年ノ經驗アリテ事情ヲ承知シテ居ル人アリ、其ノ間ニ自ラ定マル所アルモノニシテ正確ト云フヲ得ザルモ大體餘リ有リ不足アル場合ヲ

判定シテ法律ノ實行ヲ期スルト云フコトニ付キテハ何等差支ナシト認ム

九〇

○上山滿之進 農商務省ニ於テハ自動的ノ基準ヲ設ケルト云フコトヲ研究セシコトアリヤ、アラバ如何ニナリシヤ伺ヒ度シ、委員ガ何モ出サヌト云フガ是レハ面倒ナル問題ナルヲ以テ意見ヲ出スト云フコトハ實際不可能ナリ、矢張農商務省ヨリ原案ヲ提出セザレバ根據トナルヲ得ズ、農商務省ニハ斯ノ如キコトヲ研究セシコトアリヤ

○田中次官 本問題ニ關シテハ私ハ協議ニ預リシコトナシ然レドモ、其ノ以前ニ遡ツテ何等カ此點ニ關シテ講究セラレシヤ否ヤハ取調ノ上申述ベシ

○上山滿之進 然ラバ農商務省ニ於テハ價格決定ノ基準ニ付キテハ念頭ニナキコトニナル、併シ一定ノ基準ヲ設ケテ其ノ基準ニ從テスルコトノ可ナルハ問題ニ非ラズ、然ルニ此レヲ顧ミズ其時々ニ行當リテ價格ヲ決定シ、一定ノ根據ヲ備ヘズ、委員會ニ掛ケテ意見ヲ闘ハシテ價格ヲ決定スルト云フ事ハ不明ナリ

○田中次官 私ノ申上ゲタルコトハ行當リのニ決セントスル意味ニアラズ、何カ算盤ノ上ノ方程式ノ如キモノアリテ自然天然ニ時計ノ針ノ示スガ如ク價格ヲ示ス可キ模範ヲ考ヘラル、如ク見ユルヲ以テ斯ノ如キコトハアリ得ズト云ヒタルニ過ズ、併シ二年、三年前ニ付キテ取調ノ上申述ル「オートマチック」ノ價格算定法ハ過去ニ於テモナカルベシト思フ、農商務省ニ於テハ之レヲ決定スルニ各

般ノ事情ヲ參酌シテ時ノ相場、生産費等ニ考慮ヲ要スル場合モアルベシ又一年先ニ代價ヲ支拂フト云フ掛置ノ形ニテ爲ス場合ニハ現金ヲ以テスル場合ト大ニ價格ノ違フモノナリ、故ニ種々ノ點ヲ參考トシテ價格ヲ決定スルモノナリ

○上山滿之進 行當ルマ、ニ價格ヲ決定スルト云フコトハ一定ノ基準ナクシテ其時ノ考ニテ決定シテ行クト云フ意味ニ申述ベタリ、次ニ私ハ時計ノ針ノ如ク正確ニ間違ナク廻リ來ルヲ理想トスル理想ハ實現シ難シ、併シ其ノ理想ニ近キ或ル標準ハ出來ルト思フ、大正四年ニ米價調節調査委員會ヲ開キシ時、常平倉案ガ確定ヲ條件トシテ之レガ問題ノ討究ヲ打切りシモ今日ノ如ク常平倉案ガ實行セラレタル以上ハ其ノ實行方法ニ付大イニ攻究ヲ要スルモノト信ズ、研究ノ積ミタル上ニテ提出ス可キ性質ノモノナルモ既ニ提出セラレタル以上ハ此ノ制度ヨリ生ズル生産者及消費者ニ對シテ此ノ制度ノ運用ニ付生ズル各種ノ弊害ヲ如何ニシテ除去スベキカ伺ヒタシ、數量ニ付キテモ一定ノ基準ナシニ計算スレバ實際ニ於テハ數字ニ合ハザル結果ヲ生ズ、委員會ニ於テモ消費者ノ側ト生産者側トアリテ各自ニ有利ナル推測ヲ爲ス結局頭數ニテ決定スルコトニナリ之レニテ賛成シ難シ、農商務省ガ三百萬石ヲ押フル根據ナシト思フ故ニ一定ノ基準ヲ設ケルコトガ極メテ必要ナリ

○田中次官 基準ノ意味ハ如何ナルモノナリヤ、此ノ中ニハ一般物價米ノ時價生産費ヲ加ヘテノコトナルヤ總テ之レ以外ニ基準ヲ考ヘラル、ガ基準ノ正體ヲ伺ヒタシ、次ニ三百萬石ノ買入ニ付キテハ

九一

其ノ時期方法數量等ヲ委員會ニテ決定ス、併シ三百萬石今年ハ餘ルト見テモ全部之レヲ買フコトヲ即座ニ決定スルニ非ラズ、順ヲ追フテ十萬石、二十萬石ト云フ様ニ買フ世ノ中ノ狀況ニ應ジテ委員會ニテ決定ス、一度ニ一年間ヲ通ジテノ計畫ヲ決定スルコトハ至難ニシテ且ツ危險ナリ、此ノ法案ヲ實施スルモ此ノ方法ニ依ル

○上山滿之進 重大ナル問題ヲ一時ノ模様ニテ決定スルコトハ甚ダ不安ナリ、相當ノ基準ヲ必要トス基準トハ物價ト米價トノ關係勞銀ノ關係ニ通貨及信用證券ノ關係、生産費等多少ノ參考ニ供シテ各種ノ材料ヲ基礎トシテ或ル一定ノ基準ヲ定メ之レニ依リテ米ヲ買入レ又賣出ス、若シ然ラズシテ農商務省ノ其ノ時ニ應ジテ決定スルトスレバ從業者モ消費者ニ如何ニスレバ可ナルヤヲ知ラズ、其ノ結果米ノ暴騰暴落ヲ防グコトヲ得ズ反リテ之ヲ助長スルコト、ナル、故ニ此ノ一定ノ基準ハ農商務省ニ於テ是非設ケザル可ラズ、委員ガ議論ヲ上下シタル結果多數決ニテ定メルト云フコトハ此ノ案ノ重大ナル欠點ナリト思フ

○田中次官 基準トハ金利、生産費、物價等ナリトノコトナレドモ是等ハ皆斟酌事項ニシテ一ツノ基準トナルトハ思ハズ御答ノ趣旨ハ勞銀トカ金利トカ云フモノヲ何カ一定ノモノニ定メテ之レニ當テ行カントスルモノナリヤ又數字のニ生産費ヲ考慮ノ中ニ置クカト云フハ置クト云フ置キ方ニ何カ特殊ナル考アラバ答フルコトモ出來ル生産費ハ重大ナルコト、認メ居レリ

○上山滿之進 其ノ基準ノ決定スルノ意思アリヤ、若シ決セントスレバ容易ニ決定シ得ルナリ、一定ノ基準ナクシテ決定セバ非常ニ食糧政策ノ將來ヲ憂ヘザルヲ得ザルナリ

○田中次官 基準ヲ生産費、勞賃金利ナリトセバ是レ重大ナル要件ナルヲ以テ委員會ノ案ニ付スルトキハ其ノ當時ノ状態ヲ詳細ニ調査シ之レヲ材料ト爲ス、此レ諸般ノ基準ト云フ意味ナラバ必要ナリ○上山滿之進 物價ノ變遷指數ノ關係ハ基準ニ非ラズ、物價ノ平均指數ト米ノ指數トヲ差引キシタル場合ニ米ガ一般物價ヨリ今日ハ是レ丈ケ高ク或ハ廉シト云フコトガ基準トナル、是レハ食糧政策ノ根本ヲ立ツル常平制度ヨリ採用スル上ニ於テハ大切ナル問題ナリ

○田中次官 農商務省ニ於テハ基準ヲ確定スルコトヲ考ヘズ、併シ價格ヲ決定スル諸般ノ材料ハ吾々ノ考フルモノト一致ス而シテ其ノ時ノ事情ニ依リテ取捨ス可キ事情生ズ他ノ物價ガ何割下落セルヲ以テ米ハ何割下ゲザル可ラズト云フコトヲ確定シ置クコトハ反リテ禍ヲ惹起スルモノト思フ、又農商務省ノ考ガ常ニ委員會ヲ通過スルガ如ク云フモ然ラズ委員會ノ慎重ナル考慮ノ結果定リタル案ヲ希望シ農商務省ノ決定セルモノヲ委員會ニ盲從セシムルコトハ望マズ

○上山滿之進 根本ノ材料ハ同様ナレドモ、農商務省ニ於テハ其時ノ考ヘニテ決定セントシ私ハ其ノ材料ニ豫メ相當ノ基準ヲ定メテ之レニ依ルヲ可トス、然ラザレバ此ノ食糧政策ノ根本問題ノ解決ヲ得ズ

○上山滿之進 常平制度ヲ實行スルニハ外國米專賣之レニ伴ハザレバ其ノ效果ヲ發揮スルヲ得ズ、然ルニ今度ノ法律案ニハ外國米專賣之レニ伴ハズ、外國米ガ日本ニ出入スルヲ政府ガ「コントロール」シ得ル意味ニ於テ外國米ノ專賣ヲ必要トス、政府ハ外米專賣ヲ爲サズシテ輸入税ノ増減ニ或ハ輸入ノ制限外國米ノ買入等ヲ以テ實效ヲ舉グルト説明ス然レドモ斯ノ如キ制度ハ其ノ必要アル時期ニ用ヲ爲サズ、即チ今日勅令ヲ發シテ直チニ其ノ日ニ日本ノ港ニ入り來ルヲ止ムルヲ得ズ、其他保税倉庫ニ既ニ到着シ居ルモノアリ、輸送中ノモノアリ產地ニ於テ既ニ買付ケタルモノアリ、是レ等ハ皆輸入税ノ安キヲ目當テ、爲セルモノナレバ急ニ輸入税高キ方ニ持チ來ルヲ得ズ、故ニ高キ輸入税ヲ課スルヲ得ズ、安キ輸入税ヲ許サザルベカラズ斯ル場合ニ一部ノ米ガ這入り來ルハ非常ニ内地米ノ相場ニ影響ヲ來ス、故ニ一時ニ之ヲ止メザレバ效果ナシ、輸入税ヲ増スコトハ數ヶ月後ニ上グルコト、ナル、又米ノ高價ナルガ故ニ輸入税ヲ減ズルモ效果少シ大體ノ米ノ相場ヲ見テ入り來ルモノナシ總體外國米ノ注文ハ大概二月頃ニシテ問題ノ起ルハ是レ以後ナリ、一昨年ノ如キ百五十萬石非常ナル苦シミヲ以テ買ヒタルモ結局食糧トナラザルガ如キ米ヲ態々買ヒタル結果ニ陥レリ、之レ輸入税ノ増減ヤ輸出入ノ制限或ハ政府ガ外米ヲ買フコトハ急ニ應ズルコトヲ得ザルヲ證明スルモノナリ外米ヲ買入ル、コトヲ以テ、日本米ノ問題ヲ解決スルコトヲ得ズト云ハル、モ外米ハ日本食糧問題ニ大ナル關係ヲ有ス性質ハ違フモ食糧ノ需要供給ニ重大ナル關係アリ、斯ノ如キモノヲ自由ニ出入

セシムルノ食糧政策ノ根柢ニ動搖ヲ來サシム外國米專賣ハ内地米ノ價格ヲ脅威スルガ故ニ生産者ハ好マザルモ消費者ハ政府ガ相當ニ外米ヲ用意セバ生活ハ安全ナリ、併シ政府ノ用意スル米少ク外米ヲ買入ル、モ追付カザル場合ニハ消費者ハ非常ナル脅威ヲ受ク、此度ノ案ハ米價安キ爲メニ生産者ニ付キテハ考慮スルコト切ナルモ消費者ノ立場ヲ考フルコト少ナシ、即チ外國米ノ專賣ニ注意ヲ拂ハザレバ懍ラザルヲ以テ政府ノ意見ヲ伺イタシ

○大 臣 日本ノ米ハ多クシテ市場比較的少シ、故ニ其ノ豊凶ニ依リ經濟社會ニ重大ナル影響ヲ及ボシ價格ノ高低甚シ、從テ國民ノ生活ヲ脅シ、經濟上ノ變動ヲ來ス虞アリ、而シテ日本ノ米ハ人口ノ進ムニ隨テ不足ス、平時ノ作ニ於テ二三百萬石不足スト云フ状態ナリ、故ニ米ハ常ニ不足スト云フ考ニテ之レヲ設ケテ米ヲ買フナリ而シテ米價騰貴シ消費者ヲ脅シテ國民ノ不安定ヲ來ス、サレバ米ノ在ル時ニ用意シ他日無キ場合ニ準備ヲスルモノニシテ、價格ノ調節ノ爲メニ非ズ、而シテ外米ハ之ヲ一般ニ消費セシムルコトハ困難ナリ、即チ日本ニ於テハ特殊ナル米ノ品質ニ依リテ生活スルト云フ慣習アリ、此ノ慣習ヲ打破シ、外米、麥、芋ヲ食フコトニシ成可ク之等ヲ利用スル途ヲ圖リ度シ前内閣ニ於テモ茲ニ力ヲ注グリ、今ノ政府ニ於テモ同様ニ之レヲ努メ、他日缺乏シタルトキニ外米ヲ以テ補フ外米ガ安ケレバ買フ者多ク、他日常平倉ノ必要ナキニ至ルベシ、印度以東總テ米產地ナルガ故ニ之レヲ常食トスルニ至ラバ常平倉ノ必要ナクシテ過不足ヲ調節シ得ベク、米穀法ヲ作ル必要

ナシ、然レドモ今日ニ於テハ之レヲ望ムヲ得ズ、價格ヲ維持スルニ米穀法ノ必要アリ、又斯クシテ一體ノ價格ヲ崩スコトハ生産地ガ耕作ヲ進ムコトヲ得ザルニ至リ、大ニ考慮セザルヲ得ズ故ニ此ノ案中ニモ關係ノ増減米ノ輸入ノ制限ヲモナシ得ルモノナリ、米價安キガ故ニ買フ者ハ貧民ノ部類ニ屬ス、之レヲ常食トセズシテ間食ノモノニスルコト多キヲ以テ矢張り自然ノ相場ニ任シテ商賣人ノ手ニ出入スル程度ニ止メ政府ガ關稅ヲ増減スルハ極端ニ上リ又ハ下リタル場合ナリ

三月十八日午後

○上山滿之進 外國米ヲ以テ内地米ノ分量ヲ調節スル必要アルハ政府之レヲ認ム、關稅政策輸出入ニ對スル政策ハ外國米ヲ以テ内地米ノ分量ヲ調節スルニ外ナラズ併シ今ノ法律案ニテハ此ノ目的ヲ貫徹スルコトヲ得ズ、過去ノ實歴ニ於テモ其ノ必要ノ生ジタル場合ニ此ノ法案ニ認メラレタル手段ガ法ニテハ到底目的ヲ達スルコトヲ得ズ、是レ外國米ハ專賣ノ必要アル所以ナリ、又米ヲ買フト云フハ不足ヲ生ジタル年ノ準備ナリト云フテ凶年ガ二年續キタリトスレバ來年ノ不足ハ本年買入レタル米ヲ以テ補フモ其次ノ不作ヲ補フ米ノ貯藏ナキニ至ル其ノ時ニ外米ヲ買フト云フトスルモ過去ノ實歴ニ於テ斯ノ如キ時ニ差掛カリ外國米ヲ買フ政策ハ常ニ失敗スル此ノ失敗ヲ繰返シタルトキハ政府如何ニスルカ

○大 臣 今年米ヲ買入レ、明年不足スレバ其ノ米ヲ以テ補フ而シテ買入レタルモノ皆無ニナリ其

ノ翌年尙ホ凶作ナリトスレバ副産物ノ獎勵ヲナシ之レト相俟テ外米小麥其他食糧トナルモノヲ外國ニ仰ギテ供給セントス又外米ノ買入ニ付既往ハ失敗セリト云フモ失敗トハ認メズ、勿論完全ニハ非ラザルモ目的ハ達セリ、即チ大正七年ハ米不足シ大正八年モ尙ホ不足セリ其ノ不足ニ當リテ政府ハ外米ノ輸入ヲ圖リ之レヲ金融ノ上ニ付テモ船腹ノ上ニ付テモ種々ノ事ヲ爲シ外米ノ入ルコトヲ努メタルガ大正八年五月ヨリ六月ニ掛ケ段々外米モ高クナリ、内地ニ於テ四十二、三圓ノ米ガ騰貴シテ五十五、六圓トナリ外米ニ於テモ商人ノ手ニテハ買入ル、ヲ得ズ、故ニ政府ノ手ニテ約百五、六十萬石ヲ六月ノ月ヨリ買ヒ始メテ六月ヨリ次ノ端境迄米ハ豊富ナルヲ公表セリ、幸ニ八年ノ此ノ端境期ニ至リテ別段ノコトナシ而シテ大正八年ニ相當ノ收穫アリテ安定ヲ見ルニ至リタリ、政府ト民間トノ買入レタル外米ハ四百五、六十萬石ナリ、斯クシテ不足シテ不安ナル状態ヲ今日ノ如ク安定シタリ故ニ政府ニ於テハ此ノ方針ニ付專賣ニスルト云フコトヲ少シモ考ヘズ然ルニ食料ニナラザルモノヲ買入レタリト云フモ之レハ一萬石二萬石ト云フ様ナ數ニハ上ラズ

○上山滿之進 凶年ガ二年續キ貯蓄米ガ無クナリタル場合ニ外國米ヲ專賣トナサレバ如何ニスルヤノ質問ナリ、答辯ニ依レバ斯ノ如キ方法ニ於テハ此ノ米穀法案ニ依テ解決サレズ、從來ノ通りナリ即チ非常ナル場合ニ於ケル政府ハ苦勞ヲ見タルモ其ノ效果ハ苦勞ヲ償ハズ結局米ノ不足ノ爲ニ高價ナル米ヲ買ハザル可カラズ、而シテ輸入税ノ増減輸入制限ハ從來モ行ハレタルモノナリ新タニ立テ

ラレタル手段ナシ故ニ米ノ非常ナル不足ヲ生ジタル時ニ外米ヲ以テ此ノ分量ノ調節ヲ爲サル可ラズ而シテ新シキ方法ヲ以テ處理スルヲ得ズ、從テ消費者ノ爲メニ深ク考ヘザル結論ニ到達セザル可ラズ

○大 臣 此ノ案ハ重ニ消費者ヲ主トシテ作成セルモノナリ、故ニ法案ヲ作ルモ從來ト甚タシク異ルコトナシ即チ大正四年ハ米多クシテ安シ故ニ政府ハ米ヲ買入レ米ノ價格ヲ維持セリ、大正七年ニハ米高クシテ米少ナカリシ故ニ米ヲ入ル、途ヲ採レリ、大正八年ハ米少クシテ外國ヨリ仰ガザル可ラザル事情トナレリ故ニ政府ハ民間ニ買ハシムルト同時ニ政府ハ其ノ不足ヲ補ヘリ斯ノ如ク其ノ時ニ於テ或ハ買ヒ或ハ外國ヨリ買入ル、ガ如ク、臨機ノ處置ヲスルハ當然ナリ、豊凶ニ依リテ過不足起リ高低甚シ故ニ法律ヲ定メ之レガ調節ヲ圖リ餘リ過不足ナキ様餘リ高低ナキ様ニスルヲ可トシテ爲シタルナリ

○田中次官 内地米ノ需要供給ノ調節ニ付キテハ外米ヲ重ク考ヘザル可ラズ、之レニ付キ專賣ニ依ラザレバ非常ニ時機ヲ失シテ非常ニ困ルコトアルベシトノ憂慮ナルモ、私ハ之レヲ專賣ニスルト否トニ付大體ハ變ラズト思フ今度食糧局ガ新設セラレ常ニ内外ノ米ノ供給需要關係ヲ調べテ居リ而シテ本案ニ依リテ適當ナル處置ヲ取り得ル權能ヲ有スルガ故ニ機ヲ失スルハ當局者ノ責任ナリ外米ヲ專賣トスルモ外米ノ消費ト云フモノハ非常ニ不同ナリ、即チ二、三十萬石ヨリ三、四百萬石ノ開キアリ

故ニ此ノ需要ノ狀況ヲ始終考慮シテ日本ニ果シテ幾何ノ米ヲ要スルヤヲ考ヘザル可ラザルヲ以テ非常ニ困難ナリ、而シテ不斷ノ場合ニ於テハ少シモ政府ニテ爲スト變ラズ唯非常ナル場合ニ於テ此ノ法案ヲ以テ前以テ買入ル、途ハ付クモノナリ、專賣ニスルニ非ラザレバ時機ヲ失スルコトナカル可シ此ノ法案ハ常時働クモノニ非ズ剩餘米ヲ凶作ノ年ニ備ヘル精神ナルガ故ニ外米ヲ毎年恒久的ニ專賣ニスレバ其間ニ煩瑣ナル手續ト費用トヲ要シ輸入業者等ノ賠償ト云フ複雑ナル關係アルガ故ニ此ノ法案ノ程度ニスルヲ可ナリトス、本案ハ政府ガ劃一的ニヤルノ趣旨ニ非ラズ價格ノ暴騰暴落スルノ幅ヲ狭クシ之レニ應ジテ外米ニテ調節スルコトハ時ニ臨ンデ適當ニヤリ得ラル

○上山滿之進 農務局長ハ外米ヲ專賣ニスレバ種々ト故障ヲ生ズト云フモ私ハ斯ノ如キ故障ナシト考フ鹽ヤ煙草ノ如ク徹底スレバ知ラズ日本ノ内地ニ入り來ル外國米ヲ「コントロール」スルト云フコトニ止ムレバ其ノ外米ガ何處ニアルモ可ナラント云フ程度ノ專賣ナルガ故ニ困難ナルモノニ非ラズト思フ而シテ凶年ガ二年續クコトハ過去ニ於テ例多シ、斯ノ如キ場合ニ平素準備ヲ爲シ置キ相當ノ米ヲ供給セザル可ラズ分量ハ兎角或ル分量ヲ準備シ置カザル可ラズ然ラザレバ急ニ應ズルヲ得ズ、是レ外米專賣ノ一ツノ趣旨ナリ、商人ハ自己ノ利益ヨリ割出スモノナルガ故ニ商人ノ自由ニ委スルヲ得ズ、仍テ折角米價調節ト云ヒ米量調節ト云フモ米穀法ノ施行ハ凶年ノ場合ニ不完全トナル米ガ餘リタルトキニ此ノ法ニ依リテ買入ル、コトナレバ其ノ結果生産者ガ非常ニ保護セラレ消費者ハ願ミ

ズ私ハ外米專賣ヲ以テ一ノ事項トシテ平素相當ノ外米ヲ有スルコトガ必要ナリト思フ、農務局長ハ買ハントスレバ直チニ買ヘルト云フモ證券ニテハ買ヒ得ザルナリ、尙買フ時期ハ十一月ガ外國米ヲ取入レ一月、二月頃ガ買付ヲ爲スヲ普通ノ例トス、故ニ議會開會中トナリ、米ヲ買入レントスル状態ニ立至リシ時ニハ豫算ガ間ニ合ハズ例ヘバ本年凶年ニシテ三百萬石ヲ買ヒ入レタシトスルニ之レヲ以テハ充分ナラザル場合ハ本年ノ暮來年ノ一、二月マデニ外米ヲ買ハザレバ追ヒ付カザルコト、ナル、然ルニ政府ニ於テ米ニ關スル豫算ニ外米買入レノ豫算ナシ、故ニ外米ヲ買フトスルモ必要ナル時機ニ買入ル、コトヲ得ズ、從來ノ通リトナル豫算ノコトニ付伺ヒタシ

○岡本局長 米ガ本年不足スルヤ否ヤハ端境間際カラ分ル外米ノ收納時期ハ十二月カラ一月ニシテ買付クルハ多ク年末ニシテ早キハ十一月ナリ而シテ積ミ出スハ早クハ二月、三月ヨリ端境期前後ハ豫算ノ編成期ナリ、故ニ概算ヲ早く出セバ其時ニ充分間ニ合フ然ラズトスルモ追加豫算ヲナスモ間ニ合フト思フ、其等ノコトハ其ノ局ニ當ル者ハ豫算ハ形式ノ問題ナルガ故ニ困ル場合アルモ大體ニ於テ此ヲ運用シ得ルト思フ

○上山滿之進 外國米ヲ入ル、場合ハ何日ニテモ波瀾焦眉ノ急ニ迫リタル場合ナリ、豫算ナキガ故ニ買フヲ得ズ責任支出モ出來ズ殊ニ之レガ總豫算ニ含マル、コトニナレバ三月末ニナラザレバ金ガ出來ズ從テ翌年契約ハ勿論出來ズ議會ガ濟ム頃ニナリテ注文ヲ發スルト云フ状態ニナル故ニ外國米ヲ

買入レヲ其ノ米ノ不足ヲ補フコトハ此ノ法案ニテハ爲シ得ザルコトニ歸着ス次ニ米ノ價格ナルガ一般物價ト比較シテ三十五圓ヲ相當トスト農商務省ニ於テハ之レヲ認ムルヤ

○大 臣 豫算ハ二億圓ナリ、假リニ三百萬石今日這入ルトスルモ、一億圓以下ノ金ガアレバ可ナリ故ニ之レヲ特別會計ニシテ自由ニ其ノ必要ニ依リテ外米、内米ノ區別ナク買得ル資金ナリ、外米ヲ買フ場合ニ政府ガ買フモ直接蘭貢或ハ西貢邊ニ行キテ買フコトハ到底出來ズ、貿易商ノ手ニ依リテ買入ル、ナリ、而シテ政府ガ買フコトニナレバ、現金ニテモ手形ニテモ不自由ナシ、第二ノ三十五圓ハ屢々云フ如ク商品ノ統計ヲ數年間日本銀行ガ立テ、居ル此ノ割合ヨリ見レバ三十五圓ガ相當ナル比例ナリ、又四十圓以上モ原價ニ掛ルモノ或ハ三十圓以下ノモノアリ、其ノ中間ヲ考ヘルト三十五圓ヲ原價トシテ可ナラント思ヘリ

○上山滿之進 輸入商ノ手ヲ經テ買フ場合多キコト、思フ併シ買入レントスルモ豫算ナケレバ輸入商ニ買入レシムルヲ得ズ、昨年ノ如キ内々買入レノ命令アリタルヲ以テ其ノ積リデ輸入商ハ準備ヲ爲シタル金ノ都合ガ出來ズ、結局輸入商ハ自由ニ自分ノ考ニテ始末ヲツケタルニ依リ農商務大臣ガ苦勞ナク七十萬石這入ル運命ヲ有シタリ其ノ目的ヲ達スルコトヲ得ズ、斯ノ如ク豫算ナケレバ確固タルコトガ出來ズ、次ニ三十五圓ト云フ大體ニ相當ナル米價ト考ヘラル、ト認メテ然ル可キヤ

○大 臣 第一ノハ今日マデ責任支出ヲ爲シタリシモ幸ニ此ノ米穀法案通過スレバ二億圓ト云フモ

ノハ特別會計トシテ自由ニ支出スルコトヲ得テ以テ此ノ程度ニ於テ必要ナラバ外米モ内米モ買フコトヲ得

第二質問ニ對シテハ全體ノ價格即商品ノ一體ノ割合原價ト云フ割合ヨリ行ケバ此ノ處ガ原價ト相當ノモノナリ

○上山滿之進 米ノ買入ニ付二億圓ノ限度ニ於テ買フハ内外米ヲ通ジ爲サザルモ内地米ハ證券ニテ買フガ故ニ豫算ニハ關係セズ、外米ハ證券ヲ以テ買フヲ得ザルヲ以テ特別會計ナルガ矢張り豫算ヲ出サザル可ラズ、豫算ナシニ買フヲ得ズ、内地米ハ證券ヲ以テ買フコトヲ得ザルヲ以テ自由ナランカ外國米ハ現金ニテ買フモノト思フ何レカノ誤解ナリヤ

○大 臣 矢張り手形ニテ買入ル、積ナリ、現金ニテ拂フ場合ト其ノ間ニ割引等アリテ價格ニハ多少ノ差アルモ買フ場合ニハ買ツテ現金ヲ拂ヒ然ル後ニ豫算ニ出ルコトガ今度ノ立前ナリ手形ガ期限トナリシ時ニ大藏省ニ於テ之レニ對スル現金ヲ支拂フ其ノ途端ニ豫算ニ組ムコトガ生シ來ル唯其ノ間ニ付テ倉庫料或ハ利子ヲ拂フト云フコトハ現金ニテ支拂ハザル可ラズ、之レハ今日豫算ニ組マザル可ラズ是レ内地モ外國モ此ノ點ニ至リテハ同様ナリ

○政府委員 二億圓ニテ内地ノ商人ヲ通ジテ爲ス場合ニハ無論買ヒ得ルナリ、内地ニ於テ買フノハ證券ヲ以テ買ハザル可カラズ、外米モ日本人ヲ通ジテ買フ場合ニハ證券ニテ買フ唯現金ニテ支拂ハザ

ル可ラザル倉庫料ノ如キハ豫算ニ計上セザル可ラズ之レハ豫算ニテ前以テ要求スル場合アリ、追加豫算ノ形式ニテ爲ス場合アリ、此レ臨機應變ノ處置ニテ爲サザル可ラズ

○上山滿之進 農商務大臣ハ米價ハ三十五圓ガ適當ナリトス是レ一般物價ト比較シタル米價ノ推算ガ基礎トナリタルモノト思フ、大正十年一月ノ物價指數ノ總平均ハ二百六十六弱ナリ故ニ此ノ開キハ一割ナリ、農商務省ノ調ニ依ルト二割半ナリ、二割以上ノ差異アリ何時ヲ標準トシテ此ノ指數ヲ出スカハ議論アリ日本銀行ニテハ長年月明治三十三年十月ヲ基準トス、此ノ基礎ヲ變更スルニハ確實ナル理由ヲ有シナケレバナラヌ故ニ農商務省ガ此度明治四十年カラ大正二年ノ七ケ年ヲ平均シ基礎トナシタルハ解シ難シ即チ明治三十九年以後大イニ米價ノ暴騰シタ時ヲ基礎トスルハ農商務省ノ調査ノ缺陷ナリト思フ、日本銀行ノ表ヲ大體取リテ物價ノ比較ヲ計ルノガ至當ナリト思フ

○政府委員 日本銀行ノ物價指數ハ明治三十三年十月ヲ基準トシテ之レヲ百トシテ進ミタリ、併シ米ノ如キ大切ナル食糧ニ付キテハ一時ノ時ヲ基準トスルコトハ穩當ニ非ラズト考フ出來得レバ戰爭ト云フガ如キ意外ノ變動ヲ除キ成ル可ク長キ間ノ平均ヲ以テ之レヲ基準ト爲スコトガ至當ナリト思フ統計ノ整理モ或ル一時ヲ以テ出發スルハ不穩當ナリ、故ニ三十三年ヨリ四十年ノ間ニ日露戰爭アリシヲ以テ之レガ影響ハ三十九年迄トシ、明治四十年ヨリ大正二年迄ハ變動ノナキ時ナルヲ以テ基準トスルヲ可トシ此ノ七年ヲ百トシテ日本銀行ノ物價指數ニ依リテ之レヲ應用シタルナリ、農商務省

ニテハ斯ノ如キ結果ヲ得ルト云フニ過ズシテ何モ爲ニスル所アルニ非ラズ

○上山滿之進 農商務省ニ於テハ斯ノ如キ基礎ヲ以テスレバ、斯ノ如キ指數ヲ得ルト云フニ止リ結果ニツキテハ割合ニ之レヲ輕視スルガ如ク思ハル而シテ一般物價ト比シテ米ハ三十五圓ガ適當ナリトシ縣下總テ三十五圓位ニ買ヒタルナリ、是レ非常ナル問題ナリ、米價ヲ三十五圓ニテ買上グルハ明ニ不當ナリ

○岡田良平 價格ヲ決定スルニ付政府ハ時價ニ一定ノ斟酌ヲ加ヘ決定スルト云フモ斯クスレバ例ヘバ時價二十五圓ト假定スレバ農商務省ノ買上價格ハ二十五圓ニ或ル數字ノ加ハリシモノガ買上價格トナリ、假リニ其ノ數字ヲ一圓トスレバ二十六圓ニテ政府ハ米ヲ買上グルコトニナル、現在ノ時價ヨリモ縱令一圓ニテモ高價ナレバ爭ツテ政府ノ買上ヲ要求シ來ル此ノ場合ハ政府ハ如何ニ其ノ買上ヲ決定スルヤ

○大 臣 其レハ矢張り先ニ申込ヲ爲シタル者ヨリ順次ニ行クヨリ其間ニ途ナシ併シ公共團體ノ如キ格段ナルモノニアラバ先取權ヲ與ヘ商賣人ニハ之レニ割當ヲ爲シ各人ニ餘計ニ行カヌ様ニ爲スモノナリ多ク望ムモノガアラバ一人ニ付幾何ト制限ヲ付ケザル可ラズ、而シテ五十萬ナラ五十萬ト云フ制限ニ達スレバ止ムル外ナシ

○岡田良平 斯ノ如キ方法ヲ以テスレバ非常ニ不公平ナル結果ヲ生ジ即チ其國ノ商人ナルニ先チテ申

込ヲ爲シタルガ爲ニ之レニ恩惠ヲ與フル理窟ナシ或ル事業或ハ鑛山採掘等ハ其レニ對シテ探險ヲ爲シ研究ヲ爲シテ願出ヲ爲スガ故ニ先ニ出タル者ニ與ヘルト云フ理由アリ併シ米ヲ時價ヨリ高ク買ヒテ其レダケ恩惠ヲ與ヘルト云フ理窟ナシ即チ買上ヲ爲スコトヲ早く知リタル者ニ恩惠ヲ與フルハ甚ダ不條理ナリ

○大 臣 若シ斯ノ如キコトヲ惹起スルハ委員ノ處置ガ拙劣ナリト云ハザル可ラズ、如何ナルモノニ價格ヲ定ムレバ無理ナク買入レ得ル所ノ價格ヲ定メ併シ皆爭ツテ賣ルト云フ様ナ價ヲ決定スルコトハ餘程慎マザル可ラズ、手形ニテ買フトスレバ利子ヨリ一體ニ割引ヲシテ賣ルガ故ニ其レダケ物ガ高クナルガ故ニ市價ヨリ恩惠的ニ成ルベク價ヲ良クスルヲ望マズ

○岡田良平 手形ノコトハ別論トシ假リニ現金ニテ拂フモノトシテ議論ヲ進メン

○政府委員 今大臣ガ説明セラレタル事ハ稀ナ場合ト思フ斯ノ如キ場合アリトスレバ買込マントスル額ヨリ多ク持チ來ルベシ、此ノ場合ニ如何ニ何レヲ選擇スルカハ隨意契約ニテ買フ規定モ作り得ルモ斯ノ如キ場合ヲ豫想シテ順序ヲ決定セザル可ラズ此ノ場合アリトスレバ公共團體、産業組合、農業倉庫ノ如キ營利的ノモノニ非ラザルモノヲ先ニセントス

○岡田良平 價格ヲ如何ニ巧ニ決定スルモ市價ニ變動スルガ故ニ今日二十六圓ノ價格ニ定ムルモ十日モ經テバ相場ガ變動シテ二十四圓位トナル場合アリ此ノ場合ニ農務局長ガ云フガ如キ順序ヲ以テセ

不公平ナルモノトナル米ノ生産者ニ恩惠ヲ施スナラバ公平ニ及ブニ非ラザレバ政治ノ公平ヲ得タ
リト云フヲ得ズ其ノ間ニ弊害ガ起リ、運動ノ如何ニ依リテ買上グルト云フ結果トナル故ニ價格ヲ一
定スルモ相場ニ變動ガ生ジタルトキハ如何ニスルヤ産業組合、農業倉庫ニ先取權ノ恩惠ヲ與フルハ
不公平ナリ

○大 臣 産業組合或ハ公共團體等ハ何レモ皆所謂貧乏者ガ集合シタルモノナリ、即チ一人ニテ買
フ力ナクシテ集テ十石或ハ何十俵ト云フ買入ヲナス故ニ成ル可ク先取權ヲ與フルコトニシタシ、資
本家ハ自身ノ力ニ依リテ相場ガ引合ハザル場合ニハ何時マデモ貯ヘル力アルモ右ノ團體構成者ハ早
ク賣リテ金ニ代ヘント欲スルト思フガ故ニ之レニ此等ノ恩惠ヲ與ヘタシ故ニ斯ノ如クニセバ如何ナ
ラント思フナリ

價格ヲ決定シテ買フ場合ニハ石數ヲ知ラセ時ヲ知ラセ一ヶ月ナラ一ヶ月ノ間ニ於テハ斯クスルト云
フ場合ト價トヲ買入ノ米ノ數量ヲ知ラセンコトヲ望ム、而シテ成ル可ク公ニシ其ノ間ニ價格ノ高低
アルモ其ノ時間ハ其ノ價格ヲ以テ買フ而シテ一ヶ月之レヲ爲シ豫想通りニ行ケバ其ノ通りニシ、一
ヶ月ノ期間五十萬石ノ買入何處ニ於テ買フト云フコトヲ出セバ其ノ期間内ニ價格ガ下ツテ來タ場合
ニ於テハ第二ノ買入ニ着手ス矢張り時價ニヨリテ爲ス其ノ場合ニ米ガ這入り來ラザル場合石數ヲ限
リテ買入レル斯ノ如クニシテ折々ニ切り其ノ時ノ様子ヲ見テ動クヨリ外ナシ

○岡田良平 例ヘバ四月中ハ二十六圓ニテ買フトコトヲ決定スルトキハ四月初ハ適當ナルモ月末ニ至リ
テ二十四圓トナリタリト假定スレバ其ノ時ノ政府ハ二十六圓ニテ買入ヲ要求スル者來ル可シ此ノ場
合ハ如何ニシテ之レヲ分ケルカ先願ノ順序ニヨリテ爲セバ不都合ヲ生ゼザルヤ、或ハ東京ニ於ケル
團體ニ權利ヲ與フルト云フモ之レ亦不都合ニアラズヤ

○大 臣 政府トシテハ先ヅ公告ヲ爲ストキニ五十萬石ナラ五十萬石一ヶ月ノ間ニ買入レル、五十
萬石ヲ一ヶ月ニ行フトスルモ十五日ヲ以テ五十萬石ヲ買入レタルトキハ、其レニテ止メル、志願者
ニ對シテハ幾ラ位期間内ニ採ルコトヲ告知サセル一緒ニ來タル場合ハ順位ノ如キモノヲ以テ指名ス
ル外ナシ斯ノ如キコトガ幾回ニテモ出來得レバ種々ト協議ヲ爲シ其レヲスルコト、思フ

○岡田良平 之レ丁度横濱ノ帝蠶ニ行ハレ居ルト現在ニ於テ稍々似寄ツテ居ル、千五百萬圓買取ルト
云ヒ持チ來ルモノアルモ帝蠶ノ株主ノモノヲ先キニ買フト云フガ爲メニ一般ノ生糸業者ハ非常ニ不
安ヲ訴ヘテ居ル事實ト同様ナリ

○大 臣 帝蠶ノ生糸ノ買入ハ初メヨリ數量價格ハ申サズ、賣手ガ持チ來ルモ之レニ應ズルコトヲ
得ズ、故ニ辛ジテ其ノ價格ヲ維持シ居ル、今度ノ米ニ於テハ價格ヲ維持スルト云フトハ目的トセ
ズ、米ヲ或程度マデ買入レ其レヲ他日ノ不作ニ備ヘルト云フモノナルヲ以テ色々自然其買入レル時
ニ於テ五十萬石ナリ、百萬石ナリ買入レガ濟マバ後ニ下リテモ一定ノ制限アルヲ以テ其ノ上ハ買フ

カナシ買フ必要ナケレバ二十五圓ノモノガ二十二圓トナルモ買入レザルナリ

○岡田良平 先刻申シタル如ク賣込方ガ澤山アル時ハ甲ヲ取リテ乙ヲ斥ケルト云フコトハ此ノ法案ニテハ出來ズト伺ヒタルガ、復々辯明ヲ伺ヒマシテモ了解スルヲ得ズ、當局モ辯明スルコトハ得サルモ時價ヲ以テ買入ル、ト云フ方法ヲ採用シテハ如何

○大 臣 ソレハ自然時價ヲ以テ買フヨリ外ナシト思フ、併シ政府ガ二十六圓ナラ二十六圓ニテ買フト云フモ一向ニ持チ來ラズ、故ニ一體米價ハ二十六圓ナルモ二十七圓ニマデ其時ニ騰ルト云フコトニナレバ米ノ市場ニ賣ラズニ政府ニ持チ來ル時價ヲ以テ買入ル、ト非常ナル困難アリ、即チ現金デナク手形ニテ買フモノナルガ故ニ、四月ニ買ヒタルト六月ニ買ヒタルト二ヶ月ノ間ニ既ニ手形ノ上ニ其レ丈ケノ差異アリ故ニ是レヲノコトヲ加味シテ幾ラニテ買フト云フ問題トナル兎ニ角價ナルモノハ其ノ政府ノヤリ方ニ依リテ先ニ走ルコトガ起ル之レ非常ノ場合ニ起ルモノナルガ時價ヲ主トスルヨリ外ナシ、人爲ヲ以テスルモ直チニ動搖ヲ生ズ

○岡田良平 時價ニ依リ買フモ差支ヘナキ様ニ伺ヒタルガ時價ニヨルモ種々ト困難アル點ヲ述ベラレタルモ是レハ競争入札ニヨリテ爲サバ困難ヲ避ケ得ラル可シト思フ

○中川良長 米穀ノ需給ヲ調節スルコトハ甚ダ重大ナル問題ナレバ國家トシテハ一般國民全體ノ爲メニ考慮セザル可ラズト思フ之レニ同意スルモ二、三ノ了解シ難キ點アリ

第一條ノ調節ノ問題ナルガ私ハ豊年ガ續キタル場合ニ如何ニスルカニ對シテ心配スル現在ニ於テ三百萬石殘餘アリ其レニ對シテハ一億圓アラバ足ルト云フモ其次ニ尙ホ豊年ガ續キタル場合ニハ此ノ二億ト云フ豫算以上トナル此ノ場合ニハ金額ニ制限アルヲ以テ買入ヲ爲スト云フコトニナレバ、三百萬石殘餘ト云フ状態ニ於テ米穀法ハ實效ナキ形ニナル此ノ點ハ如何ナリヤ

○大 臣 二億圓ノ米アラバ其ノ上尙ホ貯ヘル必要ナキヲ以テ後ハ自然ノ成行トシテ置ク併シ其時ノ事情ニ依リ尙ホ買ハザル可ラズ是レハ宜シカラザルヲ以テ其ノ間ニハ數回議會モアルコトナルガ故ニ此ノ事情起ラバ尙ホ其ノ上ニ資本金ヲ入ル、カ或ハ其儘ニスルヤ其時ノ適宜ノ處置ヲ採ル外ナシ今日ノ所二億圓位アラバ差支ヘナシト考料ス

○中川良長 二億圓全部ヲ買盡シ尙ホ豊年引續キ剩餘米アル場合ニハ事情ニ依リ二億圓ノ制限ヲ破ツテ増加スルコトアリト云フ考ヘナリヤ

○大 臣 其レハ其ノ時ニ至リテ初メテ斷言シ得ザルコトニシテ豫メ斯クスルト云フコトヲ得ズ此ノ如キモノヲ買入ル、ニハ倉庫モ餘程考慮セザル可ラズ、三百萬石位ナラバ倉庫ヲ借入ル、コトヲ得ルモ三百幾十萬石トナラバ諸所ノ倉庫ヲ借入ル、コトナルヲ以テ是レハ餘程考慮ヲ要スルナリ、其ノ時ニ至リテ判斷ヲ爲シ尙ホ議會ノ協賛ガ必要ナラバ之レヲ仰グト思フ

○中川良長 今日ノ倉庫ハ三百二、三十萬石ヲ容ル、ニ過ギズ故ニ二億圓ヲ費シテ米ヲ買入ルレバ六

百萬石トナル故ニ倉庫ノ不足ヲ生ズ本年三百萬石買ヒタル後ニ買入レタル米ヲ貯藏スル倉庫ノ不足ヲ如何ニシテ建ツルヤ

○大 臣 今日ノ所三百萬石ヲ貯藏シ得ル倉庫ハ都會及數縣ニアリ尙ホ其レ以上買入レザル場合ニハ蓄ヘル場所ニ於テ廣ク調ベザル可ラズ又一方ニ於テ農業倉庫等ヲ各府縣ニ設立スルコトニナリ而シテ年々若干ノ倉庫モ出來ルコトニナル今日何處ニ入ルルト云フ處ナキモ其場合ニ從テ政府ニ於テモ倉庫ヲ建テザル可ラズ、又今調ベテ居ル所以外ニ置ク場所ヲ設ケルト云フ様ニシテ貯藏ノ場所ヲ擴張セントス

○中川良長 政府委員ノ話ニテハ十三都市或ハ其ノ他ノ農業倉庫ヲ調査シテ三百二、三十萬石ニ對スル餘裕アリ、其他ヲ調査スレバ餘裕アリト云フ農相ノ話ナルガ斯ク餘計ニ倉庫ノ餘裕アリトハ想像シ難シ品物ハ買ハザル可カラズ入ル、倉庫ハ急ニ出來ズト云フ重大問題ニ逢着スルニ非ラズヤ、此ノ場合政府ハ國立倉庫ヲ建ツル考ナリヤ

○大 臣 穀物法ガ通過シテ永久的ノモノトナラバ時ヲ見テ政府ハ倉庫ヲ建ツル必要アリト思フ

○中川良長 一億圓ニテ三百萬石買入レ得ルトスレバ二億圓費シテ三百萬石ノ貯藏スル倉庫ハ國家ニ於テ設立スルヤ

○大 臣 其ノ積リナリ、貯藏スルニ付何處マデモ民間ノ倉庫ヲ借り置クコトハ出來ザルガ故ニ時

ヲ見テ建造スルコトヲ望ム

○中川良長 一億圓ニテ剩餘米ヲ買入ルレバ重ナル倉庫ハ全部使用セザル可ラズ、然ラバ若シ景氣良好ニシテ外國品貿易品生産品ヲ貯藏スルニ差支ナキヤ

○政府委員 倉庫ノ收容力ニ付キテ懸念セラル、ガ本案通過スルモ東京ヲ含メ七箇所ヲ中心トシテ十三都市ノ倉庫利用ニ付調査シタルニ二月中旬ニハ二百七十萬石ヲ貯藏セラレ而モ米ヲ安全ニ貯藏シ得ル倉庫ヲ選ビ得タリ而シテ此ノ十三都市以外ニモ大都市アリ景氣良好ナラザル爲メ倉庫ノ剩ハ可成ニアリト云フ、是等倉庫ニテハ收容シ得ザルニ至ラバ大地主ノ立派ナ倉庫ヲ一部借入ル、コトモ不可能ニ非ラズ

農業倉庫モ昨年頃ヨリ可成リ進歩シ來レリ又本年度ハ食糧局ノ豫算ニテ米國ノ倉庫狀況研究ニ遣シタリ斯ノ如クニシテ二億圓ノ範圍ニ於テ必要ノ程度ニ倉庫モ建造セントス

今日ノ場合ニ於テハ倉庫ニ困ルコトナシ、現ニ大正八年政府ニ百六、七十萬石ノ米ヲ有シ且ツ商業非常ニ殷盛ナル場合ニ於テモ別ニ困ルコトナカリキ

○中川良長 十三都市ノ農業倉庫ノ調ニテハ三百二、三十萬石ナルモ其ノ以外餘程餘裕アリト云フモ其ノ見込ハ如何

○政府委員 其ノ方ハ其ノ中ニ調査セント欲ス、書面ニテ調査スルコトハ正鵠ヲ得ザルガ故ニ人ヲ出

岡本

シテ調査シ居ルモ普ク調査シ居ラズ京都ニ付キテ調べタル所ニ依レバ十一、二萬石ノ收容力アリト詳細ニ調査セザルガ故ニ明カニ申上グルヲ得ズ

○中川良長 景氣惡シキガ故ニ倉庫ノ餘裕アルモ景氣回復シテ生産品盛ニナリ貿易品ヲ盛ニ出スニ到ラバ現在ノ三百二十萬石ト見込ニナル餘裕ハ減少セザルカト心配スルモ此ノ點ハ如何ナリヤ

○政府委員 今後景氣恢復シ一般ノ商品ガ都會ニ集ラバ必要ニ應ジテ倉庫業モ發達スルモノト思フ現ニ大阪等ニ於テハ大ナル計畫ニテ倉庫ヲ建造シ居ルト斯ク漸次一般ニ倉庫ヲ建造スルニ至ルヲ以テ今俄ニ多量ナル米ヲ買入ルレバ特別ナルガ然ラズバ斯ノ如キモノ澤山發達シ來ルベシト思フ、唯不便ニ感ズルハ少量ヅ、貯藏セザル可ラザルコトナリ

○中川良長 米ノ需給ヲ調節スルニハ買上分量最モ必要ナルガ之レニ伴フテ貯藏ノ倉庫ニ付キテモ攻究セザレバ殆ンド空文トナル虞アリ、景氣ノ恢復ト共ニ倉庫業モ發達シ來ル可シト云フモ景氣ガ盛ニナルモ未ダ倉庫ニハ餘裕アル場合ニ倉庫マデ同時ニ發達スルコトハ經濟上アル可ラズト考フ此ノ點ハ餘程研究セザル可ラズ

三月二十日

○中川良長 倉庫ノ收容力ニ付キテハ了解シタルモ貯藏スルニ當リテ一年或ハ二年、三年モ貯藏スルヲ見込マザル可ラズ、靱ナラバ或程度マデ貯藏シ得ルモ玄米其他白米ノ形ナラバ貯藏ニ困難ヲ感ズ可シ其レハ如何ナルモノヲ買入レニナルヤ、靱ナラバ幾何ノ期間貯藏シ得玄米ナレバ何程ノ期間貯

藏シ得ルヤ伺ヒ度シ

○政府委員 米ノ貯藏法ニ付キテハ農商務省ニ於テハ本省試驗場物ハ物ニ依リテハ各府縣各適當ナル補助ヲナシテ貯藏法ヲ研究シ居レリ、貯藏シ得ル期間ハ建設倉庫ノ事情ニ依リ非常ニ異レリ、民間ノ倉庫ハ完全ナルモノ少シ、之レヲ標準トシテ玄米ヲ貯藏スレバ損害ノ程度輕少ナルヲ條件トシテ二、三年貯藏シ得ベシ靱ナラバ四、五年貯藏シ得ル見込ナリ、併シ靱ヲ買入ル、コトハ困難ナリ大部分ハ玄米ナリ、而シテ玄米ハ毎年買換ヲ行フ積リナリ長クモ三年ノ間ニハ全部取換フルナリ大體ノ見當ハ二年度即チ今年ノモノハ來年半分翌年半分ト云フ様ニ買換フル見込ナリ

○中川良長 大部分ハ玄米ナリト云フ話シナルガ其ハ今年ニ限ラズ全體トシテハ靱ヲ主トシテ買入ル、考ヘナリヤ又靱ト玄米トノ程度ハ如何ニ考ヘラル、ヤ

○政府委員 維新以後最近ノ狀態ニテハ靱ニテ賣買スルコトハ極メテ少シ、併シ今後米ノ剩ル場合ハ靱ヲ貯藏セシムルハ一般ナリ、財政經濟調査會ニ於テモ此點ハ考慮サレテ少クモ貯藏米ノ三分ノ一位ハ靱ニテ持ツコト可ナラズヤ、貯藏法ノ研究發達スレバ玄米ニテ貯フルモ可ナリ、今日ハ少クモ靱ニテ三分ノ一位有スルヲ可ト考フ

○中川良長 一年位ニテ買換フルト云フモ其ハ如何ナル方法ヲ以テ買換フルヤ

○政府委員 一ツハ交換ヲスル積リナリ、交換ノ差額ハ金ヲ以テスルカ渡ス米ノ分量ヨリモ政府ニ受

取ル分量ヲ少クスルカ時ニ臨ンデ帳尻ノ締メ方ハ現物ナルコトモアリ金ナルコトアルモ交換ニ依ルモノナリ又政府ノモノハ政府デ賣リ民間ノモノヲ同ジ量ニテ買入ル、ナリ二ツノ方法ニ依リテ取換フル積ナリ

○中川良長 買換交換ハ政府ニテ或ル分量ヲ賣リ其ノ賣リタル分量ヲ民間ヨリ買入レルト云フモノナルガ此ノ第二項ノ場合ハ米ヲ賣渡スト同様ナリト考フルモ買換ノ爲メニ使用セラル、モノハ第三條ノ本文ノモノト同様ナリト思フ然ラバ但書ノ米穀ノ買換貯藏米穀整理ノ爲メニスル賣却ハ價格期間ヲ定メザル意味トナルモ賣渡ス時ニモ買入ル、時ニモ何故ニ價格期間ヲ告示セザルヤ

○政府委員 正シク第三條ノ但書ニ當ル買換アリ買入行爲ト賣拂行爲アルモ之ハ今申シタル買換ノ形式トナル何故ニ除外例ニシテ公告ヲ致サザルヤト云フニ本文ニ價格期間ヲ告示スルハ政府ノ有セザル米ヲ全體買入レルニ全體ニ亘リテ買入レ賣リ渡ス時ニ政府ノ有スルモノヲ市場ニ供給スルコトガ目的ナルガ故ニ大體告示ヲスル買換サルモノハ一ツノ保管方法ナルガ故ニ實際上價格ヲ告示スル必要ナシ即同數量ヲ交換スルガ故ニ市場ノ價格ニ影響スルコトナシ、故ニ實際ノ必要ヨリ云フモ價格ヲ公告スルハ實際困難ナルヲ以テ除外例ト爲ス

○中川良長 政府ガ買換フル爲メニ賣渡スニハ價格期間ヲ示サズ又買換ノ爲メニ買入ル、場合ニモ價格期間ヲ示サズ然ラバ此ノ本文ノ賣渡スト云フト買入ト云フト同ジ行爲ヲスルニ價格期間ヲ定ムル

ト云フ理由ハ明瞭ナラズ

○政府委員 本文ノ告示ヲ爲スハ第一條ヲ受ケ需給調節ヲスル目的ニテ買入ル、場合賣拂フ價格期間ノ告示ヲナス、但シ需給調節ヲ目的トセシ外ノ必要ヨリ取換フル場合ハ一般市場ニ影響セザル性質ノモノハ告示ヲスル必要ナク又困難ナルガ故ニ除外例ヲ認メタルナリ

○中川良長 第二次ノ買換ノ爲メニ政府ガ賣ルニモ買入ル、ニモ米穀ノ買換ト關聯セズシテ賣ル場合賣渡ト云フ條項ニ嵌リ買入ル、場合ハ本文ノ買入ル、ト云フ條項ニ依リテ爲セリ、然ルベキコトニシテ且ツ非常ニ分リ易ク抵觸ナキガ如シ、然ラザレバ不公平ト云フ問題ト最モ深く抵觸シ來ルベシ米穀ノ買換ハ政府委員ノ云ヒシ第一項ノ實物ト實物トヲ換フルト云フ意味ニ解スレバ非常ニ單純ナリ且ツ告示ト云フ問題ト關係シテ不公平ト云フ批難モナカルベシ、故ニ第二項ニ之レヲ含マル、モノナリヤ否ヤヲ伺ヒタシ

○政府委員 第一項ト云フハ第一條ナリヤ
○中川良長 政府委員ノ云ハレタル第一項ナリ

○政府委員 第三條本文規定ハ第三條ノ需給調節ノ目的ニテ買入若ハ賣渡ストキハ必ズ告示スルコトニスレバ買換ノトキハ如何ニスルカト云フニ第一條ノ範圍ノ調節ハ目的ニ非ラザルモ疑アルハ但書ヲ加ヘテ買換ヘル場合ハ公告セズ、一般ノ市場ノ米ノ取引一般ノ保管上ノ必要カラ取換ヘル必要ニ

過ギザルトキノ一般ニ公告スル必要ナシ、而シテ公平不公平ハ買換ヲ爲ス手段方法ニ依リテ生ズルコトアルモ大體告示ヲ爲サザルニ依リテ公平不公平ヲ生ズルヲ得ズ

○中川良長 政府委員ノ説明ハ第一ハ實物ノ交換第二ハ實物ヲ交換スルガ爲メニ賣渡スノト一方ニ於テハ其レ丈ケ買入ル、コトモ買換ノ中ニ包含ス然ルトキハ政府ニテ賣渡スト云フ場合ハ目的買換ニナルモ賣渡スト云フ目的ハ本文ノ形式トナリ買入ル、モ本文ノ形式トナル故ニ政府委員ノ論ニ依ル第二ノコトハ買換ヲ含マズト解釋スルヲ可ト思フ

○政府委員 買換ノ中ニハ賣ルコト、買フコト、同時ニ存ス、何レモ目的ハ同一ナリ、交換ノ場合ハ問題起ラサルモ同時ニ買入レ賣渡スト云フコトヲ行ハバ本文ニアルガ如キ誤解ヲ生ズルヲ他ヨリ之レヲ避クル爲メニ但書ヲ明カニセリ

○中川良長 政府委員ノ説明ハ實物交換ト一ツハ政府ニ於テ賣リ又買フコトモ但書ノ買換ノ中ニ包含スルモノナリトスルカ

○政府委員 然リ

○中川良長 此ノ買換ニ付テ政府ガ賣渡ス場合ニハ如何ニシテ何人ニ賣渡スヤ一般ニ告示ヲセザレバ何某ニ賣ルト云フ何某ヲ指名シテ、初メテ政府ガ賣ルカ或ハ買換ノ爲メニ買ハントスルコトヲ知ルナリ、一般ノ者ガ賣ル買フト云フコトヲ知ル方法ナシト思フガ如何ナリヤ

○政府委員 多クノ場合ニ於テハ公告シテ公入札ニスルコト多シト思フ、併シ隨意契約ニ依リ公告ヲ爲サ、ルコトアルモ之レ一般ノ人ニ知ラシムル必要ナシト思フ、即チ此目的ハ第一條トハ全く異ルガ故ナリ

○中川良長 或ル程度ノ人ニ知ラスト云フコトニナルモ如何ナル範圍ノ人ニ賣買價格期間ヲ知ラシムルヤ

○政府委員 是レハ一般ニ買入又ハ賣渡ヲ爲ス者ガ之ヲ知ルコト、ナル一般ニ會計法規ニ依リ公告スレバ營業者ハ之レヲ知ルコト、ナル併シ隨意契約ニ依ル場合ハ契約ノ當事者以外ノ者ハ知ルコトヲ得ズ

○中川良長 是レハ公告ヲ爲シテ行ハル、ト解釋シテ可ナルヤ

○政府委員 其ノ通りナルガ隨意契約ニテ爲ス場合アルモ公告ニ依リテ爲ス場合モ多シト思フ

○中川良長 隨意契約ニテ爲スハ何レヲ主トシテ行ハル、ヤ、斯ノ如キコトハ調査會ニ於テモ研究ニナリ議論アリシコト、思フガ故ニ此ノ點ヲ伺ヒタシ

○政府委員 但書ニ付キテハ財政經濟調査會ニ於テハ議論サレタルヲ聞カズ、斯ノ如キ事項ハ委員會ヲ設クレバ大體ノ方針ハ諮問サル、コト、思フ、但書ヲ設ケタルハ第一條ノ目的ニ非ラズシテ他ニ目的アルモノニシテ實際市場ニハ大體米ノ増減ナク、影響ナク且ツ保管スル上ニ於テ一々告示スル

必要ナシ

○岡田良平 政府委員ノ應答ノ趣旨ハ明瞭ニ了解シ得ザルモ此ノ第三條ノ本文ノ方ハ特別ノ價格ヲ決定シテ買入ル、モノナルガ故ニ、公示スル必要アリ即チ時價ニテ買フニ非ラズシテ、特別ノ値段ヲ以テ買フモノナルガ故ニ告示ヲ爲ス但書ハ時價ニテ買フモノナルガ故ニ告示ノ手續ヲ爲ス要ナシト云フニ非ラザルヤ

○政府委員 斯クノ如キ意味ノミナラズ、此ノ本文ハ市場ノ米價ヲ調節スルコトニナルヲ以テ價格期間ヲ公示シテ一般人ニ知ラシムル必要アリ、公平公正ト云フモ此ノ趣旨モ之レニ依リテ達セラレベシ但書ノ如キハ實際市場價格ニ變動ナク、米ノ増減ガ市場ニナク唯保管行爲ノ一トシテ爲ス可ケレバ全ク目的ヲ異ニス

○岡田良平 第三條ノ前段ニ依リテ價格ヲ告示スルノ必要ハ其値段時價ニ非ラズ、委員會ニ於テ特別ニ定メタル一種ノ假定的ノ價格ナルガ故ニ之レヲ廣ク告示シ公平ニナス必要アルモ但書ハ時價ニ依ルモノナルガ故ニ別ニ之レヲ周知セシムル必要ナシト云フト云フ如ク解スレバ了解シ易キモ斯ク解シテモ可ナルヤ

○政府委員 私共ハ斯ク思ハズ本文ハ目的ヲ異ニス但書ハ一般市場ニ影響ナクシテ爲スモノニシテ一般ニ告示スル必要ナキモノナリ、併シ買入賣拂ハ時價ニ依ル外ナシ

○中川良長 第四條ノ占有者ニ對シ調査ニ必要ナル事項ノ報告ヲ命ズル云々ノ規定アルモ、占有者ト云フハ政府ニ於テ如何ニ之ヲ定ムルヤ

○政府委員 第四條ノ規定ハ在米高ヲ調査スルニ付在米ヲ所持シ居ル人ノ重ナル者ヲ調ブル必要アリ生産者取引業者倉庫業者ト云フハ主ナルモノナリ、其他ノ占有者トハ消費者ト云フ様ナ者ニ及ス積ナリ、米ヲ所有スル者ヲ含ムモ實際問題トシテハ停車場ニ於テ積出中ノモノ或ハ運搬ノ爲メニ其處ニ持チ來ルモノ等ハ實際上之レヲ調査スルモノト思フ、法律ニテハ其時ニ臨ミテ占有者ナレバ之レヲ調べザル可ラズト認メタル場合調べ得ルト云フ様ニ廣ク規定セリ之レヲ決定スル標準ハ其時ニ至ラザレバ之レヲ豫メ決定スルコト困難ナリ

○中川良長 然ラバ占有者トハ政府ニ於テ認メタル範圍ヲ調査スルニ止リテ何石以上或ハ何斗以上ヲ有シ居ル者ハ公平ニ漏レナク事項ノ報告ヲ命ズルコトハ此ノ中ニ包含セザルガ如ク考フルモ政府ガ之ヲ占有スルト思フモ一般ノ占有者或ル程度以上ノ占有者ヲ調査シテ其レガ事項ノ報告ヲ命ズル形ニスレバ非常ニ公平ニ行ハル、ト考フ、法ノ精神モ亦十分ニ徹底スルト思フ

○政府委員 一般ノ消費者ヲ總テ調査ニ及スコトナシ、一般消費者中ニモ買入居ル見込アラバ其人ニ限リテ調査スル必要アル場合アリ、此ノ占有者ト云フハ其ノ時ニ臨ンデ調査スルノ必要生ジタル場合ニ取調べ得ル様廣キ意味ニ規定シ居レリ

○中川良長 占有者ノ持米ノ調査ニ取リ掛リタル時ニ占有者之レヲ隱ス場合アリ、大體平均ニ誰ニテモ占有シ居ル或ル程度以上ノ持米ハ政府ニ直チニ分リテ全部調査シ得ルト云フ方法ヲ採ルコトガ非常ニ此ノ法ハ徹底スル様ニ思フ、過去ニ於テモ隱シテ所持セル米ガ調査ニ依リテ意外ノ獨占ヲ爲シ居ルコト發見セラレタルコトアリ、單ニ政府ガ何某ヲ調査スルト云フヨリ或ル程度以上ノモノハ政府ニ於テ明ニ分ル方法ヲ採ルヲ以テ法ノ精神ヲ徹底スルト考フ

○政府委員 今述ベタルコトノ必要アラバ一般ニ調査スル必要アリテ、此ノ規定ヲ以テスルヲ得ベシ
 唯一般消費ガ何程有スルカヲ調ブルモ成績擧ラザルヲ以テ或ル一地方ニ限り調査スル必要アル場合ニハ一般ニ占有者ニ申告ヲ命ズルコトアルベシ

○中川良長 其ノ點ハ答辯ニテヨク了解セリ

○藤村義朗 米穀法案ガ永續的ニ米ノ需給ヲ目的トスル以上相當ニ根據アル統計的數字ノ上ニ置カザル可カラズ、過去ニ於ケル數字ハ承知シ得ルモ今後五年十年十五年ノ將來ニ亘リテ政府ハ我國ニ於ケル米ノ需給ノ豫想ハ如何ナリヤ、數字ノ根據ハ何處ニ置カル、ヤ伺ヒタシ、又臺灣米及朝鮮米ノ將來ノ産額輸入高等ノ豫想ニ依ル將來ニ亘ル米ノ需給ノ意見ヲ伺ヒ度シ

○政府委員 吾ガ國ノ米ノ需要供給ノ前途ニ付キテハ農商務省從來ヨリノ豫想ヲ立テ種々ナル施設ヲ設ケ之レガ研究ヲ爲スニ付種々ノ材料ヲ提供セリ、今後三十年間ニ於テ米ノ供給ナリ消費ナリハ

如何トナルヤ將來三十年ヲ基礎トシテ調査セリ、一面人口増加シ又耕地ノ面積モ増加シ且農業技術ノ發達ニ依リ收穫能率モ高マリ、而シテ政府ガ各方面ニ對シテ增收ニ付力ヲ傾注セル場合トノ二様ニ分タハ消費額ハ三十年後ニハ九千五百五十六萬石トナル（明治三十一年ヨリ大正七年迄ノ人口増加ノ歩合ヲ基礎トシテ）大正三十八年ノ人口ハ八千三十萬ニシテ一人宛ノ消費量ハ大正元年ヨリ七年マデ平均一石七合ニシテ一ヶ年毎ニ一人宛四合増加スルヲ以テ三十年後ニ於テハ一石一升九合ガ一人宛ノ消費量トナル、故ニ九千五百五十六萬石ヲ要ス、而シテ格段ノ努力ヲ爲サザレバ二十年後ニハ七千八百六十三萬石ニシテ之レニ移入見込トヲ合スレバ八千六百三十三萬石ナリ、仍テ九百二十三萬石ノ不足ヲ生ズ、故ニ今日以上食糧充實策ヲ講ズル必要アルヲ以テ各方面ニ分チテ財政經濟調査會ニ於テ種々施設ヲ研究セリ、朝鮮、臺灣ヨリ一千萬石ヲ移入スルヲ得レバ總計ガ九千八百七十六萬石トナリテ三百二十萬石ノ過剩ヲ生ズルニ至ル此ノ數字ノ基礎ハ財政經濟調査會ノ決議ノ參考トシテ印刷セルモノナリ

○藤村義朗 今日政府ノ方針タル米ノ需給ハ内地ニ於ケル自給自足ヲ執ルコトニシテ之レハ國際的ニスルカト云フ考ナキヤ

○政府委員 私人答フルヲ得ザルモ財政經濟調査會ニ於テハ國際的ニスルコトハ別問題ニシテ出來得レバ吾ガ領土ニ於テ自給自足ノ途ヲ立ツルコトヲ望ミ、財政調査會ニテハ吾ガ領土内ニ於テ自給セ

ントシテ建議セラレタリ

一一三

○藤村義朗 近年亞米利加ニテ日本米ヲ大規模ニ試作セラレツ、アルヲ聞キタルガ又支那米中江蘇米ノ如キハ其ノ品質日本人ノ嗜好ニ適合シ居ル如ク考フ、防穀令ノ爲メニ之レヲ持チ來ルコトハ不可能ナレトモ何等カノ方法ニテ之レヲ輸入スルヲ考ヘ居ラル、ヤ

○政府委員 加州ノ今日ノ狀況ニ察スレバ内地ニ持チ來ルニハ生産費ノ關係上困難ナリ、支那ニモ溫帶米アルモ防穀令ノ爲メニ日本ニ入ラズ、將來是レ等ト有無相通ズルハ可ナルモ困難ト思フ

○藤村義朗 日本米ハ特殊ノ品質ヲ有シ且ツ需要供給ノ範圍甚ダ狭シ不足スレバ副食物ノ獎勵ヲ必要ナルガ外米ヲ輸入セザル可ラズ、而シテ日本ハ供給ガ始終不足勝ナリ、故ニ外國米ヲ食フヲ獎勵セザル可ラズ又餘リタル時ニ捌口ナシ、東洋各國ハ米ガ主食物ナリ故ニ此ノ方面ニ向ツテ剩餘米ヲ輸出スル方法ニ就テ考ヘラレザルヤ、即國際的ノ米穀ノ調節ヲ計ルコトハ政府ニ於テ考ヘザルヤ

○政府委員 吾國ノ米ハ溫帶米ナリ、之レニ對シ特殊ノ嗜好ヲ有ス併シ戰爭以來其ノ以前ニ比シテ緩和セラレタリ若シ内地米ト全ク同様ニナレバ日本ノ組織ニ重大ナル問題ナリ、即チ過半ノ國民ハ農家ナリ、若シ安キ米ヲ食スレバ農家ノ立場ナシ、併シ現在ハ吾國民ノ嗜好ハ溫帶米ナルヲ以テ不足シタル場合ニノミ外米ヲ輸入ス日本米ハ其ノ生産費高ク安キ米ト競争スルヲ得ズ、米作ヲ廢シテ麥大豆ヲ作レバ米以上ニ利益ナク、水田ニハ麥ヲ作ルヲ得ズ、從テ困難ナル問題ナリト思フ

○藤村義朗 内地米ト外國米トガ共通ニナレバ日本ノ爲メ由々數大事ナリ、兎角此ノ案ノ目的ハ價格ノ調節ニ非ラズシテ、量ノ調節ナリ價格ハ數量ノ調節ニ伴フテ自然的ニ起ルト云フ説明ナルガ若シ然リトセバ輸入ノ制限禁止ヲ固執スル必要ナク、輸入セラル、ニ任ズルモ可ナリト思フ、結局價格ノ調節ニナル量ノ調節トスレバ外米輸入ノ制限禁止ノ必要ナシ、數量潤澤ナレバ目的ヲ達セラルベシト思フガ、局長ノ意見ヲ伺ヒタシ

○政府委員 數量ヲ調節スレバ價格ハ必ず影響アリ、此ノ數量ガ正比例ニ行クカ否ヤハ問題ナリ、價格ヲ無視スルト云ハズ數量ヲ緩和スレバ價格モ必ず緩和スルモノナリ、米ノ價格ハ米自身カラ來ルモノト一般經濟上ノ需要ヨリ來ルモノトアリ、米自身ヨリ來ル價格ハ數量ニ依ルヨリ外ナシ、斯イ如キ精神ヨリ立案セラレタリ

○藤村義朗 政府ノ發表セル米價ハ其ノ時ニ於ケル米價ノ最低價格ノ保障ヲ付ケルモノニシテ其ノ價格ニ達スルマデ商人ハ賣惜ヲ爲サザルガ調節ノ爲メ相當ノ量ヲ買入ル、コトガ必要ナラバ價格ヲ買上ザル可ラズ、然ルトキハ一般物價モ之レニ伴フテ騰貴シ國民全體ノ苦痛ヲ増スコト、ナラザルヤ

○政府委員 政府ガ時價ニテ買フトスルモ買上グルマデハ上騰ス、買ヒ終ラバ下落ス、斯ノ如クセバ商人ニ乘ゼラル、ト思フ、故ニ一應各種ノ點カラ考慮シテ適當ナル價ヲ決定シタル以上ハ動カスト云フ態度ヲ採ラバ茲ニ安定シテ一般ニ安心ヲ與フ然ラバ安心シテ賣出ス結果トナル之レハ困難ナル

一一三

ガ故ニ第三條ヲ設ケテ價格ヲ決定スルニハ調査委員會ノ慎重ナル講究ノ上決定スベキモノニシテ一定ノ期間動カサヌヲ可ナリト思フ

○藤村義朗 政府ガ三百萬石買上ルモ外國米ノ輸入制限セラレザレバ農民ノ方ノ價格ノ調節ハ出來ズ又量ノ調節モ政府ガ欲スルガ如キ調節ハ不可能ト思フ、三百萬石買上ル、モ輸入米ハ制限セラル、ヤ

○政府委員 我國ノ剩餘アル場合ハ輸入極メテ少ナシ、本年モ輸入多カラズ併シ外米ハ安價ナルガ故ニ將來ニ於テ續々輸入セラル、ニ至レバ農家ハ困却スルヲ以テ大ニ考慮ヲ要ス可キナリ

○藤村義朗 政府及需給調節委員會ニ於テハ機敏ナル米商人ヲ相手ニスルガ故ニ種々ノ弊害アリ政府ハ之レヲ除去シテ公正ニ爲スコトハ殆ンド不可能ナルコトナラズヤ

○政府委員 是レハ弊害ナシト云フヲ得ズ先ヅ人選ヲ第一ナリトス、第三條アラザレハ害アルベシト思フ、價格ガ決定スレバ直チニ告示ヲ爲ス政府ガ何時如何ナル價格ニテ買フカ解ラヌト云フコトニナレバ奸商ニ乘ズル機會ヲ與フ、併シ委員會ノ價格決定アレバ直チニ之レヲ告示スルガ故ニ弊害ノ起ルコトナシ

○藤村義朗 政府ハ價格決定ニ付其ノ時ノ模様ニ依リテ決定ス、此ノ價格決定ノ前後ニ於テ何カ憂フ可キ行爲起ラザルヤト思フ、次ニ倉庫ノ收容力ニ付三百五十萬石ヲ收容セラル、ト云フハ粃米ナリ

ヤ玄米ナルヤ

○政府委員 玄米ナリ

○藤村義朗 然ラバ三分ノ一増加スルヲ以テ五百萬石位ノ倉ヲ必要トス

○政府委員 粃ハ米ト同ジ俵ニスルハ一石ノ玄米ニ當ルモノハ二石ノ粃ナリ併シ粃ニテ賣ル慣習ハ次第ニ消へ去リ又倉庫ノ關係上買フヲ得ズト思フ

○岡田良平 政府委員ノ話ニ依レバ内地米少キ時ニハ外米入り來リ、多キ場合ニハ來ラズト是レ内地ニ剩餘米アルハ値段廉キガ故ニ入り來ラズ政府ガ三百萬石買上グレバ其レダケ入り來ルベシ是レ一方ニ於テ米價ノ調節ヲ意味スルモ三百萬石ヲ買入之レヲ外米ニテ補フトスレバ調節目的ヲ達スルヲ得ズ故ニ外米ヲ同時ニ制限ガ之レニ伴ハザレバ效果ナシ

○政府委員 本 斯ノ如キ事情起ラバ何トカ制限セザル可ラズ、現在ノ所斯ク考へ居ラズ

○岡田良平 現在ハ米多ク價格下落シ生産費ヲモ償ハザル状態ナレバ米穀法ヲ行フニ至リタルヲ以テ現今ノ事情ガ調節ノ必要ヲ感ズル時ナリ、故ニ買上ゲト同時ニ外米ノ制限ヲ爲サザレバ效果ナシ故ニ其ノ場合ニ至リテ制限セントスルモ間ニ合ハズ、時機ヲ失スルコト、ナル此ノ邊ノ見込ヲ伺ヒタシ

○政府委員 外米ハ廉價ナルモ日本人ノ嗜好ニハ執着アリ且ツ米ノミガ廉價ナルヲ以テ一日ノ食事費

廉クナルト云フヲ得ズ、故ニ極端ニ云ハバ其ノ時ニ臨ンデ制限ヲ爲シ得ベシ

○木内重四郎 輸入ノ制限ハ此ノ法律ヲ施行セバ早速行フヲ可ナリト思フ、必要アラバ斯ノ如キ法案ヲ提出シ内地米ヲ買上ゲテ實行スル前ニ外米ノ輸入制限ヲ爲ス必要アリ即三百萬石買ヘバ輸入制限ノ必要アリ

○政府委員 此ノ法律案ハ永續的ノモノナリ今日ノ事情如何ニ拘ラズ、故ニ今日ノ所ニテハ制限スル考ナシ

○木内重四郎 政府ガ自由ニ干涉スルヲ欲セズトスレバ此ノ法案ヲ出サザルヲ可トス、現在ハ米ノ剩餘ニ苦シムヲ以テ此ノ法案ノ通過ヲ望ムナリ、併シ高價トナリタル場合ハ輸入税ヲ免除セザル可ラズ此ノ事ニ付キテハ大臣ノ決定ナカル可ラズ

○政府委員 唯今ノ所必ズ制限スルト云フヲ得ズ

○若槻禮次郎 此ノ法案ハ永久的ノ法律ニテ今日ノ米價ノ廉キコトヲ見テ起草シタルニ非ラズト併シ世間ハ米價ノ低廉ナル所ヨリ來ルト思フベシ、農會ガ米ノ不賣同盟ヲ爲セルハ輕卒ト思フ農會ハ農商務省ガ指導監督スベキモノナリ、然ルニ實際ハ政府ガ賣惜ヲ教フルコト、ナレリ、賣惜ヲ爲シテ後始末ヲ爲サザレバ、米ガ下落シテ農民苦境ニ陥ランカ次ニ政府側ニテハ此ノ米穀法ヲ實施スルト否トニ拘ラズ今日ノ米價ニ變動ナシト認ムルヤ、或ハ是レ永久ノ方法ニシテ現在ト關係ナシト認ム

ルヤ

○政府委員

永久的ノ法律ニシテ、今日ガ此ノ法律ヲ出ス好時期ナリト考ヘタリ、而シテ是レガ通過スルモノトシテ既ニ相場立テリ即チ調節市場ナルモノヲ想像シ得ベシト思フ、而シテ此ノ案實施セラル、モ米價ガ此ノ案ノ爲メニ騰貴スルコトナカルベシ併シ實施セザレバ下落スルト思フ農商務省ガ農會ト一切關係セザリシハ眞情已ヲ得ザルコトアリト思ヒタルヲ以テナリ、若シ其ノ言動ニ政治的ノ色彩ヲ認ムレバ干涉セザル可ラズ、此ノ米價ノコトハ私ノ考ナリ

○若槻禮次郎 要スルニ經驗家ガ如何ニ見ラレ居ルヤヲ伺ヒタシ、今日ノ相場ガ調節相場ナラバ此ノ法案出サザレバ値段ハ崩ル、モノト見ザル可ラズ、此ノ形勢ハ不賣同盟等ニテ作りタルモノナリトノ事ナレバ可ナリト思フ、食料政策ニ於テ見レバ現在ハ不足ナルハ事實ナリ其ノ場合ニ於テハ外國米ニテ防ゲハ可ナリト云フモ日本ノ食糧政策トシテ甚ダ危険ナリ、自給自足ハ希望スル所ナリ併シ現在ハ不可能ナリ故ニ此ノ考ヲ以テ外米ヲ入レヌ頭ヲ以テスレバ重大ナル問題トナル自給自足ハ其ノ語立派ナルモ不可能ナリ

農商務省ガ糧食ノ供給ニ努ムルコトハ可ナリ勉強スレバ三十年後食糧過剩ト云フモ之レ机上ノ空論ナリ、日本人ハ如何ニシテモ外米ヲ入ル、必要アリ然ルニ之レヲ入レザル政策ヲ爲サバ一朝食糧不足スル場合ニ行詰ラザルヲ得ズ、故ニ不足ノ場合ニハ外米ニ依リテ補フト云フ頭ニテ食糧政策ヲ講

ゼザレバ非常ナル誤ヲ生ズ外米ノ輸入ヲ獎勵スレバ農商務省ノ省是トシテ考ヘザル可ラズ此ノ點ニ付一定ノ方針アラバ伺ヒタシ

○政府委員 外國ヨリ一粒モ入レズト云フ意味ノ自給自足ト云フ考ハ有セズ又不可能ナリ大部分ノ食糧ハ我國内ニテ供給シ得ルコトヲ希望スルナリ、外米ヲ虐待スル考ハ毛頭ナシ唯我國ノ農業ノ減退ヲ來サザルヲ期シ、内米本位ニテ行クヲ可ナリト考フ

○若槻禮次郎 外米ヲ日本ニ必要ナル時ニ入レザル可ラズ、之レ平生ヨリ聯絡ヲ付ケ農商務省ノ手ニテ直チニ持チ來リ得ルガ如キ自給自足ニ賛成スルナリ、現在ハ外米ノ入ルヲ防ギツ、アルガ之レ其ノ必要アル場合ニ苦シムコト、ナルベシ故ニ之レヲ念頭ニシテ食糧ノ自給自足ノ途ヲ論ゼラレンコトヲ望ム

○政府委員 其レハ私モ同感ナリ

三月二十二日

○若槻禮次郎 此ノ案ニ依レバ豫メ期間ト價格トヲ告示ストアルモ告示セラル、事柄ハ隨意契約ニ依リテ買フコトヲ前提トセラル、ト思フモ如何ナリヤ

○大 臣 然リ矢張り買フト云フ前提ナリ

○若槻禮次郎 契約入札カ或ハ隨意契約カト云フ質問ナリ

○大 臣 矢張り隨意契約ト云フヲ可ナリト思フ

○若槻禮次郎 隨意契約ニテ物ヲ買フ時ハ其ノ物ノ價格ガ實際ノ市場ノ價格ヨリ高キ場合隨意契約ノ當事者ノミ恩惠ヲ與フルコト、ナル之レヲ認ムルヤ

○大 臣 其ハ已ヲ得ズ其ノ代リ初メニ期間、石數、價格等ヲ限定ス故ニ賣ラントスル者ハ其期間ニ持チ來ル望ム者多クシテ賣ルヲ得ザレバ次期ニ於テスルモノナリ

○若槻禮次郎 隨意契約ニテナサレ其ノ價ガ時價ヨリモ高キ場合ハ或ル人ニ恩惠ヲ與フルコトニナルヲ以テ競フテ買入ヲ要求ス政府ニテ五十萬石買ハントスル時、百萬石ノ買入ヲ要求スル場合ハ如何ニ取扱フヤ

○大 臣 申込ノ前後ニ依リテ判斷スル外ナシ

○若槻禮次郎 其ノ恩惠ヲ先願者ガ受クルコトニナレバ幾多ノ鈴辨、山憲ガ出來ルト思フ

○大 臣 別段之レヲ懸念セズ

○若槻禮次郎 時價ニ依リテ買フコトニナレバ、何人ニモ恩惠ヲ與ヘザルコト、ナルガ故ニ農商務大臣ノ答辯ハ結局時價ニ依ルトノコトナリキ、岡田君ヨリノ質問ニ對シテハ市價ニ依ルト云ヒタルヲ以テ市價ニ依ルト答ヘラル、ト思ヒタルニ先願者ニ恩惠ヲ與フルト主張シテ弊害起ラズト思フト云フハ了解スルヲ得ズ

○大 臣 弊害ノ起ラズト云フハ獨リ大臣ノ決定ノミナラズ、茲ニ委員會ヲ設ケ委員會ニ於テ公平ナル決議ニ依リ之レヲ基礎トシテ決定スルモノナルヲ以テ賣リシモノト賣リ得ザリシ者トノ懸隔ヲ生ズルガ如キ價格ハ決定セズト信ズ

○若槻禮次郎 弊害ノ起ルハ實際ノ價ヨリ高價ニテ買ヒ、安キ價格ニテ賣ル場合ニシテ、何人ガ價格ヲ決定スルモ弊害ノ生ズルコトハ同様ナリ

○大 臣 委員ヲ設ケタルハ公平ニシテ隱微ニ事ヲ行ハズ適切ナル途ニ於テ實行セントスルニアリ前後ノ賣手ニヨリ幸不幸ガ激シクナルコトナシト信ズ

○若槻禮次郎 弊害ノ起ルハ實際ノ價ヨリ高價ニテ買ヒ、安キ價格ニテ賣ル場合ニシテ何人ガ價格ヲ決定スルモ弊害ノ生ズルコトハ同様ナリ

○大 臣 委員ヲ設ケタルハ公平ニシテ隱微ニ事ヲ行ハズ適切ナル途ニ於テ實行セントスルニアリ前後ノ賣手ニ依リ幸不幸ガ激シクナルコトナシト信ズ

○若槻禮次郎 公平ニ爲スモ實際ノ價ヨリ高ク買入ルレバ競フテ買入ヲ要求ス、農商務省ニ於テハ先願者ヲ採ルコトニナレバ大騒動起ル可シト思フ

○大 臣 市價ヲ無視シテ人爲ヲ以テ定ムルコトヲ前提トスル質問ノ如クナレドモ委員ガ公ニ價格ヲ決定スルハ如何ナル委員ヲ選ブモ有リ得ベカラズ、政府ハ時價ト離レタル價格ヲ定メテ他意ヲ有

スルガ如キコトナシ、價格ヲ決定スルニ原價經濟上ノ他ノ價又米自身ノ市價ヲ材料トシテ決ス其ノ時ノ價ノ高低ニ依リ其ノ間ニ差ヲ生ズルモノナリ、何レニセヨ時價ハ其ノ根本ノ基礎トナルモノナリト思フ故ニ非常ナル混亂ヲ生ズルコトナシ

○若槻禮次郎 時價ニテ買フニ非ラザレバ弊害ガ起ルヲ以テ此ノ法律ハ時價ニテ買フ方針ニテ實行スルニ非ラザレバ到底實行スルヲ得ズ、岡田君ニ對シテ生産費其ノ他ノコトハ參考トナルモ賣買ノ價格決定ニハ斟酌セズト云フ意味ナリヤ

○大 臣 單ニ時價ニテ決定スルヤト云フ質問ナリヤ

○若槻禮次郎 スクスレバ直チニ弊害ヲ生ズベシト云フ議論生ズルヲ以テ弊害ノ起ラザル様ニナサザル可ラズ

○大 臣 時價ハ日ニ動搖スルモノナリ、故ニ今日ノ價ハ決シテ來月一日ニ買入ルル時ノ價ニ非ラズ故ニ例ヘバ二十六圓ト決定スルモ時ヲ經テ動キヲ生ジタル場合ニ付テハ多少ノ取捨ヲ爲シ此ノ位ガ適當ナリト云フコトガ自然ニ生ズルナリ、是レ困難ナル問題ナリ、故ニ原價ヲ材料トシ經濟社會ノ一體ノ價ヲ斟酌スルヲ要スル理由茲ニアリ故ニ大體ニ於テ市價ヲ基礎トスレバ正當ト思フ併シ場合ニ依リ多少ノ取捨ヲ爲ス要アルヲ以テ時價ニテ買入ル、コトヲ斷言シ難シ

○若槻禮次郎 原案ノ如ク豫メ價格ト期間トヲ定メテ告示スル方法ヲ採ラバ時價ニヨルモ不可ナリ即

○チ時價ハ刻々ニ動クモノナレバ時價ニ生産費等ヲ加ヘテ買入ルレバ固ヨリ弊害ヲ惹起ス、故ニ原案ハ不可能ナルコトヲ施行セントスルモノナリ、故ニ委員會ヲ設ケテ之レガ局ニ當ルモ到底其ノ目的ヲ達スルヲ得ズ、生産費物價ノ指數ノ斟酌等ハ到底行ハル可キニ非ラズ、從來告示ヲ爲スハ不可ナルコトヲ發見シ得ベシ、次ニ豫メ告示ヲ爲スモノガ時價ト思フト農商務省ガ決定セントスルハ何處ナルヤ分ラズ、賣手ガ要求スル價格中高價ニテ賣ル外途ナシ、次ニ融通手形ニテ買フ場合ニ如何ニスルヤト問ヒタルニ告示ノ價格ニ依リテ買入ル、ト云フモ然ラバ一年ノ期間ヲ其ノ儘ニテ買入ルレバ如何ト云フニ對シテ大臣ハ手形ノ値段ニテ拂フト答フ是レ不思議ナルコトニシテ到底實行スルヲ得ズト思フガ故ニ議場ニ於テ答辯セラレタル通りナルヤ否ヤヲ伺ヒタシ

○若槻禮次郎 議場ニテ答ヘタル通りナラバ計算ヲ一例ヲ以テ答辯セラレンコトヲ望ム

○大 臣 二十五圓ノモノニテモ現金ナラ三十圓ニテ買フ、斯ノ如キコト起ラバ例ヘバ其ノ間ニ利子ガ二錢トシ、今日四月一日トシ、十二月ニ拂フ可キモノトスレバ其ノ内ノモノヲ決定シテ其ノ上ニ利子ヲ加フルコトニナルト思フ

○若槻禮次郎 此ノ證券ノ法定ノ發行期間ハ一年ナリ一年期間ノ證券ニテ今日割引歩合ガ二錢トスレバ市場一石ノ米ノ値段二十五圓トシテ農商務省ニ於テモ此ノ價ニ買入ル、ニ決定シタル場合ニハ告示ハ一石幾何ニスルヤ現實ノ數字ニテ答ヘラレコトヲ望ム

○大 臣 數字ハ直グニ出來ル例ヘ三百日ナラ三百日ト云フ拂ヲ爲ス間ノ日歩ヲ加ヘテ計算スルナリ其ノ間ニ於テ利子ニ多少ノ動搖アルモ大體ハ斯クスル外ニ途ナシ

○若槻禮次郎 私ハ出來ルト思フ故ニ農商務省ハ斯ク爲ス可シト云フガ故ニ數字ヲ以テ斯クスベシト云フ様ニ御答ヲ願ヒマス

○若槻禮次郎 農商務大臣ハ手形ニテ買フ場合ニハ高ク現金ニテハ安クト簡單ニ云フモ割引歩合ヲ如何ニスルヤ日本銀行ニ於テ確定スルニハ法律ニ依ラザル可ラズ、農商務大臣ハ一部ノ計算ヲ外歩ニ計算スルト云フモ之レハ不可ナリ

○大 臣 内減リ外減ト云フコトハ話ノ通りナリ而シテ之レハ勘定スル上ニ割引スル上ニ考慮シタリ何レニセヨ其ノ賣人ニ付直チニ勘定ノ付ク事柄ナリ、例ヘバ政府ニテ是ノ價ニテ買フガ故ニ現金ニ非ラザルモ利益ナリト思ハバ賣ルト云フ様ニ別段私ハ此ノ點ニ於テハ敢テ混雜スルコトナシト思フ

○若槻禮次郎 農商務大臣ハ先カラ出テ來ル様ニ考ヘラル、モ私共モ米穀法ハ斯様ニ改正センコトヲ望ム、價格及期間ヲ告示スル場合ニ於テ價格ハ積極的ニ現ハサザル可ラズ、手形ニテ支拂フガ故ニ此ノ位ナラバト云フコトヲ計算セザル可ラズ、大臣ハ此ノ心掛ニテ第三條ニ依リ價格ト期間ヲ公告スル其ノ價格ハ先方ガ持テ來ルガ故ニ混雜ナシト云フモ大臣トシテハ之レニ對シテ何トカ方策ヲ講

ゼザル可ラズ

一三四

○大 臣 政府ニ於テハ價格ト期間トヲ告示ス、賣ラントスルモノハ持チ來ル始終持チ來ルヤ否ヤハ一體ノ國民ノ意思ニ依リテ起ルモノナリ、政府ハ賣リニ來ル者ヲ待チ斯ノ如キ態度ニテ行動ス是レヨリ先ハ値段ニ依リテ買入ヲ要求シ來ルヲ以テ何モ差支ナシト思フ

○若槻禮次郎 農商務大臣ハ一口ニ二十五圓ノ市價ヲ三十圓或ハ二十九圓ト自分ノ勝手次第ニ決定スルハ不可ナリト思フ、二十五圓ト決定シテ第三條ヲ適用スルト如何ト云フコトニ對シテハ答辯シ得ザルハ當然ナリ、手形ニテ買フ告示ヲ出スハ困難ナリ斯クシテ出來タモノヲ告示スルモ商人、百姓ガ此ノ價格ニ應ズルモ市場ノ價ヨリ高キモノナリヤ否ヤヲ知ルヲ得ズ、故ニ此ノ證券ニテ支拂フコトヲ廢シ、時價二十五圓ナラニ二十五圓トシテ告示シ、契約シ然ル後手形ヲ渡ス場合ニ割引手形ナルガ故ニ二十五圓ナラバ二十八圓六十錢位ノ手形ヲ渡シ割引ヲ爲セバ二十五圓ノ手形トナルカラ渡ス方ニテ算盤スルヲ可トス、然ルニ政府ハ懸買ノ値段ヲ定メント云フニ依リ、問題ガ困難トナルナリ米ガ盛ニ集リ來ル場合ニ於テ何レガ引合フ値段ニ適合スルヤ否ヤ分ラズ、之レヲ伺ヒタシ

○大 臣 私ハ左程困難ナルモノトハ思ハズ

○若槻禮次郎 困難ナル問題トセザレバ數字ヲ御示シテ願ヒタシ

○政府委員 假リニ二十五圓ノ現金ノ價格ナレバ日歩二錢トシテ二十五圓ヲ滿一ケ年ト見テ一圓八十

二錢五厘トナルヲ以テ二十六圓八十二錢五厘トナルベシ

○若槻禮次郎 其レハ如何ニシテ算出シタルヤ

○政府委員 百圓ニ對シテ三百六十五日ニ二ヲ掛ケ七圓三十錢ナルヲ以テ二十五圓ノ原價ニ對シテ、
、、、、、、

○若槻禮次郎 七圓三十錢ヲ四ニテ除シテ加ヘタルヤ

○政府委員 然リ

○若槻禮次郎 七圓三十錢ヲ四ニテ除シ百圓ノ四分ノ一、二十五圓ニ加ヘラル、モノナルガ之レハ數學上間違ヒナリ

○政府委員 例ヘバ三十圓ノ時價ヲ出スニハ利率ヲ五分トシ百ヨリ百分ノ五ヲ引キタル九十五ニテ三十ヲ割ルヲ以テ三十一圓五十錢ニナル

○若槻禮次郎 其ノ通リナリ、之レハ百姓ニモ商賣人ニモ理解シ得ズ斯ノ如クシテ此ノ法律ヲ實行スルハ不可ナリト思フ、而シテ證券ヲ挿ムコトハ一向ニ理由ヲ爲サヌコトヲ伺ヒタシ

備考(米穀法案ハ三月二十三日、二十四日特別委員會ニ於テ糧災救助基金法中改正法律案ト共ニ審議セリ一四七頁以下參照スルコト)

(三) 本 會 議

三月二十五日

一三五

○委員長 之ヨリ委員會ノ經過及結果ヲ報告ス
 奥平昌恭伯

米穀法案ハ本期議會中ニ於テモ最重要ナル法案ナルヲ以テ委員會ニ於テモ慎重審議ヲ盡セリ、本案ニ付テハ米ノ不賣同盟、食糧政策等ノ點ヨリ種々ナル質問アリ、又過剩米計算ニ付計數上ノ質問アリ、殊ニ買入價格ニ付テハ最多クノ質問應答ヲ重ネ、買入價格ノ基礎ヲ何レニ置クヤト云フ點ニ付最モ論議サレ時價、生産費、買入當時ノ經濟界ノ狀況ニ依リ決セントスルモ今日此ノ三者ノ平準ヲ失セルガ之ヲ如何ニスルヤト云フ質問ニ對シ政府ハ委員會ヲ設ケテ數量、價格等ノ重要事項ヲ決スト云フモ委員會モ完全ナル調査ヲ爲ス機關トシテハ不足ナルヲ以テ、一定ノ基準ヲ設ケ自動的計算方法ニ依リ賣買スル方可ナリトノ點ニ付多ク論ゼラレ價格ノ決定ニ付農商務大臣ノ意見ヲ問ヘバ或ハ生産費ト答ヘ或ハ時價ト云ヒ種々異リタル答辯ニテ恰モ桶ノ中ノ鱒ヲ攫ムノ感ヲナセリ、其他買入方法ハ何故競争入札ニセザルヤ證券面ノ金額ハ元金ナルヤ利子ヲ含ム金額ナルヤ倉庫ハ如何ニスルヤ本法案ノ施行ト共ニ外米管理制度ヲ併セ行ハザレバ米穀法ノ活用不完全ナラズヤ食糧政策ヲ國際共通政策ノ方針ヲ採ルコトニシテハ如何今年一石三十五圓ヲ以テ三百萬石ヲ買入ルレバ約一億圓ヲ要シ更ニ來年再來年ト豐作續カバ資金ニ不足ヲ來タスニアラズヤ等ノ質問續出シテ何時議了スルヤ不測ニ至リシヲ以テ小委員會ヲ設ケ審議ノ結果第三條ノ「及期間」ヲ削除シ第二項ニ「前項ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ムベシ」ヲ設ケ附則ノ施行月日ヲ「公布ノ日」ト改メタリ而シテ此ニ

到達スル迄ノ理由ヲ述ベンニ苟クモ常平倉制度ニ於テ米價ノ調節ヲ爲サントスレバ第二條ヲ改正シテ政府自ラ外米ノ專賣又ハ管理制度ヲ設クルニ非ラザレバ本案ノ效果ヲ奏スルコト少シトノ論アリシモ小委員會ニ於テハ或時期ニ於テハ或ハ其ノ實施ヲ必要トセシモ外米ノ專賣管理ハ重大ナルコトナルヲ以テ必要ニ迫テ法規ヲ制定スベシトノ意見多ク前記ノ如ク決セリ

第三條ノ修正ヲナスニ至ル迄ニハ多クノ意見ヲ交換サレタリ、元來價格期間ヲ告示シテ米穀ヲ買入レ賣渡スコトハ甚ダ困難ナリ、實際ノ時價ヲ斟酌シ或ハ經濟上ノ關係ヲ加味シテ決スルトセバ賣買共ニ相手方ニ一種ノ恩惠ヲ與フルヲ以テ運動、弊害其ノ間ニ生ズルヲ以テ競争入札ニ如カズトノ説出デシモ此ノ點ニ付農商務省ヨリ農業倉庫、産業組合其他府縣ノ米穀検査所ニ集マル米ヲ買入ル、場合アルヲ以テ競争入札ニスルハ不便ナリトノ理由ニ依リ隨意契約ヲ認ムルコト、セシモ、價格ハ時價ニ據ラシムルコト、セリ尤モ時價ト云フモ非常ニ變動ヲ來タスコトアルヲ以テ時價ニ準據シテ價ヲ定ムルコト、セリ

價格ノ告示ニ付テハ官吏ノ公正ヲ保ツ保障トナルコトニ疑ヒナキヲ以テ、之ハ當局ノ意見ヲ採用セリ、期間ニ付テノ質問ニ對シ三ヶ月或ハ六ヶ月ト殆ンド理由ナキ答辯ニシテ三ヶ月又ハ六ヶ月間米價ガ一定ノ價格ヲ保タシムルコト困難ナルヲ以テ期間ヲ告示スルコトハ修正セリ

此ノ他米穀法案ニ付小委員會ニ於テハ米穀ノ買入價格及ビ賣出最低價格ニ關スル一定ノ基準ヲ設ク

ルコトニ努メラレタシト云フ希望條件ヲ付セリ、又他ニ第二條ニ「政府ハ米穀ノ需給ヲ調節スル爲必要アリト認ムルトキハ左ノ事項ヲ爲スコトヲ得

一 勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ米穀ノ輸入税ヲ増減若ハ免除シ又ハ其ノ輸入若ハ輸出ヲ制限スルコト
二 外國米ノ輸入輸出ヲ獨占シ又ハ之ヲ管理スルコト」

第三條ニ對シ「帝國內ニ於テ第一條ノ規定ニ依リ米穀ノ買入又ハ賣渡ノ價格ヲ競争ニ付ス」ト此ノ二ツノ異リタル修正說出デシガ採決ノ結果否決シ委員會ニ於テハ小委員會ニ於ケル修正案及希望條件通過セリ

或一委員ヨリ買換交換ニ付質問アリ政府ハ米ヲ賣リ之ト同一數量ノ米ヲ買入ル、コトニ依テ買換ノ目的ヲ達スルコトモアランカ又米ヲ交換シテ價格ノ差金ヲ與フルコトモアルベシ之レノ方法ニ依ルヤ尙賣換ノ賣買ニ賣渡ト買入トノ期間長キニ失スル時ハ需給調節ヲ目的トスル場合ト混雜スルノ恐れアリ、市場ニ對スル影響ハ第三條本文ノ賣買ト同様ナル結果ヲ來タスベク考ヘラル、ガ如何トノ質問ニ對シ政府ハ買換ノ際モ可成告示スベキ考ナルモ少量ノ場合又ハ急速ヲ要スル場合等ニ於テハ告示ハ省略スルコトアルベシト言明セリ

此ノ他本案成立ノ上ハ速ニ米穀ノ買入ヲ行ヒ又ハ外米ニ對シ相當施設セラレンコト等希望サレシ者モアリ質問應答ノ結果益紛糾ニ陥ラントセシガ速記ヲ中止シ本案通過ノ上ハ急速ニ米ノ買上ヲナスベ

ク目下其ノ準備ヲ急ギ外米ニ付テハ本法ノ權限ニ依リ目的ヲ達スルコトニ努力スベシトノ政府ノ言明ニ依リ小委員會ノ異リタル希望決議ハ止メルコト、ナレリ、以上本案ハ修正且ツ希望ヲ附シテ可決セリ

次テ第二讀會第三讀會ヲ開キ委員會ノ修正通り可決確定セリ

第二 罹災救助基金法中改正法律案

罹災救助基金法中改正法案

罹災救助基金法中左ノ通改正ス

第十七條第一項ニ左ノ一號ヲ加フ

五 米穀ヲ買ルルコト但シ買入金額ハ罹災救助基金年度初ノ現在高ヨリ第三條ノ制限額ヲ控除シタル金額ヲ超ユルコトヲ得ス

附則

本法ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

一 衆議院

(一) 本會 議

二月二十四日

○高橋藏相 罹災救助基金ヲ以テ米穀ノ賣買ヲ行フ時ハ一層有效ナリト認メ本改正案ヲ提出セリ

○齋藤宇一郎 罹災救助基金ハ全國ヲ通ジ六千萬圓ニシテ内現金ハ四、五百萬圓位ト考ヘラル、ガ之ヲ中央ニ集メテ米穀法運用ノ資源トスルカ或ハ各府縣自由ニ米穀ノ買入ヲ爲サシムル意ナルヤ若シ然リトセバ、低利資金ノ一部トシテ、産業組合農業倉庫等ニ融通シテ其ノ活動ヲ圖ラントスルヤ

○高橋藏相 罹災救助基金ハ六千萬圓ニシテ多クハ有價證券地方債トナリ、現金三百五十萬圓アリ萬

一ニ備フル爲メ米ヲ貯フルコトモ罹災救助ノ趣意ニ適フベキヲ以テ地方ノ望ミニ依リ本基金ヲ以テ米穀買入ノ途ヲ開カントスルモノナリ

(二) 特別委員會

二月二十八日

○天春文衛 罹災救助基金六千萬圓中公債其ノ他ノ債券トナレルモノ多キガ之等ハ現金トナシテ米ヲ買入レ得ベク改正スルノ意ナルヤ

○岡本局長 基金運用ノ方法トシテ米ヲ買入レ得ベキ途ヲ開カントスルモノニシテ改正後各府縣共直ニ實行スルヤ否ヤハ不明ナリ

○天春文衛 基金中公債其ノ他債券トナレルモノハ更ニ之ヲ現金トナシテ米ヲ買入レ差支ナキヤ

○神野政府委員 現金少キ府縣ニ在リテハ債券ヲ賣ツテ米ヲ買フ必要アラン

三月一日

○成田榮信 地方債券ヲ賣ルトキハ公債暴落ノ虞アルヲ以テ出來得ル限り賣ラシメザル方針ニシテ若シ之ヲ賣ルトキハ大藏省ヘ内議スベク命ゼラレタリト聞クガ、果シテ如何

○高橋藏相 此ノ基金ヲ以テ從來公債等ヲ買入レシガ夫レト同様地方ニ於テ必要アリト認メタル時米ヲモ買入レ得ルト云フ途ヲ開カントスルニ過ギズ

○八田宗吉 罹災救助基金ノ監督ハ内務、大藏兩省ニテ爲セルガ米ノ買入ハ農商務省ニ密接ナル關係ヲ有スルニ之ニ關スル改正ヲナサザル理由如何

○高橋藏相 之ハ此ノ基金ヲ以テ必要アル場合地方ニ於テ米ヲ買入レ得ルト云フ途ヲ開クニ過ギズ

○齋藤宇一郎 罹災救助基金ヲ産業組合、農業倉庫等ニ融通スルコトトセバ、農村金融上有利ナラント思惟サル、ガ政府ニ其ノ意思アルヤ否ヤ

○高橋藏相 之ニ付テハ研究ノ要アリ

○八田宗吉 罹災救助基金ヲ以テ地方ニ於テ米ノ賣買ヲナシ得ルトセバ之ガ連絡上ヨリスルモ農商務大臣ニ於テ基金ノ監督權ヲ有スルノ必要アルベシ、然ルニ今回之ニ關スル改正ヲ見ザルハ甚ダ遺憾ナリ

○田中次官 今回基金法改正ノ結果特ニ監督ノ爲メニ農商務省ヲ加フルノ必要ヲ認メザルモ之ガ運用ニ就テハ内務省及地方廳ト十分連絡ヲ取り遺憾ナキヲ期スル考ナリ

三月四日

○齋藤宇一郎 基金法改正案ニハ賛成ナルガ尙更ニ進ンデ基金ヲ低利ヲ以テ産業組合及農業倉庫等ノ資金ニ運用スル爲メ第十七條ノ修正意見ヲ提出スルモノナリ

○土井權太 現在ノ産業組合中優良ナルモノハ遊金多クシテ却ツテ困リ成績不良ナル組合ハ之ヲ先ツ整理スルノ必要アリ、故ニ基金ヲ産業組合ノ資金トシテ融通スルコトハ今日ノ状態ヨリ見テ時期尙

早ナルヲ以テ之ニ關スル修正案ニハ反對ナリ

○荒川五郎 地方農民ガ低利資金ヲ要望スルコト極メテ切ナリ、此ノ秋ニ當リ罹災救助基金ヲ以テ産業組合農業倉庫等ニ融通スルハ當ニ農民ヲ保護スルノミナラズ國民全體ノ生活安定ヲ圖リ且ツ米穀法ノ趣旨ヲ徹底セシムル上ヨリ云フモ緊要ノコトナリトス、土井君ノ所謂優良組合ニシテ遊金ニ苦ム如キハ未ダ資金運用ノ途ヲ知ラザルモノニシテ、之等ハ能ク之ヲ指導シ、不良組合ハ監督ヲ嚴ニスベシ

吾人ハ齋藤君ノ修正案ニ賛意ヲ表スルト共ニ滿場ノ賛成ヲ希望スルモノナリ

討 論 終 結

○小野理財局長 基金法修正ノ意見提出サレタレドモ、元來此ノ基金ハ其ノ性質ニ鑑ミ何時如何ナル災害アルモ差支ナキ様餘裕金ノアルモ其ノ運用ハ最モ確實ニシテ、且ツ何時ニテモ現金ニ代ヘ得ベキ方法ナラザルベカラズ、從ツテ之ガ運用ノ途ハ極メテ狭ク、産業組合、農業倉庫等ニ融通スルコトハ極メテ考慮ヲ要スベキコトニシテ、加之現在基金ハ此ノ法ニ許サレタル運用ノ途ニ運用サレ更ニ之ヲ以テ米ノ買入レヲ行フ時ハ餘裕金ハ一層減少シ組合倉庫等ニ融通ノ途ヲ開クモ、或ハ形式ノミニシテ實際融通スルコト難カルベシ
故ニ基金ノ性質及現狀ヨリ見テ一層考慮スベキコトナリト信ズ
採決ノ結果修正案否決原案可決

(三) 本 會 議 (第一讀會ノ續)

三月六日

○委員 長

○山本悌二郎 罹災救助基金ノ大部分ハ有價證券ナルガ、原則トシテハ此ノ有價證券ヲ現金ニ戻スコトモ差支ナケレドモ、直チニ現金トナシテ米ノ買入ヲ爲サシムル意思ニアラズシテ、只此ノ基金ヲ運用シテ米買入レノ途ヲ開カントスルニ在リト云フ政府ノ説明アリ

○長田桃藏

此ノ基金ヲ農業倉庫及産業組合ニ低利ニテ貸付ケントスル憲政會側ノ修正案ニハ反對セリ

○荒川五郎 罹災救助基金ヲ農業倉庫並ニ産業組合ニ融通シ得ルノ途ハ即チ此ノ問題ヲ完璧ナラシムル所以ナリト信ズ

○齋藤宇一郎

罹災救助基金法第十七條第一項第一號中「公共團體」ノ下ニ「産業組合及農業倉庫」ヲ加フ、同條第二項中「公共團體」ノ下ニ「産業組合及農業倉庫」ヲ加フト云フ修正案ヲ提出ス此ノ基金ヲ以テ米穀ノ賣買ヲ爲ストキハ或ハ損失ヲ來スコトナキヲ保セザルベシ、如此基金法ノ根柢ニ影響スル米ノ買入ヲ許ス位ナレバ、目下中小農ノ困難セル資金供給ノ爲メニ産業組合、農業倉庫ニ貸付クルコトハ當然ノ事ト謂ハザルベカラズ、此レ修正案ヲ提出スル所以ナリ

○萩 亮

齋藤君ヨリ修正案出デタルモ如此基金運用ノ範圍ヲ擴張スルハ基金法ノ目的ヲ達シ能ハ

○米價ノ減ミ米價ノ人ミナラズ、産業組合、農業倉庫等ニ貸付クルトキハ回收ノ見込ナキモノヲ生ジ基金危カラシムル虞アルヲ以テ修正案ニ反對ナリ

ニ選

第二讀會

第三讀會

採決ノ結果原案可決確定

二 貴 族 院

(一) 本 會 議

三月八日

○高橋藏相 罹災救助基金ヲ以テ米穀賣買ノ途ヲ開カン爲メ本案ヲ提出セリ

○上山滿之進 此ノ基金ヲ以テ米ノ買入ヲナスハ中央政府ノ手傳ヲナサシムルヤ或ハ各府縣任意ニ賣買ヲナスヤ、若シ府縣任意ニ賣買ストセバ、時期、數量、價格等ノ決定上種々ノ困難弊害ヲ生ジ效少ク害多キニ至ラン

○山本農相 此ノ基金ハ元、備荒貯蓄等ヨリ起リシモノニシテ政府ニ於テ備荒的性質ヲ帶ビタル米ノ調節ヲ圖ル時ニ於テ罹災救助基金ヲ有スルモ之ヲ以テ米ノ買入ヲ爲シ得ザル如キハ甚ダ窮乏ナルヲ以テ必要ナル場合ハ之ヲ爲シ得ベキ途ヲ開カントスルモノナリ

○上山滿之進 食糧問題ノ解決上、罹災救助基金法改正ノ必要何處ニ在ルヤ又中央ト地方ニ於テ賣買

ヲ爲ストキハ双方ノ政策衝突スルガ如キコトナキヲ保セザルベシ

(二) 特 別 委 員 會

(米穀法案ト併セ審議ス)

三月二十三日

○上山滿之進 罹災基金法中改正法律案ハ此度ノ食糧政策ノ一部トシテ提出セルハ問題ナキコトナリ食糧政策ノ見地ヨリ何故ニ此ノ改正ヲ爲サザル可ラザルカ此ノ改正ノ結果食糧政策ヲ妨グルコト、ナラザルヤヲ懸念ス、第一此ノ法律ニ依リ罹災救助基金ヲ利用シテ米ヲ賣買スルハ政府ノ食糧政策ト如何ナル連絡ヲ取ルヤ、政府ノ手傳ノ意味ナリヤ、或ハ政府ノ政策ニ獨立シテ、府縣ニテ自由ニ米ヲ賣買スルコト、ナルヤ、第一ノ意味ナレバ、貧弱ナル金ヲ以テ二億圓ノ手傳ヲ爲サシムル道理ヲ解スルヲ得ズ、又斯クスレバ仕事混雜シ來ルベシ、又政府ノ食糧政策ト連絡ナク府縣ハ自由ニスルコトニナレバ甚ダシキ弊害アリ、常平倉制度ヲ立テ、食糧政策ヲ解決スルハ普通ノ經濟法ニ反シタルコトナリ、然ルニ之レヲ爲スハ我々ノ日用ノ食糧品ノ安定ヲ得ントスルニアルヲ以テ、此ノ需給ノ方法ハ日本國ノ一ツ所カラ發セザル可ラズ、中央ニ於テスルニテモ困難ナルコトアリ、故ニ之レ中央一ヶ所ニ於テ爲ス可キナリ、府縣ニ於テ爲スコトニスレバ、農家多キヲ以テ米價廉キ場合ニ於テハ頻リニ買入ヲ求ムルモ貯へ居ル米ガ高價トナリタル時ニ賣却ヲ要求スルコトハ府縣ヲ通ジテ通過セズト云フガ如キ弊害ヲ生ズルモノナリ、故ニ右ノ二件ヲ併フ所以ナリ

○政府委員
村上隆吉

米穀法ヲ實施スルニ付キテハ能ク地方長官トノ聯絡ヲ取り、或ハ農會、産業組合ノ決議ヲ利用シ各府縣ニ涉リテ、能ク其ノ需給調節ノ按排ヲ圖リテ、賣買セントス、又幸ニ或ル府縣ニ於テモ此ノ備荒ノ基金ヲ以テ米穀ヲ買入ル場合ニ中央政府ノ米穀ヲ買入ル、ト相俟テ其ノ間ノ鹽梅ヲ可スルニツキ遺憾ヲ感ズルコトナシト認ム、而シテ今日ニ於テハ基金ヲ備ヘル外ニ米穀法ヲ置カザル可ラザル要ナシトスルモ、元來ノ性質ヨリ考ヘ又食糧政策ノ上ヨリ考ヘテモ此ノ基金ヲ以テ米穀ヲ買入ル、途ヲ開キ置クハ當然ノコトナリト思フヲ以テ、米穀法ノ制定ト共ニ基金法十七條モ改正シタルナリ、併シ之レニ充當スル金額ハ僅少ナルヲ以テ現在ノ政策上ニ大ナル效果アリト考ヘズ併シ米穀ヲ買入ル、ヲ得ル場合ハ米穀法ト同ジ效果ヲ齎スコトヲ得ベシ、故ニ唯此ノ機會ニ當リ其ノ途ヲ開キタルニ過ズ

○上山滿之進 現在ノ現金ノミニテハ其ノ效果殆ンドナキモ、將來ハ相當ナル效果ヲ上グルコトヲ期待スルモノト思フ、此ノ意味ニ於テ、此レガ中央ノ食糧政策ノ代理ノ意味ナリヤ、中央ノ政策ト離レテ府縣ノ自治事務トスルヤ

○政府委員 之レハ全ク府縣ノ事務ニシテ中央ノ政策トシテセラレズ、併シ實行スル上ニ於テハ兩者衝突ヲ來スコトナキ様ニス

○上山滿之進 私ノ云フハ中央ニ於テハ一定ノ食糧政策ガ立ツル其ノ政策ハ全國ニ亘リタル政策ナリ其ノ傍三府四十三縣ガ思ヒ〜ニ賣買ヲセバ中央ノ食糧政策ノ實施ヲ妨ゲザルヤ、中央ニテハ食糧

政策ニテ米ヲ買ハントスルモ、府縣ニテ行動ヲ共ニセザルモ之レヲ強制スル方法ナシ、前年米ヲ賣出サシメタル時モ自分ノ府縣ダケニ使フ米ノ賣出シヲ盛ニ行ヒシモ、縣外移出ハ農商務省ガ努力セシモ其ノ效ナカリキ故ニ食糧政策ガ地方自由行動ノ爲メニ支障ヲ生ズ、此ノ法律改正ニナレバ永久ニ此ノ法律ハ行ハル、ナラン、而シテ中央食糧政策ト地方ノ自治事務トノ間ニ聯絡ヲ缺グコト、ナルト思フ

○政府委員
田中隆三

事實上地方ト中央トハ聯絡ヲ取り居ルヲ以テ斯ノ如キ心配起ラザルコト、認ム、若シ其ノ虞アレバ罹災救助基金ハ管理方法ニ付テハ内務大臣、大藏大臣ヨリ方法ヲ指定スルコトヲ得ル法律アルヲ以テ中央政府ノ政策ト相容レザル事ヲ爲シ得ザル様命令スルコトヲ得ルヲ以テ心配ナシ

○上山滿之進 監督命令ヲ發スト云フモ何大臣ヨリ發スルヤ米ノ安キ場合ニ買フ場合ハ割合ニ問題ナキモ、米ノ高キ場合ハ困難ナリ、何故ニ斯ク混雜ヲ來スコトヲ爲スカ、二億圓ヲ擁シテ食糧政策ヲスレバ充分ナラズヤ、然ルニ之レニ地方團體ヲ參加セシメザル可ラズト云フ理由ハ解シ難シ

○政府委員 地方ト中央ト區々ニ處置スルコトヲ心配ニナルモ現ニ内務大臣、大藏大臣ノ罹災救助基金ノ方法ヲ指定スル條項ニ依リ、區々トナリ衝突スルヲ防グ途アリ、又中央政府ノ米穀法ニテ足ルト云フハ理由アリト思フ、併シ米穀法ハドコマデ政府ノ手ニ收容セザル可ラズト云フ趣旨ノモノニ非ラズ、故ニ地方ニテ收容スル場合アラバ、其ノ部分ヲ差引タル殘部ヲ中央政府ニテ收容スルコト

モ差支ナシ

一五〇

基金法ノ改正ガ米穀法ノ實施支障ヲ來サズ

○上山滿之進 現在ノ制度ノ範圍ニ於テモ食糧政策ノ目的ヲ以テ米ヲ賣買スルハ米穀法案ヲ通過シテ、中央ニ其ノ制度立チタル以上ハ地方ヲシテ爲サシムルモノニ非ラズト考フ、故ニ内務大臣ノ監督權ニ依リテ農商務大臣ト打合セテ地方ニ干涉セシメザルヲ以テ混雜ヲ生ゼシメザルヲ至當ト思フ仍テ之レヲ食糧政策ノ一部分トシテ提出セラレタル意ヲ解シ難シ

○中川良長 上山君トハ反對ニ罹災救助基金法ヲ中心トシテ此ノ食糧政策ニ考ヘ及ブモ了解シ難キ所アリ、此ノ基金法ノ目的ハ府縣ノ全部一部ノ非常ノ災害ニ依リテ苦シムモノヲ救助スルモノナリ、急ノ災害アル場合ニ直チニ之レニ應ズル資金ヲ要スルハ重大ナルコトナリ、然ルニ米ヲ買入レテ置クトキハ災害ノ起リタルトキ此ノ米ヲ處分スルト云フモ出來ザル場合アリ、且ハ地方ニ資金ナキ場合ニハ米ヲ買入レタルガ爲メニ特別ナル課稅ヲ爲サザル可ラザル實情起ルト思フ、而シテ罹災救助ノ底底ヲ覆スコトニナルベシ

○政府委員 災害ノ場合ニ全部米ヲ換ヘザル可ラザルコトハ少シ、殊ニ罹災ノ場合ニ金ヲ有スルモ米ナケレバ大騒動起ル、故ニ其ノ運用方法ヲ如何ニスルカハ各割合ニ應ジ、又地方ノ狀況ニ應ジテ基金ヲ運用スルモノナリ、災害ノ準備トシテ米穀ヲ買入レテ非常ナル騰貴ヲ爲セル場合ニ倉ヲ開キテ變動ノ起ラザルヲ期スルハ災害ノ豫防ノ目的ヲ達スルニ必要ナリ

○中川良長 併シ米ノミ災害ノ目的物ニ非ラズ、例ヘバ大部分ノ村落ガ燒ケタル場合米ハ澤山アルモ

是レ何等効果ナシ、建築其ノ他ノ爲メニ基金ヲ要ス此ノ場合米ノミ買入レタル場合ハ資金ヲ何レニ仰グト云ヘバ、法律ノ示ス如ク地方稅ニ依リ一般ニ負擔セシメザル可ラズ、之レ甚ダ不都合ナリ

○政府委員 罹災救助基金ニテ全部米ヲ買入ル、ト云フ意味ニ非ラズ、又基金ノ中ノ何部分ヲ米ニ替

ヘルコトニ付、其ノ府縣ノ財産狀態ニモ依リ、又公債證書ノ如キハ米ガ非常ニ安價ナルヲ以テ其ノ

高價トナルヲ豫想シテ公債證書ヲ賣リテ米ヲ買入ル、ヲ可ナリト云フ政策ヲ執ル府縣アリ、兎ニ角非常ナル危險狀態ニ基金ノ使用ヲ改ムル意味ニ非ラズ又罹災救助基金ヲ成ル可ク米穀ニ變更セシムル方策ヲ執ル意味ナラバ心配ノ起ルモ勿論ナルモ毫モ斯ノ如キ意味ナシ

○中川良長 罹災救助基金ト此ノ米穀法トハ絶對離レテ救助基金ニ依リテ、米ヲ買入レルト云フ條項ヲ加ヘタルニ過ギズト然ラバ其ノ米穀ハ何ノ爲メニ使用スルカ給與品ニ使ハル、ト思フ、然ラバ第十七條二項ニ「豫メ給與品ヲ買入ル、コト」ト云フ條項アルヲ以テ給與ヲ爲ス爲メニ買入ル、ト云フ唯今ノ説明トスレバ特ニ米穀ヲ買入レルコトト云フ條項ヲ加ヘザルモ、地方長官ガ唯今ノ米ヲ買置キ將來不慮ノ災害ノ時ニ米ヲ與ヘル事ニスル方便ナリ、又債券ヲ賣リテ米ヲ買フヲ可ナリト云フ、自由裁量ニスルコト、セバ、第十七條二項ニ豫メ給與品ヲ買入ル、コト、云フ、規定アルヲ以テ、給與品ノ中ニ米モ入レテ差支ナシ

一五一

○政府委員 第十七條ノ二項ノ豫メ給與品ヲ買入ル、ト云フハ所謂些細ナル給與品ノコトナリト解釋ス、相當ノ價格ノ米穀ヲ買入レルト云フ意味ニハ適用シ難シト思フ、又必ズシモ給與ト云フ目的ノミヲ以テ基金ヲ運用スル趣旨トナサズ、公債證書トシテ保管シ置クヨリ其ノ模様ニ依リ之レヲ米穀ニ替ヘ他日給與ノ必要ナキ時ニ之ヲ賣リテ基金ノ増殖ヲ圖ルト云フコトモ爲シ得ルナリ、給與トハ初メヨリ其ノ目的ヲ以テスルモノノミト思フ、基金通用ノ趣旨ヲ以テ米穀ヲ買入ル、モ可ナリトスル爲メニ此ノ改正ハ必要ナリ

○中川良長 米穀ヲ買入ル、ハ基金運用ノ爲メニナルト解釋シテ然ル可キカ

○政府委員 大體然リト思フガ、給與ノ爲メニ米穀ヲ買入ル、コトアリ、加何ナル場合ニ於テモ米穀ヲ買入ルレバ運用ト云フ意味ニ非ラズ、此ノ度ノ改正ハ運用ノ爲メニ買入ル、ヲ得ル途ヲ開キタルナリ

○中川良長 唯今ハ之ヲ運用スル爲メニ此ノ米ヲ買入ル、ト云ヒタルモ上山君ノ質問ニ對シテハ地方ニテ基金ヲ以テ買入レタル差額ヲ中央ニテ買フト答辯セリ、然ラバ中央ノ米穀法ト此ノ基金法トハ非常ニ深キ關係アル如ク了解シタリ、然ルニ今ヤ基金運用ノ方策ナリト、然ラバ何レヲ信ジテ可ナリヤ

○政府委員 中差額ニテ買入ル、トハ云ハズ

○中川良長 地方ノ基金ニテ買入レタ差額ヲ中央ニテ買フト云ヘリ、例ヘバ中央ニテ三百萬石買フトスルナレバ地方ニテ買入レタル石數ノ其ノ差ヲ中央ニ貯フルト云フ方法ヲ爲スト

○政府委員 其レハ地方ニ於テ罹災救助基金ヲ以テ或ル數量ヲ買入レタリトスレバ、中央ニテ其ノ數量ハ買入レズニ濟ムコトモアリ、此ノ法律改正ノ結果斯ノ如キ副産物モアリト云ヒタルニ過ズ

○中川良長 然ラバ地方ノ基金ニテ買ヒタル差額ヲ中央ニテ買ヒタルコトヲ前提トシ地方ニ急ニ其ノ資金ノ入用ナル場合ニ此ノ米ヲ賣出ス必要アリ、此ノ時ハ中央ノ政策ハ破壊セラルベシ

○政府委員 地方長官ガ中央ノ政策ニ抵觸シタル政策ヲ爲スガ如キコトハ監督ノ作用ヲ以テ爲サシメズ、彼是方針ニ齟齬ヲ來スコトナシ

○政府委員 岡本英太郎 食糧政策ハ政府ノ力ノミヲ以テ解決スルコト困難ナリ、故ニ全國ノ生産者消費者ノ協力ヲ得ザル可ラズ、中央ノミニテハ其ノ隔々ニ行キ渡ラズ、況ヤ財力ニモ限リアルヲ以テ國民全體ノ力ニテ出來得ル限り生産ヲ進メラレンコトヲ希望ス、今日基金ノ一部ハ之レヲ擴張解釋スレバ米ヲ買入ル、ヲ得併シ目的ガ給與品ナルガ故ニ狭クナルモ資金運用ノ道ヲ開キテ地方ノ必要ノ場合ニ應ズベシ、故ニ給與品ニテ米ヲ買フト得ベシ一步進メテ此ノ道ヲ開キ置クハ副作用トシテ良好ナル結果ヲ得ルコト多シト考フ

○中川良長 地方ニ賣出シテ中央政策ヲ誤ルガ如キコトアレバ、罹災基金ノ法律ニ依リテ其ノ運用ヲ

左右シテ勵行スルガ故ニ、中央政策ヲ誤ル恐レナシト尤モナレドモ救助基金ノ根本ノ精神ハ救助スル目的ニシテ此ノ目的ノ基金ヲ需給調節ノ目的ナル米穀法ノ買入ニ使用スルハ不當ナリ、救助基金ハ性質上罹災アリテ資金ヲ運用スベキモノニシテ、他ノ用ニ供スルモノニ非ラズト思フ、之レニ對スル的確ノ説明ヲ望ム

○政府委員 罹災救助基金ノ設置ノ目的ハ今云ハレタル通りナルモ、餘裕金アル場合ニ之ヲ死藏スルハ愚ナリ、故ニ之レヲ避ケンガ爲メニ適當ノ方法ヲ以テ運用セシムルハ基金増殖ノ上ヨリシテ妥當ナリ、現行法ニ於テ國債ニ投資シ、大藏省預金ニ入ルレバ是ヲ死藏セズ運用スル方法ナリ、之レヲ運用スル動機ハ穀類ノ需給調節ニアリテモ差支ナシ

○上山滿之進 本案提出ノ主タル理由ハ、基金運用ニアリト云フ、而シテ資金ノ運用ハ米ノ買入ヲ改正ノ目的トス之レ資金ヲ利殖スルコトナリ、此ノ目的ニ價格變動シ、且ツ保存上モ厄介ナルモノヲ買入ル、ヤ、預金スルコトガ最モ確實ナル方法ナリ、然ルニ危険ナル運用ノ方法ヲ何故ニ採用セラレタルヤ

○政府委員 需給調節ノ動機ニ依リテ、運用ヲ一方法トシテ第十七條ニ規定ヲ入レタルナリ、運用ノ點カラ云ヘバ何レニシテモ法ニ抵觸スルコトナシト思フ

○上山滿之進 直接ノ目的ガ資金運用ト云フナレバ何故ニ斯ノ如キコトヲ選バヤ

○政府委員 上山君ノ議論ハ結局不確實ナリト云フモ、政府ハ斯ク考ヘズ勿論米ハ價格ニ上下アルモ小野義一 損得平均スルモノナリ、故ニ此ノ特別會計モ案出セラレタルモノナリ、全ク冒險的ノモノト異ルモノナレバ差支ナシト思フ

○上山滿之進 地方ニ於テ資金運用ノ爲メニ何故ニ斯ク危険ナルモノヲ選バル、ヤ、價格上下アリ且ツ保存スルニ相當ナル不便アリ、故ニ此位不確實ナル運用方法ナシ

○政府委員 要スルニ需給調節ヲ大目的トスレバ斯ノ如キコトヲ爲ス必要ナキモ、需給調節ノ目的ヲ兼ネ其ノ資金ノ運用ノ一方法トスレバ斯ノ如クナルベシ

○上山滿之進 政府ノ説明ハ需給調節ガ目的ナラバ其レニ付、答辯スルハ可ナリ、然ルニ答辯ガ苦境ニ入レバ資金運用ノ理由ヲ持チ出シ政府ノ趣旨ヲ能ク伺ハザレバ理解ニ苦シム余ハ何故ニ需給調節ニ斯ノ如キコトヲスルカ政府ノ希望スル所ニ依レバ、混亂ヲ來スベシ何ニモ斯ク危険ナコトヲ爲サザルモ可ナラン

○中川良長 私モ今ノ異ル目的ニ向ツテ資金ヲ運用スルコトニ付、何等了解スル答辯ヲ得ズ、農商務次官ニ名案アラバ伺ヒタシ

○政府委員 米ノ買入ハ米ノ餘リテ價格ノ下落セシ場合ノ出來事ナリ、故ニ買入ニ依リテ利得アルモ田中 損失スルコト無シト云フ前提ノ下ニ出來タルモノナリ、其レハ事實ノ問題ニシテ、斯ノ如キコトヲ

前提トスルヲ以テ運用方法トシテハ差支ナシ、副作用トシテ給與品ハ之レニ依リテ買フモ其レ以上ノ給與ヲ要スル場合ノ充當ニモナリ得ル、災害ノ場合ニハ極メテ必要ナルヲ以テ斯ノ如キ方法ヲ取ルヲ可トセン

○委員長 各委員ヨリ第二條ニ對シテハ政府米穀ノ需給ヲ調節スル爲メニ必要アリト認ムル時ハ左ノ事項ヲ爲スコトヲ得トシテ勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ米穀ノ輸入税ヲ増減若ハ免除シ又ハ其ノ輸入或ハ輸出ヲ制限スルコトヲ得、二、外國米ノ輸入若クハ輸出ヲ督勵シ又管理スルト云フコト是ヲ新ニ設ケタルナリ、第三條ニ於テハ政府ハ帝國内ニ於テ第一條ノ規定ニ依リ之ヲ決シ米穀買入及賣渡ハ時價ヲ以テ爲ス可ラズト修正サル、意見ト第三條ノ第一項ノ規定ノ中、規定ニ依リ米穀ノ買入ハ競争入札ノ契約ニ依ルベシ、此ノ二ツノ意見交換セラレタルモ多數ノ者ノ意見ヲ聽取スルハ不便ナルヲ以テ小委員會ニ付託スルコト、セリ

三月二十四日

○委員長 小委員會ニ於テ取調ベタル決定ノ報告ヲ願ヒタシ

○若槻禮次郎 小委員ニテ決定シタル米穀法ニ於テ第三條中「價格及期間」トアルヲ「及期間」ヲ削リ第二項ニ「前項ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム可シ」ト云フ規定ヲ設ケタリ、次ニ附則ノ施行期日ヲ「本法ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス」トアルモ之ヲ「本法ハ公布ノ日ヨリ施行ス」ト

セリ、米穀需給調節特別會計法案ハ其儘ニシテ修正ヲ加ヘズ罹災救助基金法ノ改正ハ否決ス茲ニ到達スルマデハ種々ノ議論出デタルモ先第二條ニ政府ハ輸入税ヲ増減若ハ免除シ又ハ其ノ輸入若ハ輸出ヲ制限スルコトヲ得ト云フ規定アリ、之レヲ改正シテ政府ハ外國米ノ專賣又ハ管理ヲ爲スコトヲ得ト云フ規定ヲ此所ニ入レントノ意見アリ、是レ政府ガ常平倉制度ニシテ米價ノ調節ヲ圖ラントセバ外米ハ政府ガ專賣スルカ、或ハ政府ガ管理シテ商人ノ取扱ニ付テ政府ノ許可ヲ要ストセザレバ米穀法ノ目的ヲ達スルコトヲ得ズト云フ議論アリ、小委員會ハ之レヲ至極相當ナリトスルヲ以テ或ル時ハ之ヲ實施スル必要アランモ米穀ノ專賣、米穀ノ管理ハ實ニ重大ナルコトニシテ、議會閉會中政府ノミニテ爲ス事柄ヨリモ重大ナ事柄起リタルトキハ、法規ヲ制定シテ爲サザルヲ可ナルベシト云フ意見アリテ、只今申シタルガ如キ修正ヲ加ヘラル、ニ至レリ、第三條ニ於テハ元來價格期間ヲ豫メ告示スルハ事實モ困難ナリ時價ニ何等カ斟酌ヲ爲シ或ハ經濟上ノ關係等ヲ加味シテ決定スレバ實際ニ當ラス弊害ヲ生ズル原因トナル仍テ競争入札ニ依リ政府側ヨリ進ミテ價格ヲ示サズ、賣手側ヨリ時價相當ト認メタル場合ニ之ヲ賣買スルガ相當ナリトノ意見アリ、併シ悉ク競争入札ニ附スルハ不便ナルガ故ニ、隨意契約モ認ムル要アルノ實情アルヲ以テ、之レガ評議ヲ爲シタルモ時價以外ノモノヲ價格ト定メテ賣買スル點ニ歸着セリ、從テ生産費モ物價ノ指數ヲ斟酌セズ、時價ニテ行クコトニ小委員會ハ決定セリ、併シ時價ハ始終動搖ス、故ニ時價ニ依ルコトヲ明記スルハ不都合ナル

場合ヲ生ズルヲ以テ主義ハ茲ニ存スルモ取扱上ニ便利ナル爲メ時價ニ準據シタ價格ヲ決定スルト爲セリ、併シ農商務省ニテ價格ヲ維持スルニハ役人ノ公平ヲ保ツ保證トナルト信ズ、故ニ農商務省ノ考モ幾分見ザル可ラズト云フ意味ニテ價格ハ最モトセリ、期間ニ付テハ價格ハ時價ヲ豫期スルガ故ニ一定ノ期間價ヲ保ツハ無理ナリ又之レハ手形ニテ買フカ現金ニテ拂フカ惑フヲ以テ之ヲ確定スルヲ可ナリトシテ、第三條ノ改正ヲ見タルナリ、附則ハ四月一日ト公布シ得ルヤ否ヤ確定セザルヲ以テ公布ノ日ト爲シタルナリ、次ニ特別會計法ニ付手形ニテ拂フハ不便ナリトスル議論アリシモ、政府ハ經濟上、金融上、豫算編成上等考へ苦心ノ結果拵ヘタルモノナレバ、原案ニテ可ナラントノ意見アリ、仍テ小委員會ニテ改正ヲ加ヘヌコト、セリ、此ノ案ヲ認メ實行シ不便アラバ改正スルニ付政府ノ言明ヲ得テ修正ヲ加ヘザルコト、セリ、罹災救助基金ニ付テハ之レヲ否決スルヲ至當トスル意見多キヲ以テ否決セリ、小委員會ノ希望條件ハ米ノ賣買ノ最高最低ヲ決定シ、其ノ標準ニ達セルトキニ調節ニ着手スルコトナリ、併シ之レハ至難ノ問題ナリ、上山君ハ基準ヲ設クルヲ得ルト云フハ至難ナレバ政府ハ之レヲ設クルニ努メラレタシト云フ希望條件ヲ附シテ議決セリ、之ノ案文ハ必要ナラバ示サン

○上山滿之進 希望決議案文ハ「米價ノ買入價格賣出シ最低價格ニ關シ一定ノ基準ヲ設クルコトヲ努メラレ度シ」是レナリ

○委員長 修正ノ意見アラバ述ベラレ度シ

○上山滿之進 第二條ニテ外國米ノ輸入輸出ノ獨占又ハ管理ニ關スル規定ヲ加ヘタシト云フコトナリ大體吾々ノ食糧ノ問題ハ日本米ト外國米ト相伴フテ初メテ供給ヲ全スルヲ得ルノガ過去ノ實情ナリ、將來モ然リ、然ルニ外米ニ對シ、輸入輸出ヲ制限スルコトノミニテハ不充分ナリ、會期切迫セル時ナルヲ以テ百歩ヲ譲リ專賣ハ必要ノ場合ニハ出來ルト云フ制度ニナサレ度シ、之レヲ提出セントス斯クスレバ消費者ト生産者トノ利害ヲ考フル食糧政策ヲ確立スル根本トナルモノナリ

○委員長 修正ノ條文ハ如何ニセラル、ヤ

○上山滿之進 第二條ヲ「政府ハ米穀ノ需給ヲ調節スル爲メ必要アリト認ムルトキハ左ノ事項ヲ爲スコトヲ得、一、勅令ヲ以テ期日ヲ指定シ米穀ノ輸入税ヲ増減若ハ免除シ又ハ其ノ輸入若ハ輸出ヲ制限スルコト二、外國米ノ輸入及輸出ヲ獨占シ又ハ之ヲ管理スルコト」是レナリ

○岡田良平 第三條ノ修正ニテハ尙ホ原案ニ付屬セル弱點アリト思フ時價ニ準據シテ定ムルモ、價格ノ高低ヲ豫想シテ買手又ハ賣手ガ幅濫シ來ル故ニ賣手買手ヲ撰擇スル困難アリ、如何ナル方法ニスルモ不公平ヲ免レズ、故ニ競争入札ニ依リテスレバ公平ヲ保チ得ベシ、故ニ第三條ニ「第一條ノ規定ニ依リ米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ爲サントスルトキハ競争ニ付スベシ」トシタシ、又此ノ修正案ニ於テ不完全ト思フハ前項ノ價格ハ「市價ニ準據シ之レヲ定ム可シ」トアルモ「但シ米穀ノ買換貯藏米穀整

理ノ爲メニスル賣渡其ノ他必要ト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ」トアルモ之レハ不必要ト思フ故ニ
競争ニ付ス可シトスレバ總テ缺點ヲ除キ得ルノミナラズ、會計法ノ原則ト一致シテ公平ニ實行スル
ヲ得ルト思フ

○委員 長 第三條ノ所謂岡田案ハ政府ハ帝國內ニ於テ第一條ノ規定ニ於テ米穀ノ買入ハ競争入札ヲ
爲スベシト了解シテ可ナリヤ

○岡田良平 私ノ云ヘルハ「帝國內ニ於テ第一條ノ規定ニ依リ買入又ハ賣渡ヲ爲サントスルトキハ競
争ニ附ス」ナリ但書ハ全部削除ス、私ハ小委員會ノ修正ニテモ然リ而シテ其ノ價格及期間ト云フモ
削除ス

○木内重四郎 必要ト認メタル場合ト云フハ如何ナルコトナリヤ

○政府委員 何か己ムヲ得ザル場合生セザルヤヲ豫想シテ此文句ヲ入レタリ

○中川良長 買換ノ點ニ付當局ノ意見ハ品物ト品物トヲ換ヘルコトナリヤ、其レ以外ニ買換ノ目的
ニ依リ或分量ヲ賣リ、又ハ同量ヲ買フ場合ニ、價格ヲ告示セズト局長ガ云ハレタルモ其ノ考ナリ
ヤ

○政府委員 買換ハ一方ヲ賣リ、一方ヲ買フト云フ手續ヲ爲ス、事實ニ於テ交換ヲ必要トスル場合ニ
モ持チ居ル者ガ賣リ、外ヨリ入レルモノハ買フ手續ニ依ル

○中川良長 品物ト品物トヲ交換シテ、尙ホ差引金ヲ與ヘルト云フコトハ含マザルヤ

○政府委員 法律上ニ於テハ總テ手ヨリ出ヅルモノハ賣リ、向フカラ入ルモノハ、買フト云フ手續ナ
リ

○中川良長 或ル分量ヲ賣リ、或ル期間ニ於テ同等ノ分量ヲ買フト云フ場合ニハ本文ノ買入賣渡ト云
フ行爲ト何等差異ナキ様ニ考ヘラル、寧ろ本文ノ規定ニ依リ、價格告示ヲ爲シタルヲ可ナリト思フ
○政府委員 本文ハ第一條ノ趣旨ニ從テ爲スモ、但書ハ或ル數量ノモノヲ出シ、同ジ數量ノモノヲ入
ル、モノニシテ、一般ノ需要供給調節上ニハ何等影響ナシト認メタル場合ノ適用法ナリ

○中川良長 買換ニシテモ、賣渡買入ナリトスレバ、本文ノ調節ヲ圖ル爲メニスベキカ、買換ニ依リ
テ買入タ期間ト賣渡ス期間ガ非常ニ長キ場合ニハ、其間ニ混雜ヲ來スコトナキカ

○政府委員 斯ノ如キ長キ期間ヲ置クコトハ事實實行ノ上ニ致サズ

○中川良長 買入レヲ發表セラル、ト同時ニ賣渡シ分量モ發表セラル、ナラバ、何等市場ニ影響スル
コト無シト考フ然ラズシテ賣渡又ハ買入ヲ先ニスレバ、本文ニ於ケル需給ノ目的ノ爲メニ賣渡買入
シテ市場ニ影響ヲ及ホスコト何等差支ナシ、之レヲ同時ニナサル、考ナリヤ、又長キ期間ナレバ殊
更ニ弊害アリ

○政府委員 極メテ短キ期間ニスル積ナリ、同日ニ之レヲ實行スルハ、實行シ得ザルモ長キ期間ニ涉
田 中

リテ告示ヲ爲シ、一般ニ示シテ迷ハシメザル様ニ注意セントス

○中川良長 同時ニ發表スルト云フ趣意ヲ徹底スルコトハ了解セリ、今日ハ重大ナル時機ナルヲ以テ其ノ邊ニ特ニ注意セラレンコトヲ望ム、然ラバ本條ノ規定ハ何等特別ナル考慮ヲ費シタルモノト認ムルコトヲ得ザル結果トナラン

○若槻禮次郎 小委員會ノ意見ヲ守レバ岡田君ニハ賛成スルヲ得ザルモ、岡田君ノ意見ハ私ノ意見ト一致ス、是レ一般法律トテハ可ナルモ小委員會ノ案ガ通過シテ一人モ賛成者ナケレバ、岡田君ノ動議トナラズ、之レヲ動議トシテ多數決ニテ可決スルヲ得ズ、小數ニテ否決セラル、モ動議ニナレバ斯ノ如キ動議ニ依リ斯クナレリト云フコト、ナルヲ以テ此ノ趣旨ニ於テ賛成ス

○國務大臣 小委員會ニ於テハ此「價格及期間ヲ告示スベシ」ノ「及期日」ヲ削除シタキ意見ナルモ高橋是清 財政經濟調査會ニ於テ常平倉問題ノ出タル時ニハ政府ノ爲スコトハ公明正大ニシテ奸商ノ乘スルコトナキヲ期スヘシト爲シ、買入價格ト買入期間ハ之レヲ公示セザル可ラズト云フニ對シ、私ハ大ニ同情ヲ爲シタリ、余ハ單ニ價格ヲ告示スルノミナラズ、期間モ共ニ告示シテ、公明正大ニ事ヲ行フカ可ナリト思フ期間ナキ場合ニ於テハ何時マデ其ノ價格ヲ安心シテ普通ノ銀行モ之レヲ抵當ニ取ルカ期間ヲ公示スレバ、金融機關ヲ保持シ置カバ金融機關ガ米ニ對シテ融通スル上ニ於テモ米ノ所有者ガ米ヲ賣ルニツケテモ其ノ期間内ハ安心シテ行動シ得ヘシ、數量ノ如キハ之レヲ公示スルコトハ

不可ナリ、賣手アラバ之レヲ買入レヲ爲スト云フニ至リテ、目的ヲ達シ得ルモノナリ、併シ價格ト期間ノ公示ハ重要ナルモノナリト思フ

○岡田良平 大藏大臣ノ云ハル、ガ如キ説明ナラバ價格モ期間モ告示スル必要アリト思フ、然ルニ斯クスレバ金額二億圓ニ限ルトカ、數量三百萬石ニ限ルト云フコトハ不可能ナリ、過日農商務大臣ハ金ニ限リアリ、數量ニ限リアリ故ニ先願者ニ許ストカ産業組合、農業倉庫トカ公共團體トカ特別ノモノニ向ツテ先取權ヲ與ヘ此ノ如キ先願者多キ場合ハ如何ニ選擇スルカ其ノ間ニ公平ヲ得ルコトヲ得ズ、小委員會ハ此ノ趣旨ヲ以テ修正シタリ

○上山滿之進 價格及期間ヲ告示スベシノ中ヨリ及期間ヲ削ルコトニテ修正案成立シタルヲ以テ若シ當局ニ於テ是ヲ必要アリト爲サル、場合ニハ其時ニ告示ノ中ニ加ヘラレ、バ實行上差支ナシト思フ

○國務大臣 及期間ノ削除ニ絶對反對スルニ非ラズ、又農商務大臣ノ説明ガ異ルト云フモ之レヲ實行スルニハ能ク協議ノ上實行スルコト、セリ、二億圓ヲ限度トシ三百萬石ト云フハ全體ノ上ニ於テ今年ハ三百萬石ノ剩餘米ヲ買ヘバ可ナリト云フ實行上カラ農商務大臣ハ云ハレタルモ法律トシテ出ス以上之レニ制限ヲ置クコトヲ得ズ、二億圓ト云フハ此ノ位ニテ宜シカラントスル見込ニテ二億圓ト爲セルモ必要アラバ、責任ヲ以テ増加スルト云フコトヲ述ベタリ

○岡田良平 徹底的ノ答辯ニシテ此ノ法案ノ效果ヲ現ス上ニ於テ有效ナリ、併シ農商務省ニ於テ是レ

○マデ説明セラレタルコトヲ餘程取消サザル可ラズ

○若槻禮次郎 此ノ法律ヲ見レバ、第三條ニ「買入又ハ賣渡ヲ爲サントスルトキハ」ト賣ル場合モアリ然ラバ例ヘバ六ヶ月ノ期間ヲ定メテ其ノ間ニ來タ者ニ幾何デモ賣ルコト、ナルモ之レハ不可能ナリ、二億圓ニテ不足ストスレバ必要ニ應ジテ増加スルト云フハ眞面目ニ委員會ニテ妥協的ニ決議シタルモノヲ攪亂スルコト、ナルベシ

○國務大臣 是レハ初メテノ試ミニシテ官民ノ協力ニ依リテ其ノ完成ヲ見ルヲ得ルモノナリ、併シ是レハ徹底的ニ非ラザレバ國策ニナラズ、斯ク考フルガ故ニ今日ノ如キコトヲ云ヒタルモノナリ、又

買フ場合ニモ政府ノ力ニテ買ヒ賣ルニ付キテモ米ノ有高ノ範圍ニ於テスルモノナリ故ニ無限ト云フコトニナラズ

○中川良長 米穀ノ買換ハ多數ノ買換ヲスル場合少量ノ買換ヲ爲ス場合トハ區別シテ多量ノ買換ヲ爲ス場合ニハ本條ノ條文ニ依リテ爲ス考ナキヤ

○政府委員 但書ハ多ク數量僅ナル場合トカ臨機急遽ノ處分ヲ要スル場合ノ便宜ヲ圖リテ本文ノ告示ヲ要セズト云フ意味ニテ爲セルモノニシテ、其ノ數量ガ多額ニ上リ告示スル暇ナク、且ツ急遽ニ非ラザル場合ニ於テハ本文ノ原則ニ依リテ告示ヲ爲ス

○委員長 第三條ノ修正ニ對シ、採決ノ結果小委員會ノ修正ガ可決シアリ、希望議決ニモ異議ナシ

ト認ム

○岡田良平 私ハ本案成立ノ上ハ速ニ米穀法ノ買入ヲ行ヒ又外米輸入ニ關シ相當ノ施設ヲ爲サントヲ望ム」ト云フ趣旨ハ一日モ早ク實行シテ米穀ノ買入ニ著手セザレバ米穀法モ刻下ノ急ヲ救フコトヲ得ズ、又外米ガ多數ニ入り來ラバ政府ガ買上グルモ米價ヲ調節スルコトヲ得ザルヲ以テ輸入ヲ制限スルカ關稅ヲ新設スルトカシテ外米ニ對シテ相當ナル措置ヲ採ラル、コトヲ望ム

○上山滿之進 只今議決セラレタル「特ニ必要ト認メラレタルトキ」ト云フハ政府ノ云ハル、ガ如キ非常ニ特別ナル場合ニシテ輸入税、輸入ノ制限ト云フガ如キ狀況ニ非ラズト思フ、今ノ場合早ク買フコト、其レニ伴フテ此ノ輸入ニ對シ特別ナル施設ヲスルコトハ如何ト思フ、而シテ政府ノ從來ノ説明ニ依リ適當ナル時期ニ非ラズト思フ

○政府委員 實際ニ於テ外米輸入多額ナリト云フヲ聞カズ故ニ現在ノ所外米ノ來ルヲ防グト云フ考ヲ有セズ、内米ニ壓迫ヲ加ヘ生産ニ不安ヲ來スコトニナレバ政府ニ於テモ相當ニ考慮セザル可ラズ

○岡田良平 本案ガ成立シタル上ハ速ニ米穀ノ買上ヲ行フコトガ必要ト思フ又必要ニ應ジテ外米輸入ニ對シテ相當ノ施設ヲ爲スコトモ必要ナリト思フ、政府ノ所見ヲ伺ヒタシ

○政府委員 速ニ實施スルコトニ付最善ヲ盡シタイ考ヘナリ、實施ニ當リテ外米ノ輸入ヲ増加スルコトアル時ハ時機ヲ失セズシテ其ノ制限ノ方法ヲ採リ或ハ關稅ノ増加ヲ圖ルベシ、而シテ米穀需給調

節ノ目的ヲ完全ニ監督スルニ努メントス

○委員長 次ニハ米穀需給調節特別會計法案ニ付キテハ異議ナキヤ

○若槻禮次郎 此ノ證券ノ發行ニ依リ不便ヲ感ズルト思フ併シ大藏當局ニ於テハ金融ノコトヲ考慮シ得テ研究ノ結果斯クナサレタルヲ以テ今日ニ於テハ誠ニ適當ナル措置ト見込マル、モノト思フ、故ニ私ノ主張ヲ論ズレバ本案ノ前途ヲ妨グルコト、思フ、故ニ修正案ヲ出サズ仍テ政府ガ米ヲ賣買スルコトニ一向ノ不便ヲ感ゼズト云フニ至レバ結構ナルモ、實際ニ於テ政府ノ答ノ通りニ運バザルヲ發見セバ躊躇ナク法律ヲ改正セラレンコトヲ望ム

○國務大臣 實際不便ナリト云フコト起ラバ改ムルニ躊躇セズ、勿論將來種々ノ變化アリテ、私ノ期待ト一致セザル以上ハ改正スルコトハ當然ナリ

○中川良長 此ノ特別會計ニテ内地米ヲ買入又外國米ヲ買入レタリトスル場合ニ大ナル損失アル場合アリ又利益アル場合甚ダ多シ、斯ル場合如何ナル事ヲ爲ス考ナリヤ一般ノ方針ヲ伺ヒタシ

○政府委員 本特別會計ヲ立ツルニ付テハ數字ノ計算ニ慎重ナル考慮ヲ爲シタリ、過去ニ於ケル米價ノ騰落ノ跡ヲ見テ計算シタルナリ、從來ノ變動ヲ平均スレバ、斯クスルヲ適當ト考ヘタルナリ

○中川良長 外米ヲ買フハ内地ニ米ナク、且ツ高價ナル場合ナルモ早速外國カラ多量ノ物ヲ買入レ内地ノ需要ヲ充スヲ得ザル場合アリト思フ之レニ備フル爲メニ今年幸ニ三百萬石買入ル、モ來年度即

チ此冬ノ收穫ハ今日ヨリ豫想スルモ甚グ少シト云フ状態ナリ、然ラバ貯ヘタル高ニテハ不足ス、斯ク米ガ不足スル狀況ニ達スルハ外米ヲ輸入セザル可ラザルコト、ナル、其ノ場合今日ノ如ク豫備金ノ支出ヲ爲シ或ハ剩餘金ヲ支出シ、三千四百萬圓或ハ其以上ニ八千萬圓位ニナルモ豫備金支出ノ三千四百萬圓ハ全ク損失ナリ、斯ノ如キ場合更ニ生ズレバ、二億萬圓ノ制限ヲ先ヅ目安トセル所斯ノ如キ固定ノモノガ生ズルニ到レバ、動キノ立タザルニ到ルベシ、コレニ付外米ヲ買入ル、場合ニ大ニ考慮セザル可ラザル問題ナリ、之ニ付テノ所見ヲ伺ヒタシ

○政府委員 最近著シク多額ニ外米ヲ輸入セリ、七年度八年度ハ何レモ四百五、六十萬石ニ達セリ、此ノ食糧政策ガ立チテ食糧局アリテ始終此ノ邊ニ注意セバ、大正七、八年ノ如キ損失ヲ見ルコトナシト思フ、且ツ今年三百萬石ヲ買入レ之レヲ有スレバ大抵ノ場合ニ合フ賣ル場合ニ一方ニ内地米不足スレバ買付ヲ爲シ、又非常ナル場合ニハ一面ニ外米ヲ買付クコトヲ爲シテ此ノ間ニ高價ナルモノヲ買フコトヲ避クル途ハ十分講ゼラル、積ナリ

○中川良長 其ノ精神ハ了解セリ、此ノ二億圓ノ限度アル中ニ假リニ今後三千四百萬圓モ固定スレバ此ノ特別會計法ニテハ如何トモスルヲ得ズ此ノ點ハ特ニ調査ヲ望ム又一面内米ニ付買入賣渡ノ間ニ十二、三圓ノ開キアラバ多少儲カルモ損ヲ爲セル場合ニハ矢張り二億圓ノ中ノ損失ト見ザル可ラズト思フモ之レニ付キテハ全ク損失スルコトナシト解釋シテ可ナルヤ

○政府委員 長イ間ニ於テハ收支償フモノナリト思フ

○委員 長 異議ナシト認ムルニ依リ此案ヲ可決ス次ニ罹災救助基金法中改正法律案ノ質問ハ

○上山満之進 小委員會ノ否決、否決ノ理由ヲ述ベシ、第一罹災救助基金ハ救助基金ニシテ米穀政策ノ爲メノ基金ニ使用スルモノニ非ラズ即チ本案ノ性質ニ反スルコトガ其ノ一ナリ、現在罹災救助基金ノ中ニテ現ニ存在シ居ルハ四十三縣ニ三百幾十萬圓ニ過ギズ、故ニ實際ノ効果ハ金額ノ點ヨリ見ルモ極メテ少シ將來罹災救助基金ノ存セル有價證券ヲ賣拂フモ六千萬、七千萬ノ金ヲ以テハ仕事ニ取掛ルコトハ困難ナリ、可能トスルモ中央ノ食糧政策ト各府縣ノ食糧政策トハ一致ヲ缺ク處アリ、然シ一方ニ米穀法ニ依リ食糧政策ノ根本ガ出來タル以上ハ罹災救助金ヨリ出スコトハ國家ノ上ヨリ見テ効能少ナシ、効能アリトスルモ其レニ伴フ弊害多シ故ニ之レヲ改正スル必要アリト云フ理由ニテ否決セリ

○橋本圭三郎 上山君ハ一方ニ大規模ノ施設アルガ故ニ他ノモノヲ心配スル必要ナシト云フモ寧ロ一助トナルベシ、斯ノ如キ見地カラ今日金ハ僅少ナレドモ將來ハ多額トナラズト云フヲ得ズ、而シテ兩者ノ聯絡ヲ保ツコトハ監督上十分ニ出來得ベシ

○岡田良平 米價ノ調節トカ又ハ米穀ノ需給調節トカハ政府ニ於テ大ナル法律ヲ制定スルモ政府ノ力ノミニテハ其ノ目的ヲ達スルコトヲ得ズ、中央政府ト同時ニ府縣ニ於テモ町村ニ於テモ出來得ル限

リ盡力シテ即チ舉國一致ノ精神ヲ以テセザル可ラズ此ノ見解ヨリシテ此ノ罹災救助基金ニテ米穀ヲ買入ル、ハ大ナル効果ナシトスルモ何カ此ノ府縣ヲシテ大災害ノ幾分ニテモ救済ニ參加セシムル道トナル之レヲ政府ガ提出セラレタル以上ハ強ヒテ否決スル理由ナシト思フ、之レヲ貴族院ニテ否決スルハ其ノ途ヲ杜絶スルモノナリ

○中川良長 本來罹災救助基金ハ其ノ目的ヲ異ニス府縣ニ於テ災害ニ遭遇セル場合ニ困却スル者ヲ救フ目的ノ爲メニ備フルモノナリ、其レヲ米穀ノ買入或ハ賣渡米ノ調節ノ目的ノ爲メニ資金ヲ固定スルナラバ、一旦災害ガ起リテ急ニ何カ設備ヲ爲サザル可ラザル場合ニ直チニ處分スルヲ得ズ、斯クスレバ、勢ヒ外ノ方法ニ於テ營業稅、所得稅或ハ地租ト云フモノニ一層附加稅ヲ加ヘテ地方民ヲ苦シムルノ虞アリ、之レ法律ノ精神トシテ當ヲ得ズ

○岡田良平 罹災救助基金ハモト備荒貯蓄ガ變更シテ成立セルモノナリ、凶作ノ爲メニ備ヘルコトガ眼目ナリ、傳染病等ノ災害ノ必要ニ應ズルトハ罹災救助基金ノ精神ニ反ス、故ニ之レハ天災等ニテ食糧ニ困ルガ如キ時ニ救助ヲスル爲メニスルモノナルヲ以テ是レハ罹災救助基金ノ目的ニ違ハザルモノナリ

○中川良長 岡田君ノハ考違ヒナリ、罹災救助基金法ノ第二條ノ第二項ニ多數ノ人民ガ同一ノ災害ニ罹リタル時ニ適用スルト云フコトアリ、災害ト云フハ米ニ依ル場合ニ使フト云フ狹キ目的ニテ制定

セラレタルモノニ非ズ、總テノ罹災災害ヲ蒙リタル者ガ多數ナル場合ニハ、之レヲ救助セザル可ラズ

○委員長 政府提出ノ原案ハ否決セリ

(三) 本 會 議(第一讀會ノ續)

三月廿五日

○委員長 伯奧平昌恭 罹災救助基金法中改正法律案ニ付テハ食糧政策ノ見地ヨリ之ガ改正ヲ何故必要トスルヤ却テ、弊害ヲ生ズルコトナキヤ地方ニ於テ買入ル、米ト政府ニ於テ買入ル、米トノ關係如何、又資金運用ノ目的ニテ米ヲ買フトキハ病虫害ノ虞アリ、價格ノ變動モ著シキヲ以テ利殖ノ目的トシテハ不適當ナラズヤト云フ大體質問アリ屢々速記ヲ止メテ當局者トノ間ニ懇談セシガ、遂ニ小委員會ヲ開キテ審議ノ結果此ノ基金ヲ以テ地方ニ於テ米ノ賣買ヲ爲ストキハ政府ノ米價調節ニ付テ賣買齟齬シ、方針ヲ一定スルコト困難ナルノミナラズ、救助基金ノ目的ニモ反スル理由ヲ以テ否決セリ、然ルニ委員會ニ於テハ政府ノ原案ヲ可決スルヲ至當ナリトノ議起リシガ救助基金ハ救助ノ目的ニ使用スベキモノニシテ、食糧政策ニ使用スベキモノニアラズ、殊ニ基金中現金ハ僅ニ三百余萬圓ニシテ將來多額ヲ使用シ得ルトスルモ食糧政策上中央ト地方トノ統一ヲ缺グニ至ルベク、中央政府ガ大規

模ノ調節事業ヲ實行スルヲ以テ強テ此ノ基金法ヲ改正スルノ必要ヲ認メズト云フ理由ニテ否決セリ

同 第二讀會、第三讀會

否 決

第三 建 議 案

米穀專賣法制定ニ關スル建議案ノ經過

本案ハ初メ第四十四回帝國議會ニ於テ小菅劍之助外三名ヨリ、衆議院ニ提出シタルガ、委員會ニ於テ只一回附議セラレタルノミニテ、議了ニ至ラズ次デ第四十五回帝國議會及第四十六回帝國議會ニ小菅劍之助外一名ヨリ提出シタルドモ遂ニ議了ニ至ラズ

第四十四回帝國議會

衆 議 院

一 米穀專賣法制定ニ關スル建議案

大正十年二月五日小菅劍之助、佐々木平次郎、長場龍太郎、松下禎二提出

米穀專賣法制定ニ關スル建議

惟フニ國民生活ノ安定ハ完全ナル食糧ノ保證ニ俟タザルベカラズ、之レ實ニ帝國ノ重大ナル社會問題ニシテ、米價ノ高低ト其ノ供給ノ多寡ハ常ニ國民生活ノ根柢ニ動搖ヲ及ボシテ止マズ、茲ニ於テ

カ政府ハ曩ニ開墾助成ノ計畫ヲ立テ今又常平倉案ノ計畫ヲ立テムトス然レドモ前者ハ自給食糧政策ノ永遠ノ根柢ヲ盡スルニ足ラズ、後者亦米價調節ノ一時的彌縫手段タルニ過ギズ、宜シク食糧ノ如キ永遠ノ問題ニ關シテハ其ノ根柢ニ留意シテ百年ノ大計ヲ立テザルベカラズ、之レ米穀專賣法ノ制定ヲ建議スル所以ニシテ茲ニ初メテ國民ノ完全ナル安定ト農村經濟ノ確固タル保證トヲ得ベシ、政府ハ之ガ調査ヲ爲シ速ニ專賣法ノ制定實行アラムコトヲ望ム

右建議ス

本 會 議

○小菅劍之助 我國ノ米價ハ毎年高低甚ダシク、昨年ノ如キ暴騰ニ次グニ暴騰ヲ以テシ、本年ハ又低落ニ次グニ低落ヲ以テシ、其ノ一高一低ハ常ニ生産者又ハ消費者ヲ脅威スルコト少カラズ、之ガ爲歴代内閣ハ種々考慮攻究セラル、モ未ダ完全ナル成案ヲ得ザルハ洵ニ遺憾トスル所ナリ、我國ノ米産額ハ豊年ニハ六千萬石ヲ越ヘ凶年ニハ五千萬石ヲ下リ、如此年ニ依リ非常ナル相違アルモノヲ以テ國民一般ノ食糧品トシテ量ト價格ノ調節ヲ圖ルハ洵ニ困難ナルコトナリトス、然レドモ米ヲ此儘放任スルハ不安ニ堪ヘザル次第ニシテ、現内閣ニ於テモ考慮ノ結果今回米穀法案ヲ提出サレ既ニ通過ヲ見タルガ其ノ内容實行方法ニ至リテハ多クノ弊害ヲ生ズルコトアルヲ憂慮セザルベカラズ故ニ米ハ專賣法ニ依ラザレバ我國ノ食糧政策ヲ完全ニ解決スルコト不可能ニシテ況ンヤ將來生存競争

激甚トナリ、複雑ナル社會問題ヲ起サントスル時ニ當リ、此ノ法案ハ最モ必要ノコトニシテ一日モ忽ニスベカラザルモノナリ、其ノ實行方法トシテハ經濟界ノ狀況ト農家ノ生産費トヲ參酌考慮シテ政府ハ一定ノ價格ヲ以テ農家ヨリ米ヲ買入レ、又一定ノ價格ヲ以テ一般國民ニ販賣スレバ多年高低極マリナキ米價ノ變動ヲ防ギ國民ノ生活ヲ安定ナラシメ一方農家モ安ンジテ生業ニ就クコトヲ得實ニ社會問題ニ屬スル重大問題ナリ

委 員 會 (大正十年三月廿四日)

○小菅劍之助 本案ニ付テハ過日本會議ニ於テ説明シタル通り、專賣法ニ依ラザレバ國民ノ食糧問題ハ容易ニ公平ナル解決ヲナシ得ザルコト、信ズ、而カモ本案ノ實施ハ容易ナルモノナリ

○倉石知藏 私モ此ノ法ヲ理想トセシガ之ガ實施ニハ約二十億圓ヲ要ス、提案者ハ政府ニ對シ之ガ實行ヲ要望セラル、ヤ或ハ調査研究ヲ望マル、ヤ

○小菅劍之助 出來得ル限リ早ク實施ヲ希望ス

○倉石知藏 實施ニ多額ノ費用ヲ要スルガ他ノ專賣法ニ比シ如何

○小菅劍之助 煙草鹽ノ專賣ト異リ全國ノ米ノ一部ヲ買上グルモノナリ

○委員 長 經濟上農家ヲ救済スルノ意ナルヤ又國家政策ノ安定ノ爲ナルヤ

○波多野承五郎 一般國民ノ生活安定ヲ第一ノ根本トス

(以下速記ヲ中止セシモノ、如シ)

一七四

第四十五回帝國議會

衆議院

一 米穀專賣法制定ニ關スル建議案

大正十一年一月二十五日小菅劍之助、松下禎二提出

米穀專賣法制定ニ關スル建議

惟フニ國民生活ノ安定ハ完全ナル食糧ノ保證ニ俟タザルベカラズ、之レ實ニ帝國ノ重大ナル社會問題ニシテ、米價ノ高低ト其ノ供給ノ多寡ハ常ニ國民生活ノ根柢ニ動搖ヲ及ボシテ止マズ、茲ニ於テカ政府ハ先年開墾助成ノ計畫ヲ樹テ又昨年米穀法案ヲ議會ニ提出シテ之ガ通過ヲ見タリ、然レドモ前者ハ自給食糧政策永遠ノ根柢ヲ畫スルニ足ラズ、後者ハ亦米價調節ノ一時的彌縫手段ニシテ之ガ運用ハ既ニ幾多ノ障害ニ逢著シテ其ノ成果ナキヲ明ニセリ、宜シク食糧ノ如キ永遠ニ互ル大問題ニ關シテハ其ノ根幹ニ留意シテ百年ノ大計ヲ樹テザル可ラズ、之レ本案ヲ建議スル所以ニシテ茲ニ初メテ國民生活ノ完全ナル安定ト農村經濟ノ確固タル保障トヲ得ルモノト謂フベシ政府ハ速ニ米穀專賣法制定ノ實行アラムコトヲ望ム

右建議ス

本 會 議

(大正十一年三月四日)

○小菅劍之助 米穀專賣法制定ニ關スル建議案ハ既ニ第四十四議會ニ提出シテ、諸員ノ御協賛ヲ仰ギ委員附託トナリシガ會期切迫ノ爲ニ僅一回委員會ヲ開カレシノミニテ議事未了ノ儘閉會トナリシハ寔ニ遺憾トスル所ナリ、故ニ今回再ビ該案ヲ提出シテ諸員ノ協賛ヲ仰ガントスル所以ナリ、米穀ハ我國民ノ主要食糧品ナルガ年ニ依リ豊凶アリ、從テ價格ノ高低ニ相違ヲ生ジ騰落常ナラズ如此米價ノ變動ヲ來シテハ國民生活ノ安定、農村經濟ノ確立ハ到底望ンデ得ベカラザルナリ、故ニ此ノ極マリナキ價格ノ變動ヲ調節スル爲メ歷代ノ内閣ハ種々ナル政策ノ下ニ施設シタレドモ、何レモ一時的彌縫策ニシテ未ダ曾テ之ガ根幹ニ入りタル政策ナシ、米穀ノ需給ヲ圓滑ニシ價格ノ調節ヲ圖ルハ最も必要ノコトニシテ、豊年ニ貯へ、凶年ニ備ヘン爲メ政府ハ昨年米穀法案ヲ議會ニ提出シ幸ニ通過セシモ之カ實施後ノ經過ハ遺憾ナガラ豫期ニ反スルモノアリ、即チ昨年政府ハ最初ノ試ミトシテ米穀三百萬石ノ買入ヲ聲明シ、後チ百萬石ニ減シセガ其ノ結果ハ政府ノ豫想ニ反シ僅ニ三十六萬石ノ買入ヲ爲シ得タルノミニシテ、其ノ買入半ニシテ米價ハ既ニ政府ノ豫想價格タル三十圓以上ニ騰貴セリ當時農商務當局ハ政府ノ買入ノ結果トシテ其ノ米ノ騰貴ヲ目シ恰カモ政府ノ成功ノ如ク語レルモ之レ實ニ誤レルモ亦大ナルモノニシテ、政府ハ價格ノ騰貴ノ爲スノ如キ豊年ニスラ米ノ買入ハ意

一七五

ノ如クナラズ全國ニ散在スル投機者流ノ爲ニ政策ヲ惡用セラレ延テ國民ハ大ナル迷惑ヲ被ムルニ至レリ政府ガ如何ニ狂奔努力スルトモ全國ニ米穀取引所ヲ許可セル以上投機者流ニ利用セララル、ハ當然ノ歸結ニシテ本年ハ不作ノ爲昨年ノ剩餘米アルニモ拘ハラズ、現今正米ハ一石三十四、五圓ヲ稱ヘ端境期ニ至ラバ供給不足ノ爲或ハ四十圓以上五十圓ニ騰貴スルヤモ不計其時ニ至リ政府ハ如何ニシテ之ヲ調節セントスルヤ、外米ノ買入ハ時既ニ遅ク又政府ノ所有米ハ餘リニ其量少ク殊ニ米價騰貴ノ影響ニ依リ諸物價ヲ益々騰貴ニ導キ國民ニ一層ノ苦痛ヲ與ヘ、外國貿易ハ益々不利ニ陥リ、輸入愈々増加スルノ結果ヲ來スベシ、如此ハ寔ニ國家ノ重大問題ニシテ爲政者トシテ充分考慮スベキ事ナリ、然ルニ我ガ米穀專賣法一度施行セラル、ニ至ランカ供給ノ過不足ナク、又價格一定不變ニシテ國民生活上大ナル保障ヲ與ヘ、農民ノ生活ヲ確保セラル、コト、ナルベシ

專賣ノ方法ハ毎年我國經濟界ノ狀況ヲ參酌トスルト共ニ米ノ生産費ヲ考慮シテ政府ハ一定ノ價格ヲ定メテ農家ヨリ米ヲ買入レ之ヲ一般國民ニ販賣スルモノニシテ、普通他ノ政府專賣法ト何等異ナル所ナシ、政府ハ此ノ專賣法ヲ實行スルニ當リ、凡二十億圓ノ巨額ヲ要スルヲ以テ實行困難ナリト稱スレドモ證券ヲ以テ買入レ賣却後現金ト引換ノ方法ヲ採ラバ極メテ簡易ニ實行シ得ベシ、要スルニ本案ハ今後益々生存競争激甚トナリ、生活ハ益々複雑ニ陥リ幾多ノ思想問題續出セントスル時ニ當リ之ガ解決ニ大影響ヲ與フベキ重大法案タリ

委員 會

三月二十二日委員會ニ於テ成田榮信ヨリ此ハ重大問題ニシテ深ク研究ノ必要アリトノ理由ヲ以テ延期ノ動議出デ異議ナク延期ニ決定シ何等討議セラレズ

第四十六回帝國議會

衆議院

一 米穀專賣法制定ニ關スル建議案

大正十二年一月二十四日小菅劍之助、松下禎二提出

米穀專賣法制定ニ關スル建議

惟フニ國民生活ノ安定ハ完全ナル食糧ノ保障ニ俟タザルベカラズ、之レ實ニ帝國ノ重大ナル社會問題ニシテ米價ノ高低ト其ノ供給ノ緩急ハ常ニ國民生活ノ根柢ニ動搖ヲ及ボシテ止マズ、茲ニ於テカ政府ハ先年開墾助成ノ計畫ヲ樹テ、又米穀法案ヲ議會ニ提出シテ之ガ通過ヲ見タリ、然レドモ前者ハ自給食糧政策永遠ノ根柢ヲ畫スルニ足ラズ後者ハ亦米價調節ノ一時的彌縫手段ニシテ之ガ運用ハ既ニ幾多ノ障害ニ逢著シテ其ノ成果ナキヲ明ニセリ、宜シク食糧ノ如キ永遠ニ互ル大問題ニ關シテハ其ノ根柢ニ留意シテ百年ノ大計ヲ樹テザルベカラズ、是レ本建議ヲ爲ス所以ニシテ茲ニ初テ國民

生活ノ完全ナル安定ト農村經濟ノ確固タル保障トヲ得ルモノト謂フベシ、政府ハ宜シク速ニ米穀專賣法ヲ制定シ以テ之ガ實行アラムコトヲ望ム

右建議ス

本 會 議

大正十二年二月二十二日

○小菅劍之助 本案ハ昨年ノ議會ニ提出セシモ會期切迫ノ爲議事未了ノ儘閉會トナリシハ遺憾トスル所ナリ、我國民ノ主要食糧品タル米ハ年ニ豊凶アリ、從テ價格ニ著シキ高低アリ、即チ昨年ノ如キハ非常ナル豊作ノ結果、米價大暴落ヲ來シ、帝國農會ノ決議書ヲシテ今ヤ農家ハ豊作ヲ呪フト迄言ハシムルニ至レリ、固ヨリ豊作ハ國家ノ爲喜ブベキコトナリ、然ルニ豊年ニ於テ其ノ最モ恩惠ヲ被ルコト多カルベキ農家ガ却テ之ガ爲ニ苦ムト云フハ何ソタル矛盾ゾヤ、豊年ナルガ故ニ農家ヲ救済セザルベカラズト云フ現在我國ノ狀態ハ實ニ變態ト謂ハザルベカラズ、政府ハ帝國農會ノ哀訴請願ニ動かサレテ、米價ヲ引上ゲンガ爲今回又米ノ買上ヲ爲シタルガ之ハ米穀法ノ趣意ニ依ル所謂米價調節ナルモ本來斯ル法律ヲ運用シテ特殊物價ノ調節ヲ行ハントスルガ如キハ其ノ方法其レ自體ヨリ幾多ノ弊害ヲ生ズルノミナラズ、却テ投機ノ思惑ヲ助長スル結果トナリ是レガ爲ニ米價ニ波瀾ヲ起サシメ經濟界ヲ動亂セシムルコト、ナルベシ、且ツ又政府ノ行フ米ノ買上行爲ハ政府ガ曾テ物價ノ

調節ヲ圖リ消費節約ヲ宣傳セラル、トハ頗ル矛盾セルモノト言ハザルベカラズ、若シ今日ニシテ米穀專賣法實施セラレ居ラバ、本年ノ如キ豊作ニハ農家ハ幸福ヲ得、又近來ノ難問題タル小作爭議ノ如キモ直ニ協定シ得ベク假リニ百歩ヲ讓リテ米穀法ノ運用完全ニ行ハルベキモノトスルモ決シテ米價ノ變動ヲ阻止シ農村ノ經濟國民生活ノ定安ヲ得セシムルコトハ斷ジテ難キ事ナリトス、例ヘバ米穀法ト云フ膏藥ヲ皮膚ニ貼リテ食糧問題ト云フ難病ヲ治セントスル如キモノニシテ效果ナキモノナリ然ラバ此ノ手術ヲ行フニハ幾何ノ費用ヲ要シ如何程大ナル危険伴フヤト云フニ想像スルガ如キ難事ニ非ラズ米穀專賣法ハ我國ニ於ケル破天荒ノ政策ナリ故ニ懸念危懼ノ念ヲ生ズル者モ少ナカラザルガ政府ハ毎年經濟界ノ情況ヲ參酌シ且ツ農家ノ生産費ヲ考慮シテ一定ノ價格ヲ定メ以テ農家ヨリ米ヲ買入レ之ヲ一定價格ニテ一般國民ニ販賣スベキ他ノ政府專賣法ト異ナラズ、本案ノ反對論者ハ本案ハ米ノ買入ヲ行フニ際シ一時ニ約二十億圓ノ巨額ヲ要スベク其ノ資金ノ捻出不可能ナルコトヲ説カル、モ之レ收穫高ノ全部ヲ概算セルモノニシテ農家ノ食糧ヲ控除シ、剩餘米ノミヲ買入ル、トセバ約二千五百萬石ニシテ勿論品質銘柄等ニ依リ價格ニ多少ノ相違アルモ假リニ一石三十二圓ト見積ル時ハ約八億圓ヲ要シ買入當時證券ヲ發行シテ、一時農家ニ渡シ置キ他日政府ガ國民ニ販賣シタル時證券ト引換フルコト、シ年々新陳代謝セバ可ナリ、近時農商務省ニ於テモ米穀專賣法ニ付相當考慮シ居ラルル由ナルガ、野中專賣局長ハ米穀專賣ノ實行ハ決シテ不可能ニ非ズトノ說ヲ有セラル

ハ是レガ實行ニ一大曙光ヲ見タル次第ニシテ洵ニ國家ノ爲メ慶賀ニ堪ヘザルナリ、一度本案ノ實施ヲ見ンカ供給ノ過不足價格ノ變動ナク如何ニ國民生活ニ大ナル保障ヲ與フルカ茲ニ喋々ヲ要セザルナリ、要スルニ本案ノ如キ國民ノ盛衰休戚ニ關スル大問題ハ一大英斷ヲ以テ百年ノ長計ヲ樹ツルコト肝要ナリ

政府ノ意見

大正十二年三月十日

○岡本次官 米穀ノ專賣ハ米價ヲ調節スル方法トシテハ、最モ徹底的ナレドモ之レ一ツノ理想論ニシテ農商務省ニ於テ慎重調査シタル結果ニ依レバ、實行上殆ンド不可能ナラント思ハル先ヅ生産ノ維持上各地産米ノ買上價格ヲ定ムルコトノ困難ナルト同時ニ各都市其他國民ノ生活状態ニ應ジテ適當ナル販賣價格ヲ定ムルコト極メテ困難ナルノミナラズ、日常缺クベカラザル米ノ需要ニ對シ圓滿迅速ニ消費者ノ苦情ナキ様配給スルコト亦困難ナリ、又年二回位ニ於テ略一定ノ價格ヲ以テ買上グルトセバ其ノ買上時期ニ於テ金融市場ニ急激ナル變動ヲ生ジ、經濟上多大ナル影響ヲ及スベク又專賣法制定ノ結果取締上多數ノ違反者ヲ出シ之ガ充分ナル取締ニ付懸念アリ、殊ニ非常ニ多額ノ經費ヲ要スベキ見込ニシテ實行上極ク難問題ナリト考ヘラル(九頁)

終